

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水                      運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、消火ポンプによりNo. 2淡水タンク水を原子炉へ注水する手順を整備する。                      使用には、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要なNo. 2淡水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1.4.2.1(i)b.(c)と同様。</p>	<p>ii. 操作手順                      代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水については、「1.4.2.1(1)a.(d)代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。手順の対応フローを第1.4-5図及び第1.4-6図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水開始まで15分以内で可能である。</p> <p>(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      発電用原子炉停止中に非常用炉心冷却系、低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）及び代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位が維持できない場合において、ろ過水ポンプが使用可能な場合*。                      ※：設備に異常がなく、電源及び水源（ろ過水タンク）が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水については、「1.4.2.1(1)a.(e)ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。手順の対応フローを第1.4-5図及び第1.4-6図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水開始まで20分以内で可能である。</p>	<p>(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水                      発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、消火ポンプによりろ過水タンク水を原子炉容器へ注水する。                      使用に際しては、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要なろ過水タンクの水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順                      電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.1(i)b.(c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから消火ポンプによる原子炉容器への注水開始まで40分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬式代替低圧注水ポンプにより海水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      恒設代替低圧注水ポンプの故障等により原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1.4.2.1(1) b. (d) と同様。</p>	<p>【比較のため、比較表 p1.4-148, 149 より再掲】</p> <p>(b) 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      発電用原子炉停止中に非常用炉心冷却系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を維持できない場合において、低圧代替注水系（可搬型）が使用可能な場合※。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源、燃料及び水源（淡水貯水槽（No.1）又は淡水貯水槽（No.2））が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水については、「1.4.2.1(1) a. (c) 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。手順の対応フローを第1.4-5図及び第1.4-6図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、作業開始を判断してから低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水開始までの必要な要員数及び所要時間は以下のとおり。</p> <p>【原子炉・格納容器下部注水接続口（北）又は原子炉・格納容器下部注水接続口（東）を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転員（中央制御室）1名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。</li> </ul> <p>【原子炉・格納容器下部注水接続口（建屋内）を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。</li> </ul> <p>【格納容器スプレイ接続口（建屋内）を使用する場合（故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響がある場合）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び重大事故等対応要員10名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。</li> </ul> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。大容量送水ポンプ（タイプI）からのホースの接続は、汎用の結合金具であり、</p>	<p>(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順                      海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで200分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（大飯理由⑯）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料 1.4.3）</p>	<p>(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>代替格納容器スプレィポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量等にて確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1)b.(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで145分以内で可能である。</p> <p>(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>代替格納容器スプレィポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量等にて確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>c. 再循環運転</p> <p>(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</p> <p>運転停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転により原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>格納容器圧力及び温度が上昇した場合は、格納容器スプレィポンプを用いた格納容器スプレィ又は格納容器再循環ユニットによる格納容器自然対流冷却による格納容器冷却に期待する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>高圧注入ポンプによる高圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.4.14図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による原子炉への注水準備と系統構成を指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室で高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の系統構成を実施する。</p> <p>③ 当直課長は、運転員等に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による原子炉の冷却が可能となれば、開始を</p>		<p>認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで200分以内で可能である。</p> <p>c. 再循環運転</p> <p>(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</p> <p>発電用原子炉停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、高圧注入ポンプにより格納容器再循環サンプ水を原子炉容器へ注水し、あわせてC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内の冷却を行う。また、格納容器内自然対流冷却を使用できない場合は、格納容器スプレィポンプによる格納容器スプレィ再循環運転を行い原子炉格納容器内の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>高圧注入ポンプによる高圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.17図に、タイムチャートを第1.4.18図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき運転員に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転準備と系統構成を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の系統構成を実施し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>③ 発電課長（当直）は、運転員に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転により発電用原子炉の冷却が可能とな</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>・いずれの記載も高圧注入ポンプによる再循環運転時において、原子炉格納容器内の冷却を格納容器スプレィポンプによる再循環運転又は格納容器内自然対流冷却にて実施することに相違なし。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>指示する。</p> <p>④ 運転員等は、中央制御室で高圧注入ポンプを起動し、原子炉へ注水されていることを高圧注入流量で確認する。</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材温度等の指示により、原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>iii. 操作の成立性                  高圧注入ポンプによる高圧再循環運転は、中央制御室で可能である。</p> <p>d. 代替再循環運転                  (a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転                  運転停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  1.4.2.1(1)d.(a)と同様。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）                  (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p>	<p>【比較のため、比較表p1.4-76より再掲】</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから低圧代替注水系（常設（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水開始まで15分以内で可能である。</p>	<p>れば、開始を指示する。</p> <p>④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で高圧注入ポンプを起動し、原子炉容器へ注水されていることを高圧注入流量等で確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等の指示値により、発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから高圧注入ポンプによる高圧再循環運転開始まで15分以内で可能である。</p> <p>d. 代替再循環運転                  (a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転                  発電用原子炉停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中に高圧注入ポンプの故障等により、原子炉容器への注水を高圧注入流量等にて確認できない場合に、代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転については、1.4.2.1(1)d.(a)「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからB-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水開始まで15分以内で可能である。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）                  (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプにより復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室での遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である電動主給水ポンプにより蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水が補助給水流量等で確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり、蒸気発生器へ注水するために必要な脱気器タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室での遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p>		<p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.33図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで5分以内で可能である。</p> <p>(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である電動主給水ポンプにより蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり、蒸気発生器へ注水するために必要な脱気器タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.34図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで5分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違                  【大飯】記載方針の相違                  ・大飯3/4号炉も第1.4.35図に当該手段の概略系統を整理している。                  【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違                  【大飯】記載方針の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水                  運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）により復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。                  なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  電動主給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を蒸気発生器水張り流量等で確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p>		<p>(c) SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水                  発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、補助給水ピット水を SG 直接給水用高圧ポンプにより蒸気発生器へ注水する。                  なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  電動主給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を主給水ライン流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで60分以内で可能である。</p> <p>(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水                  発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する。                  なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は準備に時間を要することから、補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水ができない場合に準備を開始する。（川内1/2号炉及び玄海3/4号炉と同様。）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>		<p>ii. 操作手順</p> <p>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで230分以内で可能である。</p> <p>(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで180分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出                      運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、中央制御室にて主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認できた場合。</p>		<p>(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水                      発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から蒸気発生器へ注水する。                      なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順                      原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで205分以内で可能である。</p> <p>f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）                      (a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出                      発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、中央制御室にて主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認できた場合。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ii. 操作手順                      主蒸気逃がし弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>(b) タービンバイパス弁による蒸気放出                      運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるタービンバイパス弁を中央制御室にて開操作し、蒸気発生器から蒸気放出を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      主蒸気逃がし弁による蒸気放出が主蒸気圧力等にて確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり復水器真空度が維持されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      タービンバイパス弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード                      主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。                      蒸気発生器2次側フィードアンドブリードは、ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、蒸気発生器ブローダウンタンクに排出させ、適時放射性物質濃度等を確認し排出する。                      なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>		<p>ii. 操作手順                      主蒸気逃がし弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.35図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから主蒸気逃がし弁による蒸気放出開始まで1分以内で可能である。</p> <p>(b) タービンバイパス弁による蒸気放出                      発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるタービンバイパス弁を中央制御室にて開操作し、蒸気発生器から蒸気放出を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      主蒸気逃がし弁による蒸気放出が主蒸気ライン圧力等にて確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり復水器の真空が維持されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      タービンバイパス弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.36図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからタービンバイパス弁による蒸気放出開始まで5分以内で可能である。</p> <p>g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却                      主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。                      蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、温水ピットに排出させ、適時水質を確認し排出する。                      なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違                      ・大飯3/4号炉も第1.4.35図に当該手段の概略系統を整理している。                      【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）                      【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(a) 手順着手の判断基準                      運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順                      操作手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p> <p>h. その他の手順項目にて考慮する手順                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」にて整備する。                      空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代</p>		<p>i. 手順着手の判断基準                      発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>ii. 操作手順                      蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード開始まで445分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）                      ・泊は1.4.2.5にて同等の内容を整理。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>替低圧注水ポンプ用)、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p><b>i. 優先順位</b></p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に崩壊熱除去機能が喪失した場合は、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。</p> <p>格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却を優先する。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却として、蒸気発生器への注水は、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプを用い、これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプ又は復水ピットを水源とした蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水を行う。蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）は使用準備に時間を要することから電動主給水ポンプを優先して使用する。</p> <p>蒸気放出については、主蒸気逃がし弁を用い、主蒸気逃がし弁が使用できない場合は、タービンバイパス弁を使用する。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p>	<p><b>b. 重大事故等時の対応手段の選択</b></p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。</p> <p>外部電源、代替交流電源設備等により交流電源が確保できた場合、復水貯蔵タンクが使用可能であれば低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）により原子炉圧力容器へ注水する。</p> <p>復水貯蔵タンクが使用できない場合、代替循環冷却系、ろ過水ポンプ又は低圧代替注水系（可搬型）により原子炉圧力容器へ注水する。</p> <p>なお、低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水を実施する際の注入配管の選択は、注水流量が多いものを優先して使用する。優先順位は以下のとおり。</p> <p>優先①：残留熱除去系（A）注入配管                  優先②：残留熱除去系（B）注入配管</p>	<p><b>h. 重大事故等時の対応手段の選択</b></p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4.44図に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に崩壊熱除去機能が喪失した場合は、原子炉格納容器からの作業員の退避指示を行い、原子炉格納容器の隔離を行う。</p> <p>原子炉格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を優先する。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却として、蒸気放出は主蒸気逃がし弁を用い、主蒸気逃がし弁が使用できない場合は、タービンバイパス弁を使用する。蒸気発生器への注水には、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプを用い、これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、操作の容易性から脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水を行う。電動主給水ポンプが使用できない場合は補助給水ピットを水源としたSG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）                  【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）                  ・泊3号炉は、補助給水ポンプの代替手段のうち、常設設備は電動主給水ポンプとSG直接給水用高圧ポンプがあり、中央制御室からの操作で注水可能な電動主給水ポンプを優先する。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）                  ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能なため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水による冷却を行う。まず、中央制御室で操作可能であり早期に運転が可能となる充てんポンプ、その次に準備時間の短い高圧注入ポンプによる原子炉への注水を行う。充てんポンプ及び高圧注入ポンプが使用できない場合は、燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水を行う。燃料取替用水ピットからの重力注水ができない場合は、蓄圧タンクによる炉心注水を行う。</p> <p>上記により原子炉への注水ができない場合は、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水を行い、それができない場合は、恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。</p> <p>なお、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）と恒設代替低圧注水ポンプの優先順位は、準備時間が短いA格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）を優先する。これらの手段が使用できない場合は、消火ポンプにより代替炉心注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。</p> <p>消火ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、海水を水源とした可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。</p> <p>可搬式代替低圧注水ポンプは重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、恒設代替低圧注水ポンプによる原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ代替炉心注水を行う。</p>		<p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却ができない場合は、原子炉容器への注水による冷却を行う。まず、充てんポンプによる原子炉容器への注水を行う。充てんポンプが使用できない場合は、高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水を行う。高圧注入ポンプが使用できない場合は、中央制御室のみで実施可能である燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水を行うとともに、B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を行う。それができない場合は、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水を行う。</p> <p>なお、B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水と代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水の優先順位は、準備時間が短いB-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を優先する。これらの手段が使用できない場合は、消火ポンプにより原子炉容器への注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。</p> <p>消火ポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、淡水又は海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ代替炉心注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違                      ・泊3号炉も充てんポンプによる炉心注水は中央制御室から操作可能。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）                      【大飯】運用の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）                      【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）                      ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転により原子炉を冷却する。</p> <p>高圧注入ポンプによる高圧再循環運転だけでも十分な冷却効果はあるが、余熱除去ポンプによる冷却効果を補うため、あわせてA格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉を冷却する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.41 図に示す。</p>	<p>c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</p> <p>(a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による崩壊熱除去機能が喪失した場合、非常用交流電源設備又は常設代替交流電源設備が使用可能であれば原子炉冷却材浄化系ポンプを起動して発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱ができない場合において、原子炉冷却材浄化系が使用可能な場合*。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源及び補機冷却水が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり。概要図を第 1.4-35 図に、タイムチャートを第 1.4-36 図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）A は、原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱に必要なポンプ、電動弁及び監視計器の電源、補機冷却水並びに電源容量が確保されていることを状態表示にて確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）A は、原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度の温度設定が 49℃であることを確認する。</p> <p>④運転員（中央制御室）A は、CUW 入口ライン元弁及び CUW ボトムドレンライン元弁が全開であることを確認する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）A は、系統構成として CUW 入口ライン第一隔離弁及び CUW 入口ライン第二隔離弁の全開操作並びに CUW ろ過脱塩装置バイパス弁の開操作を実施する。</p>	<p>炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、高圧注入ポンプを用いた高圧再循環運転により原子炉容器への注水操作を行う。高圧注入ポンプが使用できない場合は、B-格納容器スプレイポンプ及びB-格納容器スプレイ冷却器を用いた代替再循環運転により原子炉容器への注水操作を行う。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>⑥運転員（中央制御室）Aは、発電課長に原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱準備が完了したことを報告する。</p> <p>⑦発電課長は、運転員に原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、CUWポンプ（A）パーズライン止め弁の全開操作を実施する。</p> <p>⑨運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系ポンプ（A）を起動し、速やかにCUWろ過脱塩装置バイパス弁の調整開操作を実施し、原子炉冷却材浄化系入口流量指示値の上昇を確認する。</p> <p>⑩運転員（中央制御室）Aは、CUWポンプ（B）パーズライン止め弁の全開操作を実施する。</p> <p>⑪運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系ポンプ（B）を起動し、CUWろ過脱塩装置バイパス弁の調整開操作を実施する。</p> <p>⑫運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系ポンプ（A）及び原子炉冷却材浄化系ポンプ（B）の起動が完了したことを発電課長に報告する。</p> <p>⑬運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱が開始されたことを原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度指示値の上昇が緩和することにより確認し、発電課長に報告する。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱開始まで35分以内で可能である。</p> <p>d. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による崩壊熱除去機能が喪失した場合、非常用交流電源設備又は常設代替交流電源設備が使用可能であれば原子炉冷却材浄化系により発電用原子炉からの除熱を実施する。</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) サポート系機能喪失時の手順等</p> <p>a. 代替炉心注水</p> <p>(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水                  運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、燃料取替用水ピットからの重力注水により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>なお、燃料取替用水ピットの重力注水は燃料取替用水ピットの水頭圧を利用するため、燃料取替用水ピットの水位が低下した場合には、重力注水を停止する。</p> <p>(添付資料 1.4.19)</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、燃料取替用水ピットの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  燃料取替用水ピットからの重力注水の原子炉への注水手順の概要は以下のとおり。概略系統を第 1.4.40 図に、タイムチャートを第 1.4.42 図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉への注水の準備を指示する。</p>	<p>(2) サポート系故障時の対応手順                  【比較のため、川内1/2号炉技術的能力1.4まとめ資料1.4.2.3(2)より引用】</p> <p>運転停止中のミッドループ運転期間中において、全交流動力電源喪失+原子炉補機冷却機能喪失事象が発生した場合の炉心注入手段については、常設電動注入ポンプによる炉心注入のほか、蓄圧タンクによる炉心注入（その後に続く常設電動注入ポンプによる炉心注入）が考えられるが、作業者の安全に配慮する必要があることから、蓄圧タンクの炉心注入は実施しない。</p> <p>(添付資料 1.4.20)</p> <p>比較のため、玄海3/4号炉技術的能力1.4まとめ資料1.4.2.3(2)a.(a)より引用（下線部分が泊と同様）】</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、燃料取替用水タンク（ピット）からの重力注入による代替炉心注入を行う。</p> <p>燃料取替用水タンク（ピット）水の水頭圧を利用して炉心へ注水する手順を整備する。</p> <p>ただし、全交流動力電源喪失時においては現場での手動操作となり、流量調整等の制御が困難であることから、原子炉格納容器内作業員の安全確保のため退避させ、原子炉格納容器エアロック閉止後に実施する。</p> <p>なお、燃料取替用水タンク（ピット）の重力注入は燃料取替用水タンク（ピット）の水頭圧を利用するため、燃料取替用水タンク（ピット）の水位が低下した場合には、重力注入を停止する。</p>	<p>(2) サポート系故障時の対応手順</p> <p>a. 代替炉心注水</p> <p>(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水                  発電用原子炉停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、燃料取替用水ピットからの重力注水により燃料取替用水ピット水を原子炉容器へ注水する。ただし、全交流動力電源喪失時においては現場での手動操作となり、流量調整等の制御が困難であることから、原子炉格納容器内作業員を安全確保のため退避させ、格納容器エアロック閉止後に実施する。</p> <p>なお、燃料取替用水ピットの重力注水は燃料取替用水ピットの水頭圧を利用するため、燃料取替用水ピットの水位が低下した場合は、重力注水を停止する。</p> <p>(添付資料 1.4.21)</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水手順の概要は以下のとおり。概要図を第 1.4.39 図に、タイムチャートを第 1.4.40 図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水準備を指示する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水の次に燃料取替用水ピットからの重力注水を実施し、これに並行して、B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水準備も開始する。</li> </ul> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業員の安全確保に関する記載は伊方及び玄海と同様。</li> </ul> <p>【大飯】記載表現の相違</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>② 運転員等は、中央制御室で燃料取替用水ピットからの重力注水に必要な系統構成と他の系統と連絡する弁の閉を確認する。</p> <p>③ 当直課長は、運転員等に原子炉への注水が可能となれば、原子炉への注水開始を指示する。</p> <p>④ 運転員等は、現場で余熱除去ポンプRWSピット及び再循環サンプ側入口弁を手動で開操作し、燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉への注水を開始する。注水開始後、中央制御室で燃料取替用水ピット水位、1次冷却系統水位<sup>*10</sup>及び加圧器水位により、原子炉への注水が確保されたことを確認する。</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材温度により、原子炉が継続して冷却状態であることを確認する。</p> <p>※10：全交流動力電源が喪失した場合は、常用系の蓄電池により約30分の監視が可能。また、空冷式非常用発電装置により電源喪失から30分後には電源が回復するため、30分以降も継続監視が可能である。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約25分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。                  （添付資料 1.4.20）</p> <p>(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水                  運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備である余熱除去ポンプの機能喪失により崩壊熱除去機能が喪失した場合、蓄圧タンクにより原子炉へ注水する手順を整備する。                  蓄圧タンクによる代替炉心注水についてはタンク内圧</p>	<p>② 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で燃料取替用水ピットからの重力注水に必要な系統構成と他の系統と連絡する弁の閉を確認し、発電課長(当直)に報告する。</p> <p>③ 発電課長(当直)は、運転員に原子炉容器への注水が可能となれば、原子炉容器への注水開始を指示する。</p> <p>④ 運転員(現場)B及びCは、現場で余熱除去ポンプRWSP側入口弁及び余熱除去ポンプRWSP/再循環サンプ側入口弁を手動で開操作し、燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水を開始したことを発電課長(当直)に報告する。</p> <p>⑤ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で低圧注入流量、燃料取替用水ピット水位、1次冷却系統ループ水位<sup>*7</sup>及び加圧器水位により原子炉容器への注水が確保されたことを確認し、発電課長(当直)に報告する。</p> <p>⑥ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で1次冷却材温度により発電用原子炉が継続して冷却状態であることを確認する。</p> <p>※7 全交流動力電源が喪失した場合は、常用系の蓄電池により約30分の監視が可能。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員(中央制御室)1名及び運転員(現場)2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水開始まで25分以内で可能である。                  円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。                  （添付資料 1.4.22）</p>	<p>② 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で燃料取替用水ピットからの重力注水に必要な系統構成と他の系統と連絡する弁の閉を確認し、発電課長(当直)に報告する。</p> <p>③ 発電課長(当直)は、運転員に原子炉容器への注水が可能となれば、原子炉容器への注水開始を指示する。</p> <p>④ 運転員(現場)B及びCは、現場で余熱除去ポンプRWSP側入口弁及び余熱除去ポンプRWSP/再循環サンプ側入口弁を手動で開操作し、燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水を開始したことを発電課長(当直)に報告する。</p> <p>⑤ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で低圧注入流量、燃料取替用水ピット水位、1次冷却系統ループ水位<sup>*7</sup>及び加圧器水位により原子炉容器への注水が確保されたことを確認し、発電課長(当直)に報告する。</p> <p>⑥ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で1次冷却材温度により発電用原子炉が継続して冷却状態であることを確認する。</p> <p>※7 全交流動力電源が喪失した場合は、常用系の蓄電池により約30分の監視が可能。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員(中央制御室)1名及び運転員(現場)2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水開始まで25分以内で可能である。                  円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。                  （添付資料 1.4.22）</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違                  ・泊はフロントライン系故障時の操作と同様に、伊方及び玄海の同手順に記載がある「低圧注入流量」も記載(玄海：余熱除去流量、伊方：余熱除去ループ流量)。大飯も監視計器一覧に「余熱除去流量計」の記載があるため、実質相違なし。</p> <p>【大飯】記載方針の相違                  ・泊は「1次冷却系統ループ水位」の監視設備への供給電源は、代替非常用発電機による給電時の切離し対象負荷として、技術的能力1.14にて整理していることから、常用系の蓄電池が枯渇し当該計器が使用できなくなった後は他のパラメータにて確認する。自主対策設備の監視計器であり、使用できない場合の代替パラメータを技術的能力1.15にて整理している点は泊と同様。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑦)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>力を利用するため蓄圧タンク水位が低下して圧力が下がった場合には、原子炉への注水を停止する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      燃料取替用水ピットの重力注水により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な蓄圧タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1. 4. 2. 3(1) a. (c)と同様。                      (添付資料 1. 4. 21)</p> <p>(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水                      運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、恒設代替低圧注水ポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。                      恒設代替低圧注水ポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、復水ピットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1. 4. 2. 1(1) b. (b)と同様。</p> <p>(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水                      運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p>		<p>(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水                      発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、代替格納容器スプレイポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉容器へ注水する。                      代替格納容器スプレイポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、補助給水ピットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水については、1. 4. 2. 1(1) b. (b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水開始まで35分以内で可能である。</p>	<p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由⑥）</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>i. 手順着手の判断基準                      運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時、恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1.4.2.1(2)a.(b)と同様。</p> <p>(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B充てんポンプ（自己冷却）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>B充てんポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、復水ピットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      運転停止中に全交流動力電源が喪失時、恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時は、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）の機能喪失により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1.4.2.1(2)a.(c)と同様。</p>		<p>(c) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B-充てんポンプ（自己冷却）により燃料取替用水ピット水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      発電用原子炉停止中に代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(2)a.(b)「B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからB-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水開始まで40分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(f) <b>A格納容器スプレイポンプ</b>（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による<b>代替炉心注水</b>                  運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、<b>A格納容器スプレイポンプ</b>（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する<b>手順を整備する</b>。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  運転停止中に<b>全交流動力電源喪失時</b>、<b>B充てんポンプ</b>（自己冷却）の故障等により原子炉への注水を<b>充てん水流量</b>等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  1.4.2.1(2)a.(d)と同様。</p> <p>(g) <b>ディーゼル消火ポンプ</b>又は<b>電動消火ポンプ</b>による<b>代替炉心注水</b>                  運転停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である<b>ディーゼル消火ポンプ</b>により<b>N0.2淡水タンク</b>水を原子炉へ注水する<b>手順を整備する</b>。                  また、<b>運転停止中</b>において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合、常用設備である<b>電動消火ポンプ</b>又は<b>ディーゼル消火ポンプ</b>により<b>N0.2淡水タンク</b>水を原子炉へ注水する<b>手順を整備する</b>。                  使用には、<b>重大事故等対処に悪影響を与える火災</b>が発生していないことを確認して使用する。</p>		<p>(d) <b>B格納容器スプレイポンプ</b>（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による<b>原子炉容器への注水</b>                  発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、<b>B格納容器スプレイポンプ</b>（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）により燃料取替用水ピット水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中に<b>B充てんポンプ</b>の故障等により原子炉容器への注水を<b>充てん流量</b>等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順  <b>B格納容器スプレイポンプ</b>（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(2)a.(c)「<b>B格納容器スプレイポンプ</b>（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、<b>運転員</b>（中央制御室）1名及び<b>運転員</b>（現場）2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから<b>B格納容器スプレイポンプ</b>（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水開始まで50分以内で可能である。</p> <p>(e) <b>ディーゼル駆動消火ポンプ</b>又は<b>電動機駆動消火ポンプ</b>による<b>原子炉容器への注水</b>                  発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である<b>ディーゼル駆動消火ポンプ</b>により<b>ろ過水タンク</b>水を原子炉容器へ注水する。                  また、<b>発電用原子炉停止中</b>において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合、常用設備である<b>電動機駆動消火ポンプ</b>又は<b>ディーゼル駆動消火ポンプ</b>により<b>ろ過水タンク</b>水を原子炉容器へ注水する。                  使用に際しては、<b>重大事故等対処に悪影響を与える火災</b>が発生していないことを確認して使用する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>i. 手順着手の判断基準                      A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-C S S連絡ライン使用）の故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要なNo. 2淡水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1.4.2.1(1)b. (c)と同様。</p> <p>(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水                      運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬式代替低圧注水ポンプにより海水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-C S S連絡ライン使用）の故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1.4.2.1(1)b. (d)と同様。</p>		<p>i. 手順着手の判断基準                      B格納容器スプレイポンプの故障等により原子炉容器への注水をB格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要な過水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順                      ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1)b. (c)の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから消火ポンプによる原子炉容器への注水開始まで40分以内で可能である。</p> <p>(f) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水                      発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      B格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水をB格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順                      海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1)b. (d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで200分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(g) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B-格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水をB-格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで145分以内で可能である。</p> <p>(h) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B-格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水をB-格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (f)「原水槽</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 代替再循環運転</p> <p>(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</p> <p>i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B 高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合に、大容量ポンプにより代替補機冷却による冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</p>		<p>を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで200分以内で可能である。</p> <p>b. 代替再循環運転</p> <p>(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</p> <p>i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転により原子炉容器への注水を行い、あわせて可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内を冷却する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合に、可搬型大型送水ポンプ車による代替補機冷却により冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転については、1.4.2.1(2)b.(a)i.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>(iii) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転開始まで15分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</p> <p>i. <b>A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</b></p> <p>運転停止中において、再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失を原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認した場合に、空調用冷水系が運転中で、低圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(b) i. と同様。</p> <p>ii. <b>B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</b></p> <p>運転停止中において、再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて<b>大容量ポンプ</b>を用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する<b>手順を整備する</b>。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時の<b>対応であるA余熱除去ポンプ（空調用冷水）低圧代替再循環運転による炉心への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、大容量ポンプにより代替補機冷却による冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</b></p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(a) i. と同様。</p>		<p>(b) <b>発電用原子炉</b>停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</p> <p>i. <b>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</b></p> <p>発電用原子炉停止中において、原子炉補機冷却機能が喪失し余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、<b>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転により原子炉容器への注水を行い、あわせて、可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内を冷却する。</b></p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に原子炉補機冷却機能喪失を<b>原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認</b>した場合に、<b>可搬型大型送水ポンプ車</b>による代替補機冷却により冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転については、1.4.2.1(2)b.(a) i. 「<b>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</b>」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</p> <p>(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水                  運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</p>	<p>(iii) 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転開始まで15分以内で可能である。</p> <p>c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</p> <p>(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水                  発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水については、1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからタービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで5分以内で可能である。</p> <p>(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水                  発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、SG直接給水用高圧ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。                  なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水                  運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）により蒸気発生器へ注水する手順を整備する。                  なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  運転停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  操作手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>		<p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水されていることを補助給水流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで60分以内で可能である。</p> <p>(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水                  発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する。                  なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順                  海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで230分以内で可能である。</p> <p>(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブロウダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで180分以内で可能である。</p> <p>(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から蒸気発生器へ注水する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出                  運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う<b>手順を整備する。</b></p> <p>i. 手順着手の判断基準                  運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を<b>余熱除去流量</b>等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順                  操作手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて</p>		<p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順                  原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで205分以内で可能である。</p> <p>d. 蒸気発生器2次側からの除熱による<b>発電用原子炉</b>の冷却（蒸気放出）                  (a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出                  発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側からの除熱による<b>発電用原子炉</b>の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を<b>低圧注入流量</b>等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順                  主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出については、「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>整備する。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</p> <p>運転停止中において、主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、蒸気発生器ブローダウンタンクに排出させ、適時放射性物質濃度等を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>操作手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p>		<p>蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから主蒸気逃がし弁による蒸気発生器からの蒸気放出開始まで20分以内で可能である。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</p> <p>発電用原子炉停止中において、主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、温水ピットに排出させ、適時水質を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</p> <p>(c) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード開始まで445分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由㊟）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表 p1.4-193 より再掲】                      空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。</p>	<p>a. 復旧                      (a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱                      全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の故障により、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱ができない場合は、常設代替交流電源設備により残留熱除去系の電源を復旧し、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）又は原子炉補機代替冷却水系により冷却水を確保することで、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）にて発電用原子炉からの除熱を実施する。                      なお、常設代替交流電源設備に関する手順等は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。                      また、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系に関する手順については「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      常設代替交流電源設備により非常用高圧母線 2C 系及び 2D 系の受電が完了し、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が使用可能な状態<sup>*</sup>に復旧された場合。                      ※：設備に異常がなく、電源及び補機冷却水が確保されており、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル 3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の状態。</p> <p>ii. 操作手順                      残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）電源復旧後の発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第 1.4-37 図に、タイムチャートを第 1.4-38 図に示す。                      ①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。                      ②運転員（中央制御室）A は、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）の起動に必要なポンプ、電動弁及び監視計器の電源並びに補機冷却水が確保されていること、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル 3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを状態表示にて確認する。                      ③運転員（中央制御室）A は、系統構成として、RHR ポン</p>	<p>f. 復旧                      (a) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水                      全交流動力電源喪失により、B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備により B-充てんポンプの電源を復旧することで、B-充てんポンプにて原子炉容器へ注水する。                      なお、常設代替交流電源設備に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「代替交流電源設備による給電」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、原子炉容器へ注水するために必要な燃料取替用水ピットの水位が確保され、B-充てんポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順                      B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水については、「1.4.2.1(2) a. (b) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）                      【女川】記載表現の相違                      【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）                      【女川】記載表現の相違                      ・泊は、条文間及び条文内での整合を図るため、使用可能な状態を具体的に記載している。</p>



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>ブ (A) S/C 吸込弁, RHR ポンプ (A) ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ (A) 吐出弁の全開操作並びに RHRA 系停止時冷却吸込第一隔離弁, RHRA 系停止時冷却吸込第二隔離弁, RHR ポンプ (A) 停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員 (中央制御室) A は, RHR ポンプ (A) ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し, 残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) 運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は, 運転員に残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員 (中央制御室) A は, 残留熱除去系ポンプ (A) の起動操作を実施し, 残留熱除去系ポンプ (A) の出口圧力が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後, RHR A 系停止時冷却注入隔離弁を開操作し, 発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員 (中央制御室) A は, 発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し, 発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員 (中央制御室) A は, RHR 熱交換器 (A) 出口弁を調整し, 発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は, 運転員 (中央制御室) 1 名にて作業を実施した場合, 作業開始を判断してから残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱開始まで 30 分以内で可能である。</p>	<p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は, 運転員 (中央制御室) 1 名, 運転員 (現場) 1 名及び災害対策要員 1 名にて作業を実施した場合, 作業開始を判断してから B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水開始まで 40 分以内で可能である。</p> <p>(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転                      全交流動力電源喪失により, A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転による原子炉容器への注水ができない場合は, 常設代替交流電源設備により A-高圧注入ポンプの電源を復旧することで, 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転にて原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお, 常設代替交流電源設備に関する手順については, 「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち, 1.14.2.1(1)「代替交流電源設備による給電」にて整備する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>i. 手順着手の判断基準                      常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、可搬型大型送水ポンプ車による代替補機冷却により冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されており、A－高圧注入ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順                      可搬型大型送水ポンプ車を用いたA－高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転については、1.4.2.1(2) b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA－高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車を用いたA－高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転開始まで15分以内で可能である。</p> <p>(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水                      全交流動力電源喪失により、電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備により電動補助給水ポンプの電源を復旧することで、電動補助給水ポンプにて補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。                      なお、常設代替交流電源設備に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「代替交流電源設備による給電」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピットの水位が確保され、電動補助給水ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順                      電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水については、1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで5分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>g. 優先順位</p> <p>運転停止中にサポート系の機能喪失により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、空冷式非常用発電装置からの受電準備を行うとともに、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却を優先する。</p>	<p>b. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。</p> <p>常設代替交流電源設備により交流電源が確保できた場合、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の運転が可能であれば残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）により発電用原子炉からの除熱を実施する。原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の運転ができない場合、原子炉補機代替冷却水系を設置し、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）により発電用原子炉からの除熱を実施するが、原子炉補機代替冷却水系の設置に時間を要することから、低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）等による原子炉圧力容器への注水を並行して実施する。</p>	<p>g. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4.44図に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中にサポート系の故障により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、常設代替交流電源設備からの受電準備を行うとともに、原子炉格納容器からの作業員の退避指示を行い、原子炉格納容器の隔離を行う。原子炉格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を優先する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）                  ・泊は1.4.2.5にて同等の内容を整理。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）                  【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器2次側による炉心冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。空冷式非常用発電装置からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水による原子炉の冷却を行う。まず、燃料取替用水ピットの重力注水による代替炉心注水を行う。燃料取替用水ピット（重力注水）は多様性拡張設備であるが、電源回復しない場合でも注水が可能であるため優先して使用する。</p>	<p>【比較のため、玄海3/4号炉技術的能力1.4まとめ資料1.4.2.3(2)g.より引用（下線部が泊と同様）】</p> <p>蒸気発生器による冷却ができない場合は、炉心への注水操作を実施する。まず、燃料取替用水タンク（ピット）による重力注入による代替炉心注水を行う。燃料取替用水タンク（ピット）による重力注入は多様性拡張設備であるが、電源回復しない場合でも注水が可能であるため優先して使用する。ただし、全交流動力電源喪失時においては現場での手動操作となり、流量調整等の制御が困難であることから、安全確保のため原子炉格納容器内作業員を退避させ、原子炉格納容器エアロックを閉止した後に実施する。</p>	<p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。常設代替交流電源設備からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、SG直接給水用高圧ポンプを使用する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、タービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却ができない場合は、原子炉容器への注水による発電用原子炉の冷却を行う。まず、燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水を行う。燃料取替用水ピットによる重力注水は自主対策設備であるが、電源回復しない場合でも注水が可能であるため優先して使用する。ただし、全交流動力電源喪失時においては現場での手動操作となり、流量調整等の制御が困難であることから、安全確保のため原子炉格納容器内作業員を退避させ、格納容器エアロックを閉止した後に実施する。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能なため、水源の優先順位を整理している。</li> </ul> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業員の安全確保に関する記載は伊方及び玄海と同様。</li> </ul>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>空冷式非常用発電装置から受電後は、蓄圧タンクによる代替炉心注水に加え、継続的に炉心に注水するために恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、高揚程であるB充てんポンプ（自己冷却）を使用する。B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水ができない場合は、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水を行う。</p> <p>A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合は、消火ポンプによる代替炉心注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、海水を水源とした可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。可搬式代替低圧注水ポンプは重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、多様性拡張設備を含む他の注水手段がなければ原子炉への注水を行う。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて空調用冷水を使用したA余熱除去ポンプ及び電動消火ポンプによる原子炉への注水手段がある。A余熱除去ポンプ（空調用冷水）は恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合に使用する。電動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためA格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合に使用する。</p>	<p>【比較のため、玄海3/4号炉技術的能力1.4まとめ資料1.4.2.3(2)g.より引用（下線部が泊と同様）】</p> <p>大容量空冷式発電機から受電後は、常設電動注入ポンプ、B充てんポンプ（自己冷却）、B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSSタイライン使用）による代替炉心注水を行う。各操作の優先順位は、現場での系統構成が容易な常設電動注入ポンプによる代替炉心注水を優先する。常設電動注入ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水を行い、それができない場合は、B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSSタイライン使用）による代替炉心注水を行う。</p>	<p>常設代替交流電源設備から受電後は、継続的に原子炉容器に注水するために代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水を行う。代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、高揚程であるB-充てんポンプ（自己冷却）を使用する。B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を行う。</p> <p>B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水ができない場合は、消火ポンプによる原子炉容器への注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、淡水又は海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水を行う。可搬型大型送水ポンプ車は重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ原子炉容器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水手段がある。電動機駆動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためB-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水ができない場合に使用する。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</li> </ul> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、大容量ポンプによる補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、B 高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p> <p>運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合は、代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、準備時間の短いA余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p> <p>A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転ができない場合は、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉へ注水を行う。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.43 図に示す。</p>		<p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、可搬型大型送水ポンプ車による補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転により原子炉容器へ注水を行い、あわせて可搬型大型送水ポンプ車からの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより原子炉格納容器内を冷却する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉へ注水して開放中の加圧器安全弁から格納容器内へ蒸散させることにより原子炉を冷却する。この場合は、格納容器内の雰囲気悪化から格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、運転停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は運転停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.4.22)</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇により停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信した場合又は停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。</li> <li>② 運転員等は、中央制御室でエバケーションアラーム又はページング装置により格納容器内の作業員へ退避を指示する。</li> <li>③ 出入監視員は、現場で格納容器内入退域を管理する装置により、全作業員が退避していることを確認する。</li> <li>④ 各作業の作業責任者（又は代理人）は、現場で作業員の点呼を行い、全作業員が退避していることを確認す</li> </ol>		<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉容器へ注水して開放中の加圧器安全弁から原子炉格納容器内へ蒸散させることにより発電用原子炉を冷却する。この場合は、原子炉格納容器内の雰囲気悪化から原子炉格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、発電用原子炉停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、原子炉格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、発電用原子炉停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は発電用原子炉停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.4.24)</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>発電用原子炉停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇によりSR炉停止時中性子束高警報が発信した場合、又はSR炉停止時中性子束高警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に原子炉格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。</li> <li>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で格納容器内退避警報又は所内通話設備により原子炉格納容器内の作業員へ退避を指示する。</li> <li>③ 格納容器出入管理員は、現場で原子炉格納容器入口付近のC/V入域退出管理簿を確認し、全作業員の退避を確認する。</li> </ol>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊3号炉は社内規程類にて定めるC/V入域退出管理簿により入退域を管理。</li> <li>・大飯3/4号炉と入退域の管理が異なるが、作業員の退避を確認することに相違</li> </ul>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>る。</p> <p>⑤ 作業責任者（又は代理人）は、現場で出入監視員に点呼結果を連絡し、出入監視員は全作業員が退避していることを再確認する。</p> <p>⑥ 出入監視員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり出入監視員1名により作業を実施し、所要時間は約30分と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。                      （添付資料 1.4.22）</p>		<p>④ 格納容器出入管理員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>⑤ 運転員（現場）Bは、現場で格納容器エアロックが閉止されたことを確認する。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び格納容器出入管理員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから格納容器エアロックを閉止まで40分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。                      （添付資料 1.4.24）</p>	<p>なし。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>1.4.2.3 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 残留熱除去系（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水                      残留熱除去系（低圧注水モード）が健全な場合は、自動起動（原子炉水位低（レベル1）又はドライウエル圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（低圧注水モード）を起動し、サブプレッションチェンバを水源とした原子炉圧力容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準                      復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順                      残留熱除去系（A）（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（低圧注水モード）又は残留熱除去系（C）（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水手順も同様）。概要図を第1.4-39図に示す。</p>	<p>1.4.2.4 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水                      高圧注入ポンプが健全な場合は、自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により高圧注入ポンプを起動し、燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準                      高圧注入ポンプの自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）が発信した場合。</p> <p>b. 操作手順                      高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.3(1) a. (b)「高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水                      余熱除去ポンプが健全な場合は、自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準                      余熱除去ポンプの自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）が発信した場合。</p> <p>b. 操作手順                      余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.41図に示す。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）                      ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号(原子炉水位低(レベル1)又はドライウエル圧力高)により残留熱除去系ポンプ(A)が起動し、残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が残留熱除去系ポンプ(A)の出口圧力以下であることを確認後、運転員に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号(原子炉水位低(レベル1)及び注入隔離弁差圧低又はドライウエル圧力高及び注入隔離弁差圧低)によりRHR A系LPCI注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員(中央制御室)Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低(レベル3)から原子炉水位高(レベル8)の間で維持する。</p> <p>※ 原子炉圧力容器内の水位が維持され原子炉圧力容器への注水が不要となる間、原子炉格納容器内にスプレーする場合は、RHR A系LPCI注入隔離弁を全閉後、RHR A系格納容器スプレー隔離弁、RHR A系格納容器スプレー流量調整弁及びRHR A系S/Cスプレー隔離弁を全開してスプレーを実施する。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員(中央制御室)1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 低圧炉心スプレー系による原子炉圧力容器への注水                      低圧炉心スプレー系が健全な場合は、自動起動(原子炉水位低(レベル1)又はドライウエル圧力高)による作動又は中央制御室からの手動操作により低圧炉心スプレー系を起動し、サブプレッションチェンバを水源とした原子炉圧力容器への注水を実施する。</p>	<p>① 発電課長(当直)は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水開始を指示する。</p> <p>② 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号により余熱除去ポンプが起動したことを確認し、発電課長(当直)に報告する。</p> <p>③ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で低圧注入流量等により原子炉容器への注水が実施できていることを確認するとともに1次冷却材温度等により発電用原子炉の冷却状態及び余熱除去ポンプの運転状態に異常がないことを継続して確認する。また、冷却状態が維持できない場合は、溢水させフィードアンドブリード運転とする。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員(中央制御室)1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転                      高圧注入ポンプが健全な場合は、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプル水を原子炉容器へ注水する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)                      ・重大事故等対処設備(設計基準拡張)による手順新規追加</p>



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>a. 手順着手の判断基準                      復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順                      低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり。                      概要図を第1.4-40図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）又はドライウェル圧力高）により低圧炉心スプレイ系ポンプが起動し、低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が低圧炉心スプレイ系ポンプの出口圧力以下であることを確認後、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）及び注入隔離弁差圧低又はドライウェル圧力高及び注入隔離弁差圧低）により LPCS 注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）から原子炉水位高（レベル8）の間で維持する。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>a. 手順着手の判断基準                      高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順                      高圧注入ポンプによる高圧再循環運転については、1.4.2.1(1)c.(a)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）                      ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が健全な場合は、中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）を起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の場合。</p>	<p>(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、余熱除去ポンプによる低圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプ水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>低圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる低圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.42図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる低圧再循環運転開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で系統構成を行い、余熱除去ポンプによる低圧再循環運転を開始する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプにより原子炉容器へ注水されていることを低圧注入流量等で確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により、発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>1次冷却材温度 177℃未満及び1次冷却材圧力 2.7MPa[gage]以下の場合。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 操作手順</p> <p>残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり(残留熱除去系 (B) (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱手順も同様)。概要図を第 1.4-41 図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員 (中央制御室) A は、原子炉水位指示値が原子炉水位低 (レベル3) 以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを確認する。</p> <p>③運転員 (中央制御室) A は、系統構成として、RHR ポンプ (A) S/C 吸込弁、RHR ポンプ (A) ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ (A) 吐出弁の全開操作並びに RHR A 系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHR A 系停止時冷却吸込第二隔離弁及び RHR ポンプ (A) 停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員 (中央制御室) A は、RHR ポンプ (A) ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) 運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員 (中央制御室) A は、残留熱除去系ポンプ (A) の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ (A) 出口圧力指示値が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A 系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員 (中央制御室) A は、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員 (中央制御室) A は、RHR 熱交換器 (A) 出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員 (中央制御室) 1 名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>b. 操作手順</p> <p>残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり(残留熱除去系 (B) (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱手順も同様)。概要図を第 1.4-41 図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員 (中央制御室) A は、原子炉水位指示値が原子炉水位低 (レベル3) 以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを確認する。</p> <p>③運転員 (中央制御室) A は、系統構成として、RHR ポンプ (A) S/C 吸込弁、RHR ポンプ (A) ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ (A) 吐出弁の全開操作並びに RHR A 系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHR A 系停止時冷却吸込第二隔離弁及び RHR ポンプ (A) 停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員 (中央制御室) A は、RHR ポンプ (A) ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) 運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員 (中央制御室) A は、残留熱除去系ポンプ (A) の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ (A) 出口圧力指示値が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A 系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員 (中央制御室) A は、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員 (中央制御室) A は、RHR 熱交換器 (A) 出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員 (中央制御室) 1 名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり。概要図を第 1.4.43 図に示す。</p> <p>① 発電課長 (当直) は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>② 運転員 (中央制御室) A は、中央制御室で1次冷却材温度 177℃未満及び1次冷却材圧力 2.7MPa [gage] 以下であることを確認する。</p> <p>③ 運転員 (中央制御室) A は、中央制御室で系統構成を実施し、余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備完了を発電課長 (当直) に報告する。</p> <p>④ 発電課長 (当直) は、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑤ 運転員 (中央制御室) A は、中央制御室で余熱除去ポンプの起動操作を実施し、1次冷却材温度等により発電用原子炉からの除熱が開始されたことを確認し、発電課長 (当直) に報告する。</p> <p>⑥ 運転員 (中央制御室) A は、中央制御室で1次冷却材温度等により発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員 (中央制御室) 1 名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>・重大事故等対処設備(設計基準拡張)による手順新規追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.2.4 復旧に係る手順等</p> <p>全交流動力電源が喪失した場合は、代替電源を設計基準対処設備に給電し、起動及び十分な期間の運転を継続させる。また、燃料取替用水ピットの枯渇、破損のおそれがある場合は、代替水源により水を供給する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。また、燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c、「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>			<p>【大阪】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊の復旧に係る手順は、1.4.1.1、1.4.1.2及び1.4.1.3の復旧にて整理している。</li> <li>・代替電源に関する手順、常設代替交流電源設備への燃料補給手順及び燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順については、1.4.2.5で網羅している。</li> </ul> <p>【大阪】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は1.4.2.5「その他の手順項目について考慮する手順」で整理している。</li> </ul>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-99,100より再掲】</p> <p>e. その他の手順項目にて考慮する手順                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」及び1.13.2.2(5)「1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレィポンプによる格納容器スプレィ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレィ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレィ」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.4 その他の手順項目について考慮する手順                      原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系による補機冷却水確保手順は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。                      復水貯蔵タンク、淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）への水の補給手順並びに水源から接続口までの大容量送水ポンプ（タイプI）による送水手順については、「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。</p> <p>復水移送ポンプ、直流駆動低圧注水系ポンプ、ろ過水ポンプ、残留熱除去系ポンプ、低圧炉心スプレィ系ポンプ、代替循環冷却ポンプ、原子炉冷却材浄化系ポンプ、電動弁及び監視計器への電源供給手順並びにガスタービン発電機、電源車及び大容量送水ポンプ（タイプI）への燃料補給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.5 その他の手順項目について考慮する手順                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の対応手順については、「1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2「水源へ水を補給するための対応手順」及び1.13.2.3「水源を切り替えるための対応手順」にて整備する。</p> <p>補助給水ピットの枯渇又は破損時の対応手順については、「1.13 重大事故時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2「水源へ水を補給するための対応手順」及び1.13.2.3「水源を切り替えるための対応手順」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の原子炉格納容器下部への注水手順については、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」にて整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「C、D—格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」及び1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレィ」にて整備する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却手順については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D—格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川審査の反映）                      【大飯】記載方針の相違                      ・大飯は個別手順のリンク先を記載しているが、泊は燃料取替用水ピットへの供給手順等の手順全般をリンクさせる記載としている。                      【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川審査の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違                      ・参照先の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>【比較のため、比較表p1.4-193より再掲】</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>		<p>常設代替交流電源設備に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「代替交流電源設備による給電」にて整備する。また、代替非常用発電機及び可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「燃料の補給の手順」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順については、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系故障時の対応手順」で対応する。また、発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系故障時の手順等」で対応する。</p>	<p>【大阪】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大阪】記載箇所の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪は設備によって重油又は軽油を使用することから、補給する燃料を明確にしている。</li> <li>泊は重大事故等時に使用する設備の燃料はすべて軽油のため識別不要であるが、燃料補給の手順を整備する技術的能力1.14にて燃料が軽油であることを記載している。</li> </ul> <p>【大阪】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大阪】記載箇所の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違(女川実績の反映)</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-113より再掲】</p> <p>d. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られる場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(2)b.(a)「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(2)a.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への給油に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯の 1.4.2.1(2)d で整理している手順項目は泊の1.4.2.5 で網羅している。</li> </ul>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p><b>【比較のため、比較表p1.4-140より再掲】</b></p> <p>(3) その他の手順項目にて考慮する手順                      空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(i)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>復水ピットが枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.1「蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p><b>【比較のため、比較表p1.4-160,161より再掲】</b></p> <p>h. その他の手順項目にて考慮する手順                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(i)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p><b>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</b>                      ・大飯の 1.4.2.2(3)で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。</p> <p><b>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</b>                      ・大飯の 1.4.2.3(1)h.で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-182より再掲】</p> <p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯の 1.4.2.3(2)f.で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。</li> </ul>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
対応手段、対処設備、手順書一覧（1/9）  
（重大事故等対処設備（設計基準拡張））

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	
重大事故等対処設備（設計基準拡張）	残留熱除去系（低圧水モード）による発電用原子炉の冷却	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※5 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※5 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書（微減ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	
				軽圧炉心スプレイスポンプ サブプレッションチェンバ 軽圧炉心スプレイス 配管・弁・ストレーナ・スパージヤ 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書（微減ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「軽圧炉心スプレイスポンプによる原子炉注水」
				残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁 原子炉再循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書（微減ベース） 「減圧冷却」等 非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」

※1：手順は「L13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
※2：手順は「L14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
※3：手順は「L15 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
※4：L19 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解釈】(h) 項を満足するための代替淡水源（池泉）  
※5：残留熱除去系（軽圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
対応手段、対処設備、手順書一覧（1/22）  
（重大事故等対処設備（設計基準拡張））

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類※1	整備する手順書	手順書の分類
重大事故等対処設備（設計基準拡張）	残留熱除去系（低圧水モード）による発電用原子炉の冷却	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※5 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	高圧注入ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器再循環ポンプ 非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 1次冷却設備 原子炉再循環系 非常用交流電源設備※1 炉内非常電源式高圧電源設備※1	重大事故等対処設備	事故の発生を行う運転手順書等	設備及び設計基準事故に対応する運転手順書
			高圧注入ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器再循環ポンプ 安全注入ポンプ再循環ポンプ入口の9割無調運転 非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 1次冷却設備 原子炉再循環系 非常用交流電源設備※1	重大事故等対処設備	事故の発生を行う運転手順書等	設備及び設計基準事故に対応する運転手順書
			高圧注入ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器再循環ポンプ 安全注入ポンプ再循環ポンプ入口の9割無調運転 非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 1次冷却設備 原子炉再循環系 非常用交流電源設備※1	重大事故等対処設備	1次冷却源発生時等発生時に対応する対応手順書	設備及び設計基準事故に対応する運転手順書
			高圧注入ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器再循環ポンプ 安全注入ポンプ再循環ポンプ入口の9割無調運転 非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 1次冷却設備 原子炉再循環系 非常用交流電源設備※1	重大事故等対処設備	1次冷却源発生時等発生時に対応する対応手順書	設備及び設計基準事故に対応する運転手順書
			高圧注入ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器再循環ポンプ 安全注入ポンプ再循環ポンプ入口の9割無調運転 非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 1次冷却設備 原子炉再循環系 非常用交流電源設備※1	重大事故等対処設備	1次冷却源発生時等発生時に対応する対応手順書	設備及び設計基準事故に対応する運転手順書
			高圧注入ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器再循環ポンプ 安全注入ポンプ再循環ポンプ入口の9割無調運転 非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 1次冷却設備 原子炉再循環系 非常用交流電源設備※1	重大事故等対処設備	1次冷却源発生時等発生時に対応する対応手順書	設備及び設計基準事故に対応する運転手順書

※1：手順は「L14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
※2：重大事故等対応において用いる設備の分類  
※3：当該条項に適合する重大事故等対処設備 ※4：対象に適合する重大事故等対処設備 ※5：自主的対応として整備する重大事故等対処設備

泊3号炉との比較対象なし

【大阪】  
記載方針の相違  
（女川審査実績の  
反映）  
・泊は設計基準事  
故対処設備による  
対応手段を整  
理





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載内容又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.1表を再掲】

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順（運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるフロントライン系機能喪失時）

Table with columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手順書, 手順の分類. Includes sub-sections for 1次冷却材喪失事象が発生している場合 and 運転再開.

※1：大阪発電所 重大事故等発生時に必要となる水の供給手順等にて整備する。  
※2：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
※3：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
※4：可搬型代替炉内注水ポンプにより炉内注水する場合は給排水を注水する。  
※5：空冷式非常用発電機等の燃料供給に使用する。手順は「1.14 燃料の確保に関する手順等」にて整備する。  
※6：電源車「可搬型代替炉内注水ポンプ」の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器の冷却のための手順等」にて整備する。  
※7：送水車の燃料供給に使用するの構成のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。  
※8：ディーゼル発電機等により駆動する。  
※9：A、D格納容器内設置ユニットで格納容器冷却を行う。手順は「1.7 原子炉格納容器の漏洩防止するための手順等」にて整備する。  
※10：重大事故等対応に用いている設備の分類  
a：高圧注水に適合する重大事故等対応設備 b：中圧注水に適合する重大事故等対応設備 c：自主対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧（3/9）  
（発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時）

Table with columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 手順書. Includes sub-sections for フロントライン系故障 and 冷却.

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
※3：手順は「1.1 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【脚注】1b) 項を確定するための代替送水型（増設）。  
※5：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機に期待しておらず、熱交換機は流路としてのみ用いる。

対応手段、対応設備、手順書一覧（3/22）  
（1次冷却材喪失事象が発生している場合のフロントライン系故障時）

Table with columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手順書, 手順の分類. Includes sub-sections for フロントライン系故障 and 冷却.

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
※2：可搬型代替炉内注水ポンプにより炉内注水する手順にて整備する。  
※3：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
※4：原水車の補給は、2次高圧水タンク及び送水タンクから採得することをより行う。  
※5：C、D格納容器内設置ユニットによる格納容器冷却は「1.7 原子炉格納容器の漏洩防止するための手順等」にて整備する。  
※6：重大事故等対応に用いている設備の分類  
a：高圧注水に適合する重大事故等対応設備 b：中圧注水に適合する重大事故等対応設備 c：自主対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
記載方針の相違（女川審査実績の反映）  
・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.1表を再掲】

第1.4.1表 機建喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるフロントライン系機建喪失時)

分類	機建喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材喪失時	心注水(⑤)	心注水(⑤)	A. 補充ポンプ等	補充ポンプ	c	
			燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		補充ポンプ
			取水ピット	取水ピット		補充ポンプ
			ほう殿タンク	ほう殿タンク		補充ポンプ
			1次冷却水タンク	1次冷却水タンク		補充ポンプ
			1次冷却水タンク	1次冷却水タンク		補充ポンプ
			A格納容器スプレッドポンプ(RHS-CSS連絡ライン使用)	A格納容器スプレッドポンプ		補充ポンプ
			恒常式非常用発電機等	恒常式非常用発電機		補充ポンプ
			燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		補充ポンプ
			取水ピット	取水ピット		補充ポンプ
心注水(⑥)	心注水(⑥)	A格納容器スプレッドポンプ(RHS-CSS連絡ライン使用)	A格納容器スプレッドポンプ	補充ポンプ	a	
		恒常式非常用発電機等	恒常式非常用発電機	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		取水ピット	取水ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		ほう殿タンク	ほう殿タンク	補充ポンプ		
		1次冷却水タンク	1次冷却水タンク	補充ポンプ		
		2次冷却水タンク	2次冷却水タンク	補充ポンプ		
		可動式代替給注水ポンプ	可動式代替給注水ポンプ	補充ポンプ		
		可動式代替給注水ポンプ	可動式代替給注水ポンプ	補充ポンプ		
高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	補充ポンプ	a,b	
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	補充ポンプ	c	
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	補充ポンプ		

注1：1次冷却材喪失時における原子炉冷却材の確保のための活動に関する手順  
 注2：手順1、1.13 重大事故等の発生に必要な水の供給手順等にて整備する。  
 注3：手順1、1.14 電力の確保に関する手順等にて整備する。  
 注4：可動式代替給注水ポンプにより心注水する場合は取水を注水する。  
 注5：空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。手順1、1.14 電力の確保に関する手順等にて整備する。  
 注6：可動式代替給注水ポンプの燃料供給に使用する。手順1、1.6 原子炉格納容器内の冷却材の確保のための手順等にて整備する。  
 注7：送水車の燃料供給に使用する。手順1、1.6 原子炉格納容器内の冷却材の確保のための手順等にて整備する。  
 注8：プーロープ発電機により発電する。  
 注9：A. 自動給注水装置により前記する。  
 注10：重大事故発生時に用いている設備の分類  
 a: 当該表文に適合する重大事故等対応設備 b: 37条に適合する重大事故等対応設備 c: 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(4/22)

(1次冷却材喪失事象が発生している場合のフロントライン系故障時)

分類	機建喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失時	心注水(⑤)	心注水(⑤)	燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	c
			燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	
			燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	
			燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	
			燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	
			燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	
			燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	
			燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	
			燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	
			燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	
心注水(⑥)	心注水(⑥)	燃料取替用ピット	燃料取替用ピット	a	
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	a,b	
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	c	
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		
		燃料取替用ピット	燃料取替用ピット		

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉						
第 1.4.2 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (1/2)						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交流動力電源*	代 替 保 存 注 水 系 (一 次 注 水)	恒置式代替注水ポンプ	a,b	恒置式代替注水ポンプを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式非常用発電機*	c	空冷式非常用発電機を用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	SA所定*
			燃料取替用タンク	a,b	燃料取替用タンクを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	SA所定*
			復水ピット	a	復水ピットを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	SA所定*
			燃料油貯蔵タンク	a,b	燃料油貯蔵タンクを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	SA所定*
			重油タンク	a,b	重油タンクを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	SA所定*
			タンクローリー	a,b	タンクローリーを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	SA所定*
			A格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHR-SSS選線ライン使用)	a	A格納容器スプレイポンプを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料取替用タンク	a	燃料取替用タンクを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書
			ディーゼル消火ポンプ	a	ディーゼル消火ポンプを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書
			No. 2後水タンク	a	No. 2後水タンクを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式代替注水ポンプ	a	可搬式代替注水ポンプを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書
			電機車 (可搬式代替注水ポンプ用)	a	電機車を用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書
			恒置式立式水機	a	恒置式立式水機を用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書
			送水車	a	送水車を用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書
燃料油貯蔵タンク	a	燃料油貯蔵タンクを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書			
重油タンク	a	重油タンクを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書			
タンクローリー	a	タンクローリーを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書			
駆動ドラム	a	駆動ドラムを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書			
代 替 再 循 環 注 水 系 (一 次 注 水)	代 替 保 存 注 水 系 (一 次 注 水)	恒置式注入ポンプ (保水冷却)	a,b	恒置式注入ポンプを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書	
大容量ポンプ		a,b	大容量ポンプを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書		
格納容器内循環ポンプ		a,b	格納容器内循環ポンプを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書		
格納容器内循環ポンプスタブ		a,b	格納容器内循環ポンプスタブを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書		
空冷式非常用発電機		a,b	空冷式非常用発電機を用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書		
燃料油貯蔵タンク	a,b	燃料油貯蔵タンクを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書			
重油タンク	a,b	重油タンクを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書			
タンクローリー	a,b	タンクローリーを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書			

\*1：大阪発電所 重大事象等発生時における原子炉格納容器の冷却のための活動に関する所定。  
 \*2：手順1、1.14 電線の確保に関する手順等にて整備する。  
 \*3：空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。手順は「1.14 電線の確保に関する手順等」にて整備する。  
 \*4：可搬式代替注水ポンプにより原子炉を冷却する運転手順を含む。  
 \*5：電機車 (可搬式代替注水ポンプ用) の燃料供給に関する手順。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 \*6：送水車の燃料供給に関する手順。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 \*7：大容量ポンプの燃料供給に関する手順。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 \*8：手順1、1.6 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等にて整備する。  
 \*9：重大事故対策において用いる設備の分類  
 a：当該本文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第 1.4.2 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (2/2)					
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失事象が発生している場合	原子炉補機冷却水系	代 替 保 存 注 水 系 (一 次 注 水)	④全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替保注水に用いる設備と同様	④全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替保注水に用いる設備と同様	④全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替保注水に用いる設備と同様
			A余熱除去ポンプ (空調用冷水) *	A余熱除去ポンプ (空調用冷水) を用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書
	電動注水ポンプ	a	電動注水ポンプを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書	
	⑤全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に用いる設備と同様	代 替 再 循 環 注 水 系 (一 次 注 水)	⑤全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に用いる設備と同様	⑤全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に用いる設備と同様	⑤全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に用いる設備と同様
	A余熱除去ポンプ (空調用冷水) *	a	A余熱除去ポンプ (空調用冷水) を用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書	
	格納容器内循環ポンプ	a	格納容器内循環ポンプを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書	
	格納容器内循環ポンプスタブ	a	格納容器内循環ポンプスタブを用いた 代替保注水により 原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉格納容器破損を防止する運転手順書	

\*1：A、D格納容器内循環ポンプで格納容器冷却を行う。手順は「1.7 原子炉格納容器の過熱を防止するための手順等」にて整備する。  
 \*2：手順1、1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等にて整備する。  
 \*3：重大事故対策において用いる設備の分類  
 a：当該本文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所 2号炉					
対応手段、対処設備、手順書一覧 (4/9) (発電用原子炉運転中のサポート系故障時)					
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類
サポート系故障	全交流動力電源	機 能 喪 失 を 想 定 す る 設 計 基 準 事 故 対 処 設 備	原子炉補機代替冷却水系 ※3 常設代替交流電源設備 ※2	重大事故等対応設備 非常時操作手順書 (濃縮ベース) 等 「水位確保」等	非常時操作手順書 (濃縮ベース) 等 「水位確保」等
	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却母水系を含む)	機 能 喪 失 を 想 定 す る 設 計 基 準 事 故 対 処 設 備	残留熱除去系ポンプ サブレーションチャンバ 残留熱除去系 熱交換器・配管・非・ストレート ※5 原子炉压力容器 原子炉補機冷却母水系 (原子炉補機冷却母水系を含む。) ※3 非常用取水設備 ※3	重大事故等対応設備 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」
	低圧炉心スプレイ系ポンプ	機 能 喪 失 を 想 定 す る 設 計 基 準 事 故 対 処 設 備	低圧炉心スプレイ系ポンプ サブレーションチャンバ 低圧炉心スプレイ系 配管・非・ストレート・スパージョ 原子炉压力容器 原子炉補機冷却母水系 (原子炉補機冷却母水系を含む。) ※3 非常用取水設備 ※3	重大事故等対応設備 非常時操作手順書 (濃縮ベース) 等 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	非常時操作手順書 (濃縮ベース) 等 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」

\*1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 \*2：手順は「1.14 電線の確保に関する手順等」にて整備する。  
 \*3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 \*4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】16) 量を満足するための代替送水 (措置)  
 \*5：残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所 3号炉						相違理由
対応手段、対処設備、手順書一覧 (5/22) (1次冷却材喪失事象が発生している場合のサポート系故障時)						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類	相違理由
サポート系故障	全交流動力電源	機 能 喪 失 を 想 定 す る 設 計 基 準 事 故 対 処 設 備	代 替 保 存 注 水 系 (一 次 注 水)	全交流動力電源喪失時における対応手順書等	全交流動力電源喪失時における対応手順書等	
	原子炉補機冷却水系	機 能 喪 失 を 想 定 す る 設 計 基 準 事 故 対 処 設 備	代 替 再 循 環 注 水 系 (一 次 注 水)	全交流動力電源喪失時における対応手順書等	全交流動力電源喪失時における対応手順書等	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
	低圧炉心スプレイ系ポンプ	機 能 喪 失 を 想 定 す る 設 計 基 準 事 故 対 処 設 備	代 替 再 循 環 注 水 系 (一 次 注 水)	全交流動力電源喪失時における対応手順書等	全交流動力電源喪失時における対応手順書等	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
	格納容器内循環ポンプ	機 能 喪 失 を 想 定 す る 設 計 基 準 事 故 対 処 設 備	代 替 再 循 環 注 水 系 (一 次 注 水)	全交流動力電源喪失時における対応手順書等	全交流動力電源喪失時における対応手順書等	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
	格納容器内循環ポンプスタブ	機 能 喪 失 を 想 定 す る 設 計 基 準 事 故 対 処 設 備	代 替 再 循 環 注 水 系 (一 次 注 水)	全交流動力電源喪失時における対応手順書等	全交流動力電源喪失時における対応手順書等	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書

\*1：手順は「1.14 電線の確保に関する手順等」にて整備する。  
 \*2：重大事故等対策において用いる設備の内訳  
 a：当該本文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

大阪 3 / 4号炉との比較対象なし

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

【大阪】  
 設備の相違 (相違理由⑥)



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.2表(1/2)を再掲】

第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備を整備する手順（運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるサポート系機能喪失時）（1/2）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事故が発生している場合	全交動力発電炉 <sup>b)</sup>	代替員注水表 <sup>c)</sup>	加圧代替圧注水ポンプ	a,b	加圧代替圧注水ポンプを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式非常用発電設備 <sup>d)</sup>	c	空冷式非常用発電設備を用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			復水ポンプ（自己冷却）	a	復水ポンプを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			燃料取扱用ホット	a,b	燃料取扱用ホットを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			復水ドット	a	復水ドットを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			燃料油貯蔵タンク <sup>f)</sup>	a,b	燃料油貯蔵タンクを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			重油タンク <sup>g)</sup>	a,b	重油タンクを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			タンクローリー <sup>h)</sup>	a,b	タンクローリーを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			A格納容器スプレイポンプ（自己冷却） R411Kローリー3号機（5号機使用）	a,b	A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）を用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			燃料取扱用ホット	a,b	燃料取扱用ホットを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			ディーゼルポンプ No. 2復水タンク	a,b	ディーゼルポンプを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			可搬式代替圧注水ポンプ <sup>i)</sup>	a	可搬式代替圧注水ポンプを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			電機車 可搬式代替圧注水ポンプ用	a	電機車を用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			従脱組立式橋	a	従脱組立式橋を用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			送水車	a	送水車を用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>
燃料油貯蔵タンク <sup>f)</sup>	a	燃料油貯蔵タンクを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
重油タンク <sup>g)</sup>	a	重油タンクを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
タンクローリー <sup>h)</sup>	a	タンクローリーを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
軽油ドラム <sup>j)</sup>	a	軽油ドラムを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
大容量ポンプ <sup>k)</sup>	a,b	大容量ポンプを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
格納容器内循環ポンプ	a,b	格納容器内循環ポンプを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
格納容器内循環ポンプスクリーン	a,b	格納容器内循環ポンプスクリーンを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
空冷式非常用発電設備 <sup>d)</sup>	a,b	空冷式非常用発電設備を用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
燃料油貯蔵タンク <sup>f)</sup>	a,b	燃料油貯蔵タンクを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
重油タンク <sup>g)</sup>	a,b	重油タンクを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
タンクローリー <sup>h)</sup>	a,b	タンクローリーを用いた代替員注水により炉心内の冷却材を上昇させるための手順	S A対応 <sup>e)</sup>			

※1：大阪発電所 重大事故等発生時に備える原子炉冷却材の確保のための活動に関する所定  
 ※2：手順書「1.14 電炉の運転に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：空冷式非常用発電設備の燃料供給に関する。手順書「1.14 電炉の運転に関する手順等」にて整備する。  
 ※4：可搬式代替圧注水ポンプにより炉心注水する場合は格納容器注水する。  
 ※5：電機車（可搬式代替圧注水ポンプ用）の燃料供給に関する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。  
 ※6：送水車の燃料供給に関する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。  
 ※7：大容量ポンプの燃料供給に関する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。  
 ※8：燃料油貯蔵タンク・重油タンク・タンクローリーに関する。手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※9：軽油ドラムに関する。手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※10：重大事故等発生時に備える原子炉冷却材の確保  
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧（6/22）  
 （1次冷却材喪失事故が発生している場合のサポート系故障時）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類
サポート系故障時	全交動力発電炉 <sup>b)</sup> 又は原子炉格納容器破損を防止する運転手順書	可搬式代替圧注水ポンプ <sup>c)</sup> 又は原子炉格納容器破損を防止する運転手順書	可搬式大型送水ポンプ <sup>d)</sup> 可搬式コース・橋脚 <sup>e)</sup> コース延長・田成庫（送水使用） 非常用炉心冷却設備 配管・弁 非常用炉心冷却設備（注圧注入系）配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 1次冷却設備 原子炉管束 非常用取水設備 燃料補給設備 <sup>f)</sup> 2	a	全交動力発電炉喪失時における対応手順書	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式大型送水ポンプ <sup>d)</sup> 可搬式コース・橋脚 <sup>e)</sup> コース延長・田成庫（送水使用） 代替員注水 <sup>g)</sup> 非常用炉心冷却設備 配管・弁 非常用炉心冷却設備（注圧注入系）配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 1次冷却設備 原子炉管束 燃料補給設備 <sup>f)</sup> 2	a	全交動力発電炉喪失時における対応手順書	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式大型送水ポンプ <sup>d)</sup> 可搬式コース・橋脚 <sup>e)</sup> コース延長・田成庫（送水使用） 取水車 <sup>h)</sup> 2次冷却水タンク <sup>i)</sup> 2次冷却水タンク <sup>j)</sup> 非常用炉心冷却設備 配管・弁 非常用炉心冷却設備（注圧注入系）配管・弁 取水車 <sup>h)</sup> 燃料補給設備 <sup>f)</sup> 2	a	全交動力発電炉喪失時における対応手順書	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式大型送水ポンプ <sup>d)</sup> 可搬式コース・橋脚 <sup>e)</sup> コース延長・田成庫（送水使用） 取水車 <sup>h)</sup> 2次冷却水タンク <sup>i)</sup> 2次冷却水タンク <sup>j)</sup> 非常用炉心冷却設備 配管・弁 非常用炉心冷却設備（注圧注入系）配管・弁 取水車 <sup>h)</sup> 燃料補給設備 <sup>f)</sup> 2	a	全交動力発電炉喪失時における対応手順書	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			A-一部注水ポンプ <sup>k)</sup> 格納容器内循環ポンプ 格納容器内循環ポンプスクリーン A-安全注入システム格納容器内循環ポンプ <sup>l)</sup> 無償機 <sup>m)</sup> ほう機 <sup>n)</sup> 非常用炉心冷却設備 配管・弁 非常用炉心冷却設備（注圧注入系）配管・弁 1次冷却設備 原子炉管束	a, b	全交動力発電炉喪失時における対応手順書	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式大型送水ポンプ <sup>d)</sup> 可搬式コース・橋脚 <sup>e)</sup> コース延長・田成庫（送水使用） 原子炉格納容器破損を防止する運転手順書 非常用取水設備 配管・弁 燃料補給設備 <sup>f)</sup> 2	a	全交動力発電炉喪失時における対応手順書	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書

※1：可搬式大型送水ポンプにより炉心注水する原子炉格納容器注水する。  
 ※2：手順書「1.14 電炉の運転に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：取水車への接続は、2次冷却水タンク又は取水車から移送することにより行う。  
 ※4：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※5：C、D-格納容器内循環ポンプによる格納容器内自然対流冷却は「1.7 原子炉格納容器の運転継続防止のための手順等」にて整備する。  
 ※6：設置による大型機束の搬送その他のプロシユによる影響がある場合に使用する。  
 ※7：重大事故等発生時に備える原子炉冷却材の確保  
 ※8：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.2表(1/2)を再掲】

第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備を整備する手順  
(運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 <sup>b)</sup>	代 替 材 注 水 機 能 喪 失 (注)	加圧代替圧注水ポンプ	a,b	加圧代替圧注水ポンプを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉管破断を防止する運転手順書
			空冷式非常用発電機 <sup>c)</sup>	c	空冷式非常用発電機を用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	運転手順書
			B炉ポンプ(自己冷却)	a,b	自己冷却ポンプを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	運転手順書
			燃料冷却用ヒート	a	燃料冷却用ヒートを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	運転手順書
			復水ヒート	a	復水ヒートを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	運転手順書
			燃料油貯蔵タンク <sup>d)</sup>	a,b	燃料油貯蔵タンクを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			重油タンク <sup>f)</sup>	a,b	重油タンクを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			タンクローリー <sup>g)</sup>	a,b	タンクローリーを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)	a,b	A格納容器スプレイポンプを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			燃料冷却用ヒート	a,b	燃料冷却用ヒートを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			ディーゼルポンプ	a,b	ディーゼルポンプを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			No. 2復水タンク	a,b	No. 2復水タンクを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			可搬式代替圧注水ポンプ <sup>h)</sup>	a	可搬式代替圧注水ポンプを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			電機車	a	電機車を用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>
			復設組立式水櫃	a	復設組立式水櫃を用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>
送水車	a	送水車を用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
燃料油貯蔵タンク <sup>d)</sup>	a	燃料油貯蔵タンクを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
重油タンク <sup>f)</sup>	a	重油タンクを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
タンクローリー <sup>g)</sup>	a	タンクローリーを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
軽油ドラム <sup>i)</sup>	a	軽油ドラムを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
大容量注水ポンプ(復水冷却)	a	大容量注水ポンプを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
大容量ポンプ <sup>j)</sup>	a,b	大容量ポンプを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
格納容器内循環ポンプ	a,b	格納容器内循環ポンプを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
格納容器内循環ポンプスクリーン	a,b	格納容器内循環ポンプスクリーンを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
空冷式非常用発電機 <sup>c)</sup>	a,b	空冷式非常用発電機を用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
燃料油貯蔵タンク <sup>d)</sup>	a,b	燃料油貯蔵タンクを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
重油タンク <sup>f)</sup>	a,b	重油タンクを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>			
タンクローリー <sup>g)</sup>	a,b	タンクローリーを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	S A対応 <sup>e)</sup>			

※1：大阪発電所 重大事象等発生時における原子炉冷却材の確保のための活動に関する所定  
※2：手順書「1.4 電圧の確保に関する手順等」にて整備する。  
※3：空冷式非常用発電機の燃料供給に関する。手順書「1.4 電圧の確保に関する手順等」にて整備する。  
※4：可搬式代替圧注水ポンプにより炉心注水する場合は格納容器注水する。  
※5：電機車(可搬式代替圧注水ポンプ用)の燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。  
※6：送水車の燃料供給に使用する手順書の1つである。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。  
※7：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。  
※8：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
※9：重大事象等発生時において用いる設備の分類  
a：当該本文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(7/22)

(1次冷却材喪失事象が発生している場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ※1	代 替 材 注 水 機 能 喪 失 (注)	加圧代替圧注水ポンプ	a,b	加圧代替圧注水ポンプを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉管破断を防止する運転手順書
			燃料冷却用ヒート	a	燃料冷却用ヒートを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	運転手順書
サポート系故障時	全交直電力電源 ※1	代 替 材 注 水 機 能 喪 失 (注)	加圧代替圧注水ポンプ	a,b	加圧代替圧注水ポンプを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	炉心の著しい損傷及び炉管破断を防止する運転手順書
			燃料冷却用ヒート	a	燃料冷却用ヒートを用いた 代替材注水により 炉心の冷却する手順	運転手順書

※1：手順書「1.4 電圧の確保に関する手順等」にて整備する。  
※2：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
※3：C、D-格納容器内循環ポンプによる格納容器内自然冷却時は「1.7 原子炉格納容器の過熱を防止するための手順等」にて整備する。  
※4：取巻による天然放射性物質の発生を抑制するための活動に関する手順書に使用する。  
※5：重大事故等発生時において用いる設備の分類  
a：当該本文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
記載方針の相違  
(女川審査実績の反映)  
・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第1.4.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 [運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合] (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去装置	運転中の1次冷却材喪失事象	電動補助給水ポンプ <sup>b)</sup>	単一性 a)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	最終及び設計基準事故に対応する運転手順書
			タービン補助給水ポンプ			
			戻水ピット			
			蒸気発生器	多様性 b)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	最終及び設計基準事故に対応する運転手順書
			電動主給水ポンプ			
			戻水タンク			
			蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動) <sup>c)</sup>	多様性 c)	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプによる蒸気発生器への注水のための手順	S/A所定 <sup>d)</sup>
			戻水ピット			
			主蒸気源のしりぞ			
			タービンバイパス	多様性 d)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)の手順	最終及び設計基準事故に対応する運転手順書
ポンプ室 <sup>e)</sup>						
送水車	多様性 e)	ポンプ室を用いた蒸気発生器2次側の「フリード」により炉心が冷却される手順	炉心の著しい過熱及び格納炉過熱を抑制する運転手順書			

※1：大阪発電所 重大事故等発生時に原子炉施設の保全のための活動に関する手順  
 ※2：プーゼル発電機等により給電する。  
 ※3：手順は「1.2 炉心が過熱時にバウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※4：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。  
 ※5：重大事故等対策上において異なる設備の分類  
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：訂正に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (9/22)

(1次冷却材喪失事象が発生していない場合のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類
フロントライン系故障時	余熱除去ポンプ又は余熱除去装置	運転中の1次冷却材喪失事象	電動補助給水ポンプ タービン補助給水ポンプ 戻水ピット 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備) 配管・弁 2次冷却設備(補助給水設備) 配管・弁 非常用交流電源設備 <sup>b)</sup>	単一性 a)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	最終及び設計基準事故に対応する運転手順書
			電動主給水ポンプ			
			戻水タンク	多様性 b)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	S/A所定 <sup>c)</sup>
			蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動) <sup>d)</sup>			
			戻水ピット	多様性 c)	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプによる蒸気発生器への注水のための手順	S/A所定 <sup>d)</sup>
			主蒸気源のしりぞ			
			タービンバイパス	多様性 d)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)の手順	最終及び設計基準事故に対応する運転手順書
			ポンプ室 <sup>e)</sup>			
			送水車	多様性 e)	ポンプ室を用いた蒸気発生器2次側の「フリード」により炉心が冷却される手順	炉心の著しい過熱及び格納炉過熱を抑制する運転手順書

※1：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.5 炉心の過熱時にバウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※3：可搬型大型送水ポンプ車による海水を蒸気発生器へ注水する。  
 ※4：戻水タンクへの搬送は、2次冷却設備タンク又は格納炉タンクから移送することにより行う。  
 ※5：重大事故等対策において異なる設備の分類  
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：訂正に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉		女川原子力発電所 2号炉		泊発電所 3号炉		相違理由
<p>第 1.4.4 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順                      (運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合) (2/2)</p>						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	全交流動力電源 <sup>b)</sup>	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			密閉式非常用発電機 <sup>c)</sup>	a		
			タービン駆動補助給水ポンプ	a,b		
			復水ピット	a,b		
			蒸気発生器	a,b		
			燃料補給減タンク <sup>d)</sup>	a		
			風扇タンク <sup>e)</sup>	a		
			タンクローリー <sup>f)</sup>	a		
			蒸気発生器補助用戻送中圧ポンプ(電動) <sup>g)</sup>	a		
			復水ピット	a,b		
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
		主蒸気送り弁(電動) <sup>h)</sup>	a,b	主蒸気送りがし弁機能回復の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
プッシュプル型蒸気発生器	プッシュプル型蒸気発生器	ポンプ <sup>i)</sup>	a	ポンプを使用した蒸気発生器本体のフューズアンドブリードにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
		送水車	a	ポンプ前による蒸気発生器への注水の手順	S/A用 <sup>h)</sup>	
<p>※1：「1.4.4表」機能喪失を想定する設計基準事故対応設備に関する事項                      ※2：「1.4.4表」1.14「電気の確保に関する手順等」にて整備する。                      ※3：「1.4.4表」1.12「原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。                      ※4：「1.4.4表」1.13「原子炉冷却材圧力バウンダリを維持するための手順等」にて整備する。                      ※5：「1.4.4表」1.15「最終セーフティタンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。                      ※6：「1.4.4表」1.16「最終セーフティタンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。                      ※7：重大事故対応策において用いる設備の分類                      a) 当該表文に適合する重大事故等対応設備 b) 37条に適合する重大事故等対応設備 c) 自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>						
<p>対応手段、対処設備、手順書一覧 (11/22)</p> <p>(1次冷却材喪失事象が発生していない場合のサポート系故障時)</p>						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	全交流動力電源	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	タービン駆動補助給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			電動補助給水ポンプ	a		
			密閉式非常用発電機 <sup>c)</sup>	a		
			タービン駆動補助給水ポンプ	a,b		
			復水ピット	a,b		
			蒸気発生器	a,b		
			燃料補給減タンク <sup>d)</sup>	a		
			風扇タンク <sup>e)</sup>	a		
			タンクローリー <sup>f)</sup>	a		
			蒸気発生器補助用戻送中圧ポンプ(電動) <sup>g)</sup>	a		
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
		主蒸気送りがし弁(電動) <sup>h)</sup>	a,b	主蒸気送りがし弁機能回復の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
プッシュプル型蒸気発生器	プッシュプル型蒸気発生器	ポンプ <sup>i)</sup>	a	ポンプを使用した蒸気発生器本体のフューズアンドブリードにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
		送水車	a	ポンプ前による蒸気発生器への注水の手順	S/A用 <sup>h)</sup>	
<p>※1：「1.4.4表」機能喪失を想定する設計基準事故対応設備に関する事項                      ※2：「1.4.4表」1.14「電気の確保に関する手順等」にて整備する。                      ※3：「1.4.4表」1.12「原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。                      ※4：「1.4.4表」1.13「原子炉冷却材圧力バウンダリを維持するための手順等」にて整備する。                      ※5：「1.4.4表」1.15「最終セーフティタンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。                      ※6：「1.4.4表」1.16「最終セーフティタンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。                      ※7：重大事故対応策において用いる設備の分類                      a) 当該表文に適合する重大事故等対応設備 b) 37条に適合する重大事故等対応設備 c) 自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>						

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.4 表 (2/2) を再掲】

第 1.4.4 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類					
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全交直動炉 <sup>b)</sup>	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	電熱補給給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び特種事故発生を防止する運転手順書					
			空冷式非常用発電機 <sup>c)</sup>								
			タービン駆動給水ポンプ								
			復水ピット								
			蒸気発生器								
			燃料補給減タンク <sup>d)</sup>								
			風雨タンク <sup>e)</sup>								
			タンクローリー <sup>f)</sup>								
			蒸気発生器補給用促進中圧ポンプ(電動) <sup>g)</sup>				多種性供給設備	蒸気発生器補給用促進中圧ポンプ(電動) <sup>g)</sup>	a,b	炉心の著しい損傷及び特種事故発生を防止する運転手順書	
			復水ピット								
			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器 <sup>h)</sup>	a	空冷式非常用発電機 燃料補給の予備 蒸気発生器補給用(風雨)タンクによる 蒸気発生器への注水のための手順	S A所産 <sup>h)</sup>
			ポンプ車 <sup>i)</sup>								
送水車											

※1：大阪発電所 重大事故等発生時に上回る原子炉施設の状態のための活動に関する手順  
 ※2：手順は「1.14 電廠の維持に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※4：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを制御するための手順等」にて整備する。  
 ※5：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※6：空冷式非常用発電機の燃料補給に使用する。手順は「1.14 電廠の維持に関する手順等」にて整備する。  
 ※7：重大事故等対応に用いる設備の名称  
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (12/22)  
 (1次冷却材喪失事故が発生していない場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類
サポート系故障時	全交直動炉 <sup>b)</sup>	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	主蒸気発生器 <sup>c)</sup> 蒸気発生器 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁	a, b	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び特種事故発生を防止する運転手順書
			可動型大貫注ポンプ車 <sup>d)</sup> 2+3+4+5 可動型コース・線路 (注水専用) コース延長・回収車 (注水専用) 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補給給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁 非常用給水設備 炉内促進電機式促進電機設備 <sup>e)</sup> 燃料補給設備 <sup>f)</sup>			
			電熱補給給水ポンプ 燃料給水ピット 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補給給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁			

※1：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリを維持するための手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※3：可動型大貫注ポンプ車により飽水蒸気発生器へ注水する。  
 ※4：蒸気発生器2次側のアトリウム/ランドリ/中階は、主蒸気発生器を使用する。  
 ※5：蒸気発生器2次側を注水する場合は燃料補給給水設備/コース/ランタンにより注水を行う。  
 ※6：手順は「1.14 電廠の維持に関する手順等」にて整備する。  
 ※7：重大事故等発生時に用いる設備の名称  
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第 1.4.5 表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (1 / 2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去管理装置	冷却材注水	A、高圧注入ポンプ <sup>32)</sup>	a, b	高圧注入ポンプを用いた冷却材注水により原子炉の冷却材循環を確保する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			高圧注入ポンプ <sup>32)</sup>			
			燃料取扱用水ピット	a	燃料取扱用水ピットを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>
			復水ピット			
			蓄圧タンク	a, b	蓄圧タンクを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>
			ほう酸タンク <sup>33)</sup>			
			ほう酸タンク	a	ほう酸タンクを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>
			1次系補給水ポンプ <sup>34)</sup>			
			1次系減圧タンク	a	1次系減圧タンクを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>
			燃料取扱用水ピット (重力注水)			
			A格納容器スプレイポンプ <sup>35)</sup>	a	A格納容器スプレイポンプを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			(RHR S-C S-S 透過ライン経由)			
			恒設代替低圧注水ポンプ (空冷式非常用発電機駆動) <sup>36)</sup>	a, b	恒設代替低圧注水ポンプを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料取扱用水ピット			
			復水ピット	a	復水ピットを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>
			燃料取扱用水ピット			
			重油タンク <sup>37)</sup>	a, b	重油タンクを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>
			タンクローリー <sup>38)</sup>			
			電動低圧注水ポンプ <sup>39)</sup>	a	電動低圧注水ポンプを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			ディーゼル駆動ポンプ			
			N、O、2次水タンク	a	N、O、2次水タンクを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>
			可搬式代替低圧注水ポンプ <sup>40)</sup>			
			電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)	a	可搬式代替低圧注水ポンプを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			仮設格納立水書			
送水車	a	送水車を用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>			
燃料取扱用タンク <sup>41)</sup>						
重油タンク <sup>42)</sup>	a	重油タンクを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>			
タンクローリー <sup>43)</sup>						
精油ドラム缶 <sup>44)</sup>	a	精油ドラム缶を用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>			
高圧注入ポンプ <sup>45)</sup>						
格納容器内循環ポンプ	a	高圧注入ポンプを用いた格納容器内循環により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器内循環ポンプスクリーン						
A格納容器スプレイポンプ <sup>46)</sup>	a, b	A格納容器スプレイポンプを用いた格納容器内循環により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
(RHR S、Cから使用)						
A格納容器スプレイ冷却装置	a, b	A格納容器スプレイ冷却装置を用いた格納容器内循環により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器内循環ポンプ						
格納容器内循環ポンプスクリーン	a, b	格納容器内循環ポンプスクリーンを用いた格納容器内循環により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器内循環ポンプスクリーン						

32) 1)大阪発電所：重大事故等発生時に必要とする原子炉施設稼働時のための活動口閉鎖装置。  
 2) ディーゼル発電機等により駆動する。  
 3) 手順書：1.14 電源の確保に関する手順等にて整備する。  
 4) 空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。手順書：1.14 電源の確保に関する手順等にて整備する。  
 5) 可搬式代替低圧注水ポンプにより冷却材注水する場合は機組は機組内注水となる。  
 6) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) の燃料供給に使用する。手順書：1.16 原子炉格納容器内の冷却材注水の手順等にて整備する。  
 7) 送水車の燃料供給に使用するの範囲のものである。手順書：1.16 原子炉格納容器内の冷却材注水の手順等にて整備する。  
 8) 重大事故等対応において用いる設備の分類。  
 9) a：当該条文に適合する重大事故等対応設備 b：27条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (13/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去管理装置	冷却材注水	燃料取扱用水ピット	a, b	燃料取扱用水ピットを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			復水ピット			
			蓄圧タンク	a, b	蓄圧タンクを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>
			ほう酸タンク <sup>33)</sup>			
			ほう酸タンク	a	ほう酸タンクを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>
			1次系補給水ポンプ <sup>34)</sup>			
1次系減圧タンク	a	1次系減圧タンクを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>			
燃料取扱用水ピット (重力注水)						
A格納容器スプレイポンプ <sup>35)</sup>	a	A格納容器スプレイポンプを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
(RHR S-C S-S 透過ライン経由)						
恒設代替低圧注水ポンプ (空冷式非常用発電機駆動) <sup>36)</sup>	a, b	恒設代替低圧注水ポンプを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
燃料取扱用水ピット						
復水ピット	a	復水ピットを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>			
燃料取扱用水ピット						
重油タンク <sup>37)</sup>	a, b	重油タンクを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>			
タンクローリー <sup>38)</sup>						
電動低圧注水ポンプ <sup>39)</sup>	a	電動低圧注水ポンプを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
ディーゼル駆動ポンプ						
N、O、2次水タンク	a	N、O、2次水タンクを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>			
可搬式代替低圧注水ポンプ <sup>40)</sup>						
電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)	a	可搬式代替低圧注水ポンプを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
仮設格納立水書						
送水車	a	送水車を用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>			
燃料取扱用タンク <sup>41)</sup>						
重油タンク <sup>42)</sup>	a	重油タンクを用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>			
タンクローリー <sup>43)</sup>						
精油ドラム缶 <sup>44)</sup>	a	精油ドラム缶を用いた冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>3)</sup>			
高圧注入ポンプ <sup>45)</sup>						
格納容器内循環ポンプ	a	高圧注入ポンプを用いた格納容器内循環により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器内循環ポンプスクリーン						
A格納容器スプレイポンプ <sup>46)</sup>	a, b	A格納容器スプレイポンプを用いた格納容器内循環により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
(RHR S、Cから使用)						
A格納容器スプレイ冷却装置	a, b	A格納容器スプレイ冷却装置を用いた格納容器内循環により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器内循環ポンプ						
格納容器内循環ポンプスクリーン	a, b	格納容器内循環ポンプスクリーンを用いた格納容器内循環により原子炉を冷却する手順	原子炉の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器内循環ポンプスクリーン						

\* 1) 手順書：1.14 電源の確保に関する手順等にて整備する。  
 \* 2) 重大事故等対応において用いる設備の分類。  
 \* 3) 当該条文に適合する重大事故等対応設備 b) 27条に適合する重大事故等対応設備 c) 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備に記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理











泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.5 表 (2/2) を再掲】

第 1.4.5 表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
 (運転停止中のフロントライン系後継喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順の分類					
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(往水)	電動補助給水ポンプ <sup>※1</sup>	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(往水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書					
			タービン駆動給水ポンプ								
			復水ピット								
			凝気ポンプ								
			電動主給水ポンプ								
			乾気器タンク								
		炉心冷却(戻水)	蒸気発生器補助用復元中圧ポンプ(電動) <sup>※2</sup>	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(往水)の手順	蒸気発生器2次側による炉心冷却(往水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
			復水ピット								
			蒸気発生器補助用復元中圧ポンプ(電動) <sup>※3</sup>		a			蒸気発生器2次側による炉心冷却(戻水)の手順	設計基準事故時に発生する運転手順書		
			タービンバイパス弁								
			ポンプ車 <sup>※4</sup>					多様性拡張設備		ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフリードにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			送水車							ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	

※1：大阪発電所、重大事故等発生時に原子炉冷却材の保冷のための運転に関する所産。  
 ※2：タービン発電機等により給電する。  
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※4：手順は「1.3 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※5：重大事故等対策において用いている設備の分類  
 a：当該英文に適合する重大事故等対処設備 b：別添に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (17/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(往水)	電動補助給水ポンプ <sup>※1</sup> タービン駆動給水ポンプ 復水ピット 凝気ポンプ 電動主給水ポンプ 乾気器タンク	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(往水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			蒸気発生器補助用復元中圧ポンプ(電動) <sup>※2</sup> 復水ピット			
			蒸気発生器補助用復元中圧ポンプ(電動) <sup>※3</sup> タービンバイパス弁 ポンプ車 <sup>※4</sup> 送水車			

※1：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※3：可動型復元給水ポンプにより給水する蒸気発生器-往水。  
 ※4：蒸気発生器は復元中のフリードフリーで、蒸気発生器-往水。蒸気発生器-往水は蒸気発生器-往水により給水を行う。  
 ※5：重大事故等対策において用いている設備の分類  
 a：当該英文に適合する重大事故等対処設備 b：別添に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.6表 機能喪失を防止する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合	全交直電力喪失時	代 替 系 注 水 系 (⑩)	燃料取扱用ボット (電力注水)	燃料取扱用ボット (電力注水) 全用の大形ボットにより原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			蓄圧タンク	蓄圧タンクを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			高圧代替注水ポンプ	高圧代替注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式非常用発電機等	空冷式非常用発電機等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			B充てんポンプ (自力冷却)	B充てんポンプ (自力冷却) を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			燃料取扱用ボット	燃料取扱用ボットを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			海水ポンプ	海水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			燃料貯蔵タンク等	燃料貯蔵タンク等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			重油タンク等	重油タンク等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			タンクローリー等	タンクローリー等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			A格納容器スプレイポンプ (自力冷却)	A格納容器スプレイポンプ (自力冷却) を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			冷却水-C/S/S	冷却水-C/S/Sを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			燃料取扱用ボット	燃料取扱用ボットを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			ディーゼル排気ポンプ	ディーゼル排気ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			N <sub>2</sub> 、2級水タンク	N <sub>2</sub> 、2級水タンクを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
可動式代替注水ポンプ等	可動式代替注水ポンプ等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
電機車	電機車を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
圧縮機式水塔	圧縮機式水塔を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
送水車	送水車を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
燃料貯蔵タンク等	燃料貯蔵タンク等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
重油タンク等	重油タンク等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
タンクローリー等	タンクローリー等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
軽油ドラム等	軽油ドラム等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
B格納容器スプレイポンプ (海水冷却)	B格納容器スプレイポンプ (海水冷却) を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
大容量ポンプ等	大容量ポンプ等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
格納容器隔離ポンプ	格納容器隔離ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
格納容器隔離ポンプシステム	格納容器隔離ポンプシステムを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
空冷式非常用発電機等	空冷式非常用発電機等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
燃料貯蔵タンク等	燃料貯蔵タンク等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
重油タンク等	重油タンク等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
タンクローリー等	タンクローリー等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
軽油ドラム等	軽油ドラム等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			

※1：「大阪発電所」重大事故等対策に関する原子炉発電設備の安全のための活動に関する所定  
 ※2：手順書「1.14 電圧の回復に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：空冷式非常用発電機の燃料補給に使用する。手順書「1.14 電圧の回復に関する手順等」にて整備する。  
 ※4：高圧代替注水ポンプにより注水する場合は格納容器内の冷却材の注水により注水する。  
 ※5：電機車は格納容器注水ポンプ用の燃料補給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の注水に関する手順等」にて整備する。  
 ※6：送水車の燃料補給に使用する用途のものである。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の注水に関する手順等」にて整備する。  
 ※7：大容量ポンプの燃料補給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の注水に関する手順等」にて整備する。  
 ※8：手順書「1.5 最終冷却タンクへの給水と輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※9：重大事故等対策において用いる設備の分類  
 a：当該条文に適合する重大事故等対応設備 b：BT条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (8/9)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書
フロントライン系故障	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	代替格納容器冷却系による発電用原子炉の冷却	代替格納容器冷却ポンプ	非常時操作手順書 (フロント停止中) 「残留熱除去機能喪失」等
			サプレッションチェンバ	非常時操作手順書 (設備別) 「代替格納冷却ポンプによる原子炉注水」
			残留熱除去系熱交換器	非常時操作手順書 (フロント停止中) 「残留熱除去機能喪失」等
発電用原子炉の冷却	ろ過水ポンプによるろ過水の冷却	ろ過水ポンプ	非常時操作手順書 (フロント停止中) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	
		ろ過水タンク	非常時操作手順書 (フロント停止中) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	
		ろ過水 配管・弁	非常時操作手順書 (フロント停止中) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	
原子炉冷却材浄化系	原子炉冷却材浄化系による原子炉冷却材の冷却	原子炉冷却材浄化ポンプ	非常時操作手順書 (フロント停止中) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉冷却」	
		原子炉冷却材浄化系再沸熱交換器	非常時操作手順書 (フロント停止中) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉冷却」	
		原子炉冷却材浄化系 配管・弁	非常時操作手順書 (フロント停止中) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉冷却」	

※1：手順書「1.11 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 ※2：手順書「1.11 電圧の回復に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：手順書「1.5 最終冷却タンクへの給水と輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順書【解説】15」項を満足するための代替注水 (措置)  
 ※5：残留熱除去系 (BWR注水モード) は熱交換機に期待しておらず、熱交換器は直列としてのみ用いる。

対応手段、対応設備、手順書一覧 (18/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合	全交直電力喪失時 又は 原子炉種別冷却設備	代 替 系 注 水 系 (⑩)	燃料取扱用ボット	燃料取扱用ボット (電力注水) 全用の大形ボットにより原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			蓄圧タンク	蓄圧タンクを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			高圧代替注水ポンプ	高圧代替注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式非常用発電機等	空冷式非常用発電機等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			B充てんポンプ (自力冷却)	B充てんポンプ (自力冷却) を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			燃料取扱用ボット	燃料取扱用ボットを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			海水ポンプ	海水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			燃料貯蔵タンク等	燃料貯蔵タンク等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			重油タンク等	重油タンク等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			タンクローリー等	タンクローリー等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			A格納容器スプレイポンプ (自力冷却)	A格納容器スプレイポンプ (自力冷却) を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			冷却水-C/S/S	冷却水-C/S/Sを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			燃料取扱用ボット	燃料取扱用ボットを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>
			ディーゼル排気ポンプ	ディーゼル排気ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			N <sub>2</sub> 、2級水タンク	N <sub>2</sub> 、2級水タンクを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
可動式代替注水ポンプ等	可動式代替注水ポンプ等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
電機車	電機車を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
圧縮機式水塔	圧縮機式水塔を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
送水車	送水車を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
燃料貯蔵タンク等	燃料貯蔵タンク等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
重油タンク等	重油タンク等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
タンクローリー等	タンクローリー等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
軽油ドラム等	軽油ドラム等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
B格納容器スプレイポンプ (海水冷却)	B格納容器スプレイポンプ (海水冷却) を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	初心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
大容量ポンプ等	大容量ポンプ等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
格納容器隔離ポンプ	格納容器隔離ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
格納容器隔離ポンプシステム	格納容器隔離ポンプシステムを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
空冷式非常用発電機等	空冷式非常用発電機等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
燃料貯蔵タンク等	燃料貯蔵タンク等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
重油タンク等	重油タンク等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
タンクローリー等	タンクローリー等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			
軽油ドラム等	軽油ドラム等を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※1</sup>			

※1：手順書「1.14 電圧の回復に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：重大事故等対策において用いる設備の分類  
 a：当該条文に適合する重大事故等対応設備 b：BT条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.6 表 (1/2) を再掲】

第 1.4.6 表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類	
運転停止中の場合 サポート系機能喪失時	全交直電力電源*	燃料取替用水ピット (重力注水)	多様性 a	燃料取替用水ピット (重力注水) を用いた代り心注水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
		蓄圧タンク	重大事故等 対応設備	a,b	蓄圧タンクを用いた代り心注水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
		B 充てんポンプ (自力稼働)		c	B 充てんポンプ (自力稼働) を用いた代り心注水により原子炉を冷却する手順	
		燃料取替用水ピット	a	燃料取替用水ピット	S A 所達*	
		復水ピット	a	復水ピット	S A 所達*	
		燃料貯蔵タンク*	a	充てんポンプ自己冷却配管系統の稼働	S A 所達*	
		直注タンク*		空冷式非常用発電機設置燃料供給の稼働	S A 所達*	
		タンクローリー*	多様性 a	A 格納容器スプレイポンプ (自力稼働) (取付 S-C-S S 格納容器スプレイポンプ)	大格納容器スプレイポンプ (自力稼働) を用いた代り心注水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
		燃料取替用水ピット		燃料取替用水ピット	S A 所達*	
		プルーゼル前注ポンプ	a	N a、2 汲水タンク	大格納容器を用いた代り心注水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
		可動式冷却器注水ポンプ*		可動式冷却器注水ポンプ	S A 所達*	
		電機室 (可動式冷却器注水ポンプ用)	a	可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプを用いた代り心注水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
放射線式水塔	放射線式水塔	S A 所達*				
送水車	a	送水車	送水車を用いた代り心注水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
燃料貯蔵タンク*		燃料貯蔵タンク	S A 所達*			
直注タンク*	a	直注タンク	直注タンクを用いた代り心注水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
タンクローリー*		タンクローリー	S A 所達*			
軽油ドラム缶*	a	軽油ドラム缶	軽油ドラム缶を用いた代り心注水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
B 前注入ポンプ (高水冷却)		B 前注入ポンプ	S A 所達*			
大格納容器	a	大格納容器	大格納容器を用いた代り心注水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
格納容器再循環ポンプ		格納容器再循環ポンプ	S A 所達*			
格納容器再循環ポンプスクリーン	a	格納容器再循環ポンプスクリーン	格納容器再循環ポンプスクリーンを用いた代り心注水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
空冷式非常用発電機*		空冷式非常用発電機	S A 所達*			
燃料貯蔵タンク*	a	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクを用いた代り心注水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
直注タンク*		直注タンク	S A 所達*			
タンクローリー*	a	タンクローリー	タンクローリーを用いた代り心注水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
			S A 所達*			

\*1：大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉電源の喪失のための装置に関する所定  
 \*2：手順書「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。  
 \*3：空冷式非常用発電機設置の燃料供給に使用する。手順書「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。  
 \*4：可動式冷却器注水ポンプにより心注水する場合に備える注水装置。  
 \*5：電機室 (可動式冷却器注水ポンプ用) の燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。  
 \*6：送水車の燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。  
 \*7：大格納容器の燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。  
 \*8：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 \*9：重大事故等発生時において用いる設備の分類  
 a：当該条文中に適合する重大事故等対処設備 b：17 条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (9/9)  
 (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
サポート系故障	全交直電力電源		原子炉補機代冷却水系 ※3 常設代替交直電源設備 ※2	非常時操作手順書 (プラント停止中) 「漏熱除去機能喪失」等
	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む)		残留熱除去系ポンプ 原子炉三方容器 残留熱除去系配管・弁 残留熱除去系交換器 原子炉再循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」

\*1：手順書「1.13 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 \*2：手順書「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。  
 \*3：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 \*4：「1.13 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替注水 (措置)  
 \*5：残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機に準拠しておらず、熱交換機は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (19/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合 サポート系故障時	全交直電力電源	原子炉補機冷却水系	可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)
			可動式冷却器注水ポンプ	可動式冷却器注水ポンプ	重大事故等 対応設備	非常時操作手順書 (プラント停止中)

\*1：可動式冷却器注水ポンプ停止中に備える原子炉停止時注水装置。  
 \*2：手順書「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。  
 \*3：原子炉補機冷却水系は、2 系系取水ポンプ又は高圧取水ポンプから移送することにより行う。  
 \*4：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 \*5：c、d、f、g、h、i、j、k、l、m、n、o、p、q、r、s、t、u、v、w、x、y、z、aa、ab、ac、ad、ae、af、ag、ah、ai、aj、ak、al、am、an、ao、ap、aq、ar、as、at、au、av、aw、ax、ay、az、ba、bb、bc、bd、be、bf、bg、bh、bi、bj、bk、bl、bm、bn、bo、bp、bq、br、bs、bt、bu、bv、bw、bx、by、bz、ca、cb、cc、cd、ce、cf、cg、ch、ci、cj、ck、cl、cm、cn、co、cp、cq、cr、cs、ct、cu、cv、cw、cx、cy、cz、da、db、dc、dd、de、df、dg、dh、di、dj、dk、dl、dm、dn、do、dp、dq、dr、ds、dt、du、dv、dw、dx、dy、dz、ea、eb、ec、ed、ee、ef、eg、eh、ei、ej、ek、el、em、en、eo、ep、eq、er、es、et、eu、ev、ew、ex、ey、ez、fa、fb、fc、fd、fe、ff、fg、fh、fi、fj、fk、fl、fm、fn、fo、fp、fq、fr、fs、ft、fu、fv、fw、fx、fy、fz、ga、gb、gc、gd、ge、gf、gg、gh、gi、gj、gk、gl、gm、gn、go、gp、gq、gr、gs、gt、gu、gv、gw、gx、gy、gz、ha、hb、hc、hd、he、hf、hg、hh、hi、hj、hk、hl、hm、hn、ho、hp、hq、hr、hs、ht、hu、hv、hw、hx、hy、hz、ia、ib、ic、id、ie、if、ig、ih、ii、ij、ik、il、im、in、io、ip、iq、ir、is、it、iu、iv、iw、ix、iy、iz、ja、jb、jc、jd、je、jf、jg、jh、ji、jj、jk、jl、jm、jn、jo、jp、jq、jr、js、jt、ju、jv、jw、jx、jy、jz、ka、kb、kc、kd、ke、kf、kg、kh、ki、kj、kk、kl、km、kn、ko、kp、kq、kr、ks、kt、ku、kv、kw、kx、ky、kz、la、lb、lc、ld、le、lf、lg、lh、li、lj、lk、ll、lm、ln、lo、lp、lq、lr、ls、lt、lu、lv、lw、lx、ly、lz、ma、mb、mc、md、me、mf、mg、mh、mi、mj、mk、ml、mm、mn、mo、mp、mq、mr、ms、mt、mu、mv、mw、mx、my、mz、na、nb、nc、nd、ne、nf、ng、nh、ni、nj、nk、nl、nm、no、np、nq、nr、ns、nt、nu、nv、nw、nx、ny、nz、oa、ob、oc、od、oe、of、og、oh、oi、oj、ok、ol、om、on、oo、op、oq、or、os、ot、ou、ov、ow、ox、oy、oz、pa、pb、pc、pd、pe、pf、pg、ph、pi、pj、pk、pl、pm、pn、po、pp、pq、pr、ps、pt、pu、pv、pw、px、py、pz、qa、qb、qc、qd、qe、qf、qg、qh、qi、qj、qk、ql、qm、qn、qo、qp、qq、qr、qs、qt、qu、qv、qw、qx、qy、qz、ra、rb、rc、rd、re、rf、rg、rh、ri、rj、rk、rl、rm、rn、ro、rp、rq、rr、rs、rt、ru、rv、rw、rx、ry、rz、sa、sb、sc、sd、se、sf、sg、sh、si、sj、sk、sl、sm、sn、so、sp、sq、sr、ss、st、su、sv、sw、sx、sy、sz、ta、tb、tc、td、te、tf、tg、th、ti、tj、tk、tl、tm、tn、to、tp、tq、tr、ts、tt、tu、tv、tw、tx、ty、tz、ua、ub、uc、ud、ue、uf、ug、uh、ui、uj、uk、ul、um、un、uo、up、uq、ur、us、ut、uu、uv、uw、ux、uy、uz、va、vb、vc、vd、ve、vf、vg、vh、vi、vj、vk、vl、vm、vn、vo、vp、vq、vr、vs、vt、vu、vv、vw、vx、vy、vz、wa、wb、wc、wd、we、wf、wg、wh、wi、wj、wk、wl、wm、wn、wo、wp、wq、wr、ws、wt、wu、wv、ww、wx、wy、wz、xa、xb、xc、xd、xe、xf、xg、xh、xi、xj、xk、xl、xm、xn、xo、xp、xq、xr、xs、xt、xu、xv、xw、xx、xy、xz、ya、yb、yc、yd、ye、yf、yg、yh、yi、yj、yk、yl、ym、yn、yo、yp、yq、yr、ys、yt、yu、yv、yw、yx、yy、yz、za、zb、zc、zd、ze、zf、zg、zh、zi、zj、zk、zl、zm、zn、zo、zp、zq、zr、zs、zt、zu、zv、zw、zx、zy、zz

【大阪】  
 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.6表(2/2)を再掲】

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類							
運転停止中の場合	全交流動力電源 <sup>b)</sup>	冷却材ポンプ停止による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ	重大事故等対応設備	蒸気発生器2次側(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書							
			空缶式非常用給電装置 <sup>c)</sup>										
			タービン駆動補助給水ポンプ										
			復水ピット										
			蒸気発生器										
			燃料補給装置 <sup>d)</sup>										
			重油タンク <sup>e)</sup>										
			タンクローリー <sup>f)</sup>										
			蒸気発生器用補助的配管(注水ポンプ) <sup>g)</sup>				多様性拡張	蒸気発生器2次側(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書				
			復水ピット				対応設備等	蒸気発生器2次側(注水)の手順	S A所達 <sup>h)</sup>				
主蒸気過熱器(規模予備動作) <sup>h)</sup>	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書												
フイ蒸気発生器(ドリップ式)のドリップ	多様性拡張設備	ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフイアードンクプレートにより炉心冷却する手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書										
ポンプ車 <sup>i)</sup>													
送水車				S A所達 <sup>h)</sup>									
全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替炉心注水に関する設備と同様													
原子炉冷却材系					炉心注水	電動的給水ポンプ				A余熱除去ポンプ(空調用冷水) <sup>h)</sup>	多様性拡張設備	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)を用いた代替炉心注水により炉心が冷却される手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書
										代管再循環ポンプ			
										代管再循環ポンプ			
										代管再循環ポンプ			

注1：大阪発電所：重大事故等発生時に原子炉冷却材の循環に用いる設備。  
 注2：手順書「1.4 電機設備の修理」に用いる手順等。にて整備する。  
 注3：空缶式非常用給電装置の燃料補給に使用する。手順書「1.4 電機設備の修理」にて整備する。  
 注4：手順書「1.5 炉心の冷却(圧力バウンダリ高圧)に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 注5：手順書「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」にて整備する。  
 注6：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 注7：復水設備等設備において用いる設備の分類。  
 注8：当該表文に適合する重大事故等対応設備。注9：注10に適合する重大事故等対応設備。注11：注12の対応として整備する重大事故等対応設備。

対応手段、対応設備、手順書一覧(21/22)  
 (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合	全交流動力電源喪失 注1：原子炉冷却材系	可動型大型送水ポンプ <sup>b)</sup> *1 可動型ボイラ・凝縮口 <sup>c)</sup> *2 炉心注水・回収車(送水車用) <sup>d)</sup> *3 重油タンク *4 蒸気発生器 *5 2次側冷却タンク *6 2次側冷却設備(給水設備) 配管 *7 2次側冷却設備(燃料給水設備) 配管 *8 常設炉心注水設備 *9 燃料補給設備 *10	可動型大型送水ポンプ *1 可動型ボイラ・凝縮口 *2 炉心注水・回収車(送水車用) *3 重油タンク *4 蒸気発生器 *5 2次側冷却タンク *6 2次側冷却設備(給水設備) 配管 *7 2次側冷却設備(燃料給水設備) 配管 *8 常設炉心注水設備 *9 燃料補給設備 *10	注11 注12 注13 注14 注15 注16 注17 注18 注19 注20 注21 注22 注23 注24 注25 注26 注27 注28 注29 注30 注31 注32 注33 注34 注35 注36 注37 注38 注39 注40 注41 注42 注43 注44 注45 注46 注47 注48 注49 注50 注51 注52 注53 注54 注55 注56 注57 注58 注59 注60 注61 注62 注63 注64 注65 注66 注67 注68 注69 注70 注71 注72 注73 注74 注75 注76 注77 注78 注79 注80 注81 注82 注83 注84 注85 注86 注87 注88 注89 注90 注91 注92 注93 注94 注95 注96 注97 注98 注99 注100	蒸気発生器の異常時における対応手順書	故障及び設計基準事故に発生する運転手順書

\*1：手順書「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 \*2：原燃機への供給は、2次側冷却タンク又は炉心注水タンクから移送することにより行う。  
 \*3：手順書「1.4 電機設備の修理」にて整備する。  
 \*4：手順書「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」にて整備する。  
 \*5：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 \*6：可動型大型送水ポンプ車により炉心を蒸気発生器へ注水する。  
 \*7：蒸気発生器2次側のフイアードンクプレート時は、主蒸気ドレンラインを使用する。  
 \*8：蒸気発生器へ炉心を注水する場合は蒸気発生器のフイアードンクプレートにより炉心を注水する。  
 \*9：重大事故等発生時に用いる設備の分類。  
 \*10：当該表文に適合する重大事故等対応設備。注11：注12に適合する重大事故等対応設備。注13：注14の対応として整備する重大事故等対応設備。

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理



1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																													
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>対応手段、対処設備、手順書一覧（22/22）                      （発電用原子炉停止中のサポート系故障時）</p> <table border="1" data-bbox="1368 491 2011 1136"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備分類</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">サポート系故障時</td> <td rowspan="4">保安設備/発電用/原子炉補給/高圧設備</td> <td>非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備</td> <td>非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備</td> <td>非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備</td> <td>非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備</td> <td>非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備</td> </tr> <tr> <td>高圧設備</td> <td>高圧設備</td> <td>高圧設備</td> <td>高圧設備</td> <td>高圧設備</td> </tr> <tr> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給/高圧設備</td> <td>原子炉補給/高圧設備</td> <td>原子炉補給/高圧設備</td> <td>原子炉補給/高圧設備</td> <td>原子炉補給/高圧設備</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機能喪失想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類	サポート系故障時	保安設備/発電用/原子炉補給/高圧設備	非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備	非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備	非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備	非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備	非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備	高圧設備	高圧設備	高圧設備	高圧設備	高圧設備	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	原子炉補給/高圧設備	原子炉補給/高圧設備	原子炉補給/高圧設備	原子炉補給/高圧設備	原子炉補給/高圧設備	<p>【大飯】                      記載方針の相違（女川審査実績の反映）                      ・泊は、復旧の対応手段を整理している。</p>
分類	機能喪失想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類																										
サポート系故障時	保安設備/発電用/原子炉補給/高圧設備	非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備	非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備	非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備	非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備	非正常電源/定圧/原子炉補給/高圧設備																										
		高圧設備	高圧設備	高圧設備	高圧設備	高圧設備																										
		電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統																										
		原子炉補給/高圧設備	原子炉補給/高圧設備	原子炉補給/高圧設備	原子炉補給/高圧設備	原子炉補給/高圧設備																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第 1.4.7 表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧（1/48）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水			
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	
	原子炉压力容器内の注水量	・ 高压注入流量計 ・ 余熱除去流量計	
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計	
	水源の確保	・ 1次系純水タンク水位計（C R T）	
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計
		原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん水流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計
水源の確保		・ 1次系純水タンク水位計（C R T）	

第 1.4-2 表 重大事故等対処に係る監視計器

監視計器一覧（1/20）

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水 (a) 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉压力容器への注水		
非常時操作手順書（履歴ベース） 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）
非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位
操作	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）
	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量
	補機監視機能 水源の確保	復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位

第 1.4.2 表 重大事故等対処に係る監視計器

監視計器一覧（1/61）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水			
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） ・ 炉心出口温度	
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	
	原子炉压力容器への注水量	・ 高压注入流量 ・ 低圧注入流量	
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位	
	水源の確保	・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 高压注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力	
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） ・ 炉心出口温度
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位
		原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位	
水源の確保		・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系純水タンク水位	
補機監視機能		・ 充てんライン圧力	

(a) 充てんポンプによる原子炉容器への注水



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																
<p>監視計器一覧 (2/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(I) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) A格納容器スプレイポンプ (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん水流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計	原子炉压力容器への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	補機監視機能	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計	<p>監視計器一覧 (2/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電源の確保</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			b. 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉压力容器への注水量	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量	補機監視機能	直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (2/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-格納容器スプレイポンプ (MRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(a) B-格納容器スプレイポンプ (MRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	補機監視機能	・ 充てんライン圧力	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																			
(I) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																			
b. 代替炉心注水																																																																																																																			
(a) A格納容器スプレイポンプ (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																
	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん水流量計																																																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計																																																																																																																
		原子炉压力容器への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																
補機監視機能	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																																																																		
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																	
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																			
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																			
a. 低圧代替注水																																																																																																																			
b. 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水																																																																																																																			
非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																	
非常時操作手順書 (設備別) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」		電源の確保	125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧																																																																																																																
		水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																																
操作	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																	
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																	
	原子炉压力容器への注水量	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量																																																																																																																	
	補機監視機能	直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力																																																																																																																	
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																			
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																			
b. 代替炉心注水																																																																																																																			
(a) B-格納容器スプレイポンプ (MRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																
		原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量																																																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																
	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																																
		補機監視機能	・ 充てんライン圧力																																																																																																																
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																
原子炉压力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																																																																		
原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																		
水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																																		

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																				
<p>監視計器一覧 (3/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束計</td> <td>・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束計</td> <td>・ 中性子源領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中間領域起動率計</td> <td>・ 中間領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>復水ビット水位計</td> <td>・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計	中性子源領域中性子束計	・ 中性子源領域中性子束計	中間領域起動率計	・ 中間領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	・ 燃料取替用水ビット水位計	復水ビット水位計	・ 復水ビット水位計	電源	空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計	<p>監視計器一覧 (3/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(c) 低圧代替注水系 (可検型) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (微視ベース) 「水位確保」等</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ 1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 炭帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(c) 低圧代替注水系 (可検型) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微視ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ 1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 炭帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧 (3/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束</td> <td>・ 出力領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束</td> <td>・ 中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット水位</td> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>代替非常用発電機電圧、電力、周波数 6-A, B母線電圧</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束	中間領域中性子束	・ 中間領域中性子束	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	燃料取替用水ビット水位	・ 燃料取替用水ビット水位	補助給水ビット水位	・ 補助給水ビット水位	補機監視機能	代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	電源	代替非常用発電機電圧、電力、周波数 6-A, B母線電圧	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																																							
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																																					
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																																					
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																																					
	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計																																																																																																																																				
		中性子源領域中性子束計	・ 中性子源領域中性子束計																																																																																																																																				
		中間領域起動率計	・ 中間領域起動率計																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																																					
	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																																				
		復水ビット水位計	・ 復水ビット水位計																																																																																																																																				
電源	空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計																																																																																																																																						
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																					
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																							
a. 低圧代替注水																																																																																																																																							
(c) 低圧代替注水系 (可検型) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																							
非常時操作手順書 (微視ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																					
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ 1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																					
		水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																																				
操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 炭帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																																																																					
	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																																							
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																					
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																																					
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																																																					
	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束																																																																																																																																				
		中間領域中性子束	・ 中間領域中性子束																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																					
	水源の確保	燃料取替用水ビット水位	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																																																				
		補助給水ビット水位	・ 補助給水ビット水位																																																																																																																																				
	補機監視機能	代替格納容器スプレイポンプ出口圧力																																																																																																																																					
電源	代替非常用発電機電圧、電力、周波数 6-A, B母線電圧																																																																																																																																						



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																				
<p>監視計器一覧 (4/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>中間領域中性子束計</td> <td>・ 中間領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計	未臨界の維持又は監視	中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)	<p>監視計器一覧 (4/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">n. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(d) 代替蓄蔵冷却系による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>原子炉補種冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力動潤室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>代替蓄蔵冷却ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>代替蓄蔵冷却ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力動潤室水位</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			n. 低圧代替注水			(d) 代替蓄蔵冷却系による原子炉圧力容器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	最終ヒートシンクの確保	原子炉補種冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)	水源の確保	圧力動潤室水位	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量	代替蓄蔵冷却ポンプ出口流量	補機監視機能	代替蓄蔵冷却ポンプ出口圧力	水源の確保	圧力動潤室水位		<p>監視計器一覧 (4/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 原用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 原用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	未臨界の維持又は監視	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																							
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																					
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																					
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計																																																																																																																				
未臨界の維持又は監視		中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																				
		水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																				
手順書		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																				
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																							
n. 低圧代替注水																																																																																																																							
(d) 代替蓄蔵冷却系による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																							
判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																					
	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																					
	最終ヒートシンクの確保	原子炉補種冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)																																																																																																																					
	水源の確保	圧力動潤室水位																																																																																																																					
操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量	代替蓄蔵冷却ポンプ出口流量																																																																																																																					
	補機監視機能	代替蓄蔵冷却ポンプ出口圧力																																																																																																																					
水源の確保	圧力動潤室水位																																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																							
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																					
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																					
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																				
		原子炉圧力容器への注水量	・ 原用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																																				
未臨界の維持又は監視		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																				
		水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																				
<p>監視計器一覧 (5/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">未臨界の維持又は監視</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束計</td> <td>・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束計</td> <td>・ 中間領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束計</td> <td>・ 中性子源領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中間領域起動率計</td> <td>・ 中間領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域起動率計</td> <td>・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位計 (広域)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の注水量	・ 炉心出口温度計	未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 恒設代替低圧注水積算流量計	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計	中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計	中性子源領域中性子束計	・ 中性子源領域中性子束計	中間領域起動率計	・ 中間領域起動率計	中性子源領域起動率計	・ 中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位計 (広域)	<p>監視計器一覧 (5/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (数値ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>125V 直流主母線 2B 1 電圧</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンク水位</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (数値ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	原子炉水位 (広帯域)	電源の確保	電源の確保	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	水源の確保	水源の確保	原子炉水位 (SA 燃料域)	ろ過水タンク水位	操作	原子炉圧力容器内の水位	4-2C 母線電圧	4-2D 母線電圧	原子炉圧力容器内の注水量	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	補機監視機能	125V 直流主母線 2A-1 電圧	水源の確保	125V 直流主母線 2B 1 電圧	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧 (5/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">未臨界の維持又は監視</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 原子炉水位</td> </tr> <tr> <td>出力領域中性子束</td> <td>・ 出力領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束</td> <td>・ 中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束</td> <td>・ 中性子源領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中間領域起動率</td> <td>・ 中間領域起動率</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域起動率</td> <td>・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の注水量	・ 炉心出口温度	未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉格納容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の注水量	・ 原子炉水位	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束	中間領域中性子束	・ 中間領域中性子束	中性子源領域中性子束	・ 中性子源領域中性子束	中間領域起動率	・ 中間領域起動率	中性子源領域起動率	・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																							
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)																																																																																																																																																					
		・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																					
		・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																																					
操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																					
未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 原子炉水位計																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																																																					
未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計																																																																																																																																																					
	中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計																																																																																																																																																					
	中性子源領域中性子束計	・ 中性子源領域中性子束計																																																																																																																																																					
	中間領域起動率計	・ 中間領域起動率計																																																																																																																																																					
	中性子源領域起動率計	・ 中性子源領域起動率計																																																																																																																																																					
原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位計 (広域)																																																																																																																																																						
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																																					
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																							
a. 低圧代替注水																																																																																																																																																							
(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																																							
非常時操作手順書 (数値ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																																																					
非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																																																					
電源の確保	電源の確保	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																																					
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																																																					
水源の確保	水源の確保	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																					
		ろ過水タンク水位																																																																																																																																																					
操作	原子炉圧力容器内の水位	4-2C 母線電圧																																																																																																																																																					
		4-2D 母線電圧																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の注水量	125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																																																					
		125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																																																																																					
	補機監視機能	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																																																					
水源の確保	125V 直流主母線 2B 1 電圧																																																																																																																																																						
ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位																																																																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																							
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																																																					
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																																																																																																					
		・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																																					
操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 炉心出口温度																																																																																																																																																					
未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の注水量	・ 原子炉水位																																																																																																																																																					
	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束																																																																																																																																																					
	中間領域中性子束	・ 中間領域中性子束																																																																																																																																																					
中性子源領域中性子束	・ 中性子源領域中性子束																																																																																																																																																						
中間領域起動率	・ 中間領域起動率																																																																																																																																																						
中性子源領域起動率	・ 中性子源領域起動率																																																																																																																																																						
原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)																																																																																																																																																						





泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																										
<p>監視計器一覧 (6/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧 (8/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																													
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																										
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																													
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																										
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																												



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧（7/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>格納監視機能</td> <td>・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・原子炉水位計	原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	格納監視機能	・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（9/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>格納監視機能</td> <td>・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）	格納監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																									
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																									
d. 代替再循環運転																																																																									
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																						
		原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																						
	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・原子炉水位計																																																																						
		原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																						
		格納監視機能	・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																									
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																									
d. 代替再循環運転																																																																									
(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																						
		原子炉压力容器への注水量	・高圧注入流量																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																						
	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位																																																																						
		原子炉压力容器への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																						
		格納監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力																																																																						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧（8/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 475 712 1125"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">補機監視機能</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計	補機監視機能	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（10/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 491 1998 1129"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">補機監視機能</td> <td rowspan="6">補機監視機能</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンブ水位（広域） ・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉格納容器への注水量	・ 格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	補機監視機能	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位（広域） ・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																									
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																									
d. 代替再循環運転																																																																									
(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計																																																																						
		原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器スプレイ流量計																																																																						
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計																																																																						
		原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																						
	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計																																																																						
		補機監視機能	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																					
				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
				1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																					
				(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																					
		d. 代替再循環運転																																																																							
(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																						
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																						
		原子炉格納容器への注水量	・ 格納容器スプレイ流量																																																																						
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																						
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																						
	補機監視機能	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位（広域） ・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																					
			操作	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																			
					原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																			
					原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量																																																																			



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																															
<p>監視計器一覧 (9/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="14">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>                     ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)                      ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)                      ・ 炉心出口温度計                 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>                     ・ 加圧器水位計                      ・ 原子炉水位計                 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>                     ・ 格納容器スプレイ流量計                 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>                     ・ 高圧注入流量計                      ・ 余熱除去流量計                 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>                     ・ 格納容器内温度計                 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>                     ・ 格納容器圧力計 (広域)                      ・ AM用格納容器圧力計                 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>                     ・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)                      ・ 原子炉格納容器水位計                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="5">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="5">操作</td> <td>・ A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>・ AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計</td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">水源の確保</td> <td rowspan="6">操作</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>操作</td> <td>・ 体積制御タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器スプレイ流量計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計 (広域) ・ AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・ 原子炉格納容器水位計	最終ヒートシンクの確保	操作	・ A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計	・ AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計	・ 主蒸気圧力計	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)	・ 蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	操作	・ 燃料取替用水ピット水位計	・ 復水ピット水位計	・ ほう酸タンク水位計	・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)	・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	補機監視機能	操作	・ 体積制御タンク水位計 (CRT)			・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧 (11/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="14">操作</td> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>                     ・ 格納容器スプレイ流量計                 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>                     ・ 格納容器内温度計                 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>                     ・ 原子炉格納容器圧力計                      ・ 格納容器圧力 (適用)                 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>                     ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)                      ・ 格納容器水位                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>・ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (適用)</td> </tr> <tr> <td>・ C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">水源の確保</td> <td rowspan="10">操作</td> <td>・ 補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 使用済燃料ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 体積制御タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸補給ライン流量積算制御</td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水補給ライン流量積算制御</td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水補給ライン流量積算制御</td> </tr> <tr> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td rowspan="3">操作</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉格納容器への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力計 ・ 格納容器圧力 (適用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・ 格納容器水位	最終ヒートシンクの確保	操作	・ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (適用)	・ C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計	・ 主蒸気ライン圧力	・ 蒸気発生器水位 (狭域)	水源の確保	操作	・ 補助給水流量計	・ 燃料取替用水ピット水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 2次系純水タンク水位	・ 使用済燃料ピット水位	・ ほう酸タンク水位	・ 体積制御タンク水位	・ ほう酸補給ライン流量積算制御	・ 1次系純水補給ライン流量積算制御	・ 1次系純水補給ライン流量積算制御	・ ろ過水タンク水位	補機監視機能	操作	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																		
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																		
d. 代替再循環運転																																																																																																		
(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																															
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																															
		原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器スプレイ流量計																																																																																															
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計																																																																																															
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計																																																																																															
		原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計 (広域) ・ AM用格納容器圧力計																																																																																															
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・ 原子炉格納容器水位計																																																																																															
		最終ヒートシンクの確保	操作	・ A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計																																																																																														
				・ AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計																																																																																														
				・ 主蒸気圧力計																																																																																														
				・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																																																														
				・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																														
		水源の確保	操作	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																														
				・ 復水ピット水位計																																																																																														
・ ほう酸タンク水位計																																																																																																		
・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)																																																																																																		
・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																		
・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																		
補機監視機能	操作	・ 体積制御タンク水位計 (CRT)																																																																																																
		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																		
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																		
d. 代替再循環運転																																																																																																		
(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉格納容器への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計																																																																																															
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計																																																																																															
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力計 ・ 格納容器圧力 (適用)																																																																																															
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・ 格納容器水位																																																																																															
		最終ヒートシンクの確保	操作	・ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (適用)																																																																																														
				・ C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計																																																																																														
				・ 主蒸気ライン圧力																																																																																														
				・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																																																														
		水源の確保	操作	・ 補助給水流量計																																																																																														
				・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																														
				・ 1次系純水タンク水位																																																																																														
				・ 2次系純水タンク水位																																																																																														
				・ 使用済燃料ピット水位																																																																																														
				・ ほう酸タンク水位																																																																																														
・ 体積制御タンク水位																																																																																																		
・ ほう酸補給ライン流量積算制御																																																																																																		
・ 1次系純水補給ライン流量積算制御																																																																																																		
・ 1次系純水補給ライン流量積算制御																																																																																																		
・ ろ過水タンク水位																																																																																																		
補機監視機能	操作	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																
		・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																
		・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																														
<p>監視計器一覧 (10/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計	電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。		(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	補機監視機能	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計		・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (12/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・消幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位	電源	・消幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	操作	1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】          設備の相違          (相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																	
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																	
a. 代替炉心注水																																																																																	
(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計																																																																														
		電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																														
	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																														
			・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																														
操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																																																
(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計																																																																														
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																														
		原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																														
	補機監視機能	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																														
			・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																														
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。																																																																															
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																	
a. 代替炉心注水																																																																																	
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																														
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位																																																																														
		電源	・消幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																														
	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																																																														
			・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																														
		操作	1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																														
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯 3 / 4号炉との比較対象なし</div>																																																																															



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由		
監視計器一覧（11/48）								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器						
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合								
(2) サポート系機能喪失時の手順等								
a. 代替炉心注水								
(c) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計					
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計					
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計					
		原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）					
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計					
		電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計					
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）					
		監視計器一覧（12/48）						
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合								
(2) サポート系機能喪失時の手順等								
a. 代替炉心注水								
(c) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計					
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計					
		原子炉压力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計					
		原子炉压力容器内の注水量	・充てん流量計					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計					
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計					
		補機冷却	・B充てんポンプ封水油冷却器冷却水流量計 ・B充てんポンプ電動機冷却水流量計					
		監視計器一覧（13/61）						
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
		1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順						
(2) サポート系故障時の対応手順								
a. 代替炉心注水								
(b) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度					
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）					
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位					
		原子炉格納容器への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）					
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・高幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧					
		電源						
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）					
		(b) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度			
				原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）			
原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位							
原子炉压力容器への注水量	・充てん流量							
原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）							
水源の確保	・燃料取替用水ピット水位							
補機冷却	・B-充てんポンプ油冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量 ・B-充てんポンプ電動機補機冷却水流量							

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉		女川原子力発電所 2号炉		泊発電所 3号炉		相違理由		
監視計器一覧 (13/48)								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水								
(d) A格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHRSS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側) ・炉心出口温度	監視計器		
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計				原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計				原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位
		原子炉压力容器内の注水量	・充てん水流量計				原子炉压力容器への注水量	・充てん流量
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンパ水位計 (広域)				原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンパ水位 (広域)
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計				水源の確保	・燃料取替用水ビット水位
		相機監視機能	・充てん水圧力計				電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計
		相機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)					・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)
			・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)					・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)
		監視計器一覧 (14/61)						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水								
(d) B-格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHRSS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側) ・炉心出口温度	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側) ・炉心出口温度	監視計器		
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)				原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位				原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位
		原子炉压力容器への注水量	・充てん流量				原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンパ水位 (広域)
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンパ水位 (広域)				水源の確保	・燃料取替用水ビット水位
		電源	・燃料取替用水ビット水位				電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計
			・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)					・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)
			・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)					・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)
			・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)					・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)
		(e) B-格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHRSS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水	操作				原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側) ・炉心出口温度
原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)			原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)			
原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位			原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位			
原子炉压力容器への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AR用)			原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンパ水位 (広域)			
原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンパ水位 (広域)			水源の確保	・燃料取替用水ビット水位			
補機冷却	・燃料取替用水ビット水位			補機冷却	・B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量 ・B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量			
	・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)				・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)			
	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)				・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)			
	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)				・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(15/48)より抜粋して掲載</b></p> <p>監視計器一覧（15/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 542 716 1085"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d)と同等。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(d)と同等。			<p>監視計器一覧（15/61）</p> <table border="1" data-bbox="1377 470 2004 1061"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-1格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b、(c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-1格納容器スプレイ流量	・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧	電源	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	操作	1.4.2.1(1)b、(c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																		
(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																
		・ 1次冷却材圧力計																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																																
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																
・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																		
操作	1.4.2.1(d)と同等。																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																		
(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																
		・ 炉心出口温度																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																
	原子炉圧力容器への注水量	・ B-1格納容器スプレイ流量																																																																
		・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																
	原子炉格納容器内水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																
		・ 泊幹線1L電圧、2L電圧																																																																
	電源	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																		
操作	1.4.2.1(1)b、(c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																	



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																											
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(15/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">(f) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 20%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d)、(e)と同様。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(f) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(d)、(e)と同様。			<p style="text-align: center;">監視計器一覧（16/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">電源</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 炉幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(i) b. (e)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">電源</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(i) b. (e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	電源	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	電源	・ 炉幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）	操作	1.4.2.1(i) b. (e)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	電源	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	電源	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	操作	1.4.2.1(i) b. (e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</p>
(f) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																									
				原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																									
		原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位計																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																											
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																												
補機監視機能	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																												
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																												
操作	1.4.2.1(d)、(e)と同様。																																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																														
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																														
a. 代替炉心注水																																																																														
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																											
	電源	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																											
		電源	・ 炉幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																											
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																											
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量																																																																											
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																											
	操作	1.4.2.1(i) b. (e)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																												
(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																											
	電源	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																											
		電源	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																											
	操作	1.4.2.1(i) b. (e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																													
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（17/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle; text-align: center;">判 断 基 準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-1格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（参照）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">機 作</td> <td></td> <td>1.4.2.1(d) b. (f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-1格納容器スプレイ流量		・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（参照）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	機 作		1.4.2.1(d) b. (f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																														
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																
(2) サポート系故障時の対応手順																																
a. 代替炉心注水																																
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																													
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																													
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																													
		原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-1格納容器スプレイ流量																													
			・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（参照）																													
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																													
機 作		1.4.2.1(d) b. (f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																				
<p>監視計器一覧（16/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合                      (2) サポート系機能喪失時の手順等                      b. 代替再循環運転                      (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ B 高压注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ B 高压注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	操作	補機冷却	・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉压力容器への注水量	・ B 高压注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ B 高压注入ポンプ吐出圧力計	大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。				<p>監視計器一覧（18/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順                      (2) サポート系故障時の対応手順                      b. 代替再循環運転                      (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 前幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 母線 A、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（B用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高压注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A- 高压注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="3">可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車による A- 高压注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	電源	・ 前幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 母線 A、B、C1、C2、D 母線電圧	操作	補機冷却	・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（B用）	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高压注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ A- 高压注入ポンプ出口圧力	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車による A- 高压注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																							
i. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																				
		電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																				
	操作	補機冷却	・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計																																																																				
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																				
		原子炉压力容器への注水量	・ B 高压注入流量計																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																				
補機監視機能	・ B 高压注入ポンプ吐出圧力計																																																																						
大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。																																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																							
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																				
		電源	・ 前幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 母線 A、B、C1、C2、D 母線電圧																																																																				
	操作	補機冷却	・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（B用）																																																																				
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																				
		原子炉压力容器への注水量	・ 高压注入流量																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																				
補機監視機能	・ A- 高压注入ポンプ出口圧力																																																																						
可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車による A- 高压注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。																																																																							



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																	
<p>監視計器一覧（17/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 462 712 1133"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 462 347 534">対応手段</th> <th data-bbox="347 462 481 534">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 462 712 534">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 534 712 558">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 558 712 582">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 582 712 606">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 606 712 630">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 630 313 1133" rowspan="7">i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="313 630 347 1133" rowspan="3">判断基準</td> <td data-bbox="347 630 481 710">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="481 630 712 710"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 710 481 758">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 710 712 758">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 758 481 805">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="481 758 712 805">・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 805 481 853">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="481 805 712 853">・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 853 347 1029" rowspan="2">操作</td> <td data-bbox="347 853 481 965">相機監視機能</td> <td data-bbox="481 853 712 965"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 965 481 1029">相機冷却</td> <td data-bbox="481 965 712 1029"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計</li> <li>・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="313 1029 712 1133">空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b. 「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	相機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>	相機冷却	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計</li> <li>・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計</li> </ul>	空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b. 「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯 3 / 4号炉との比較対象なし</div>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																				
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																				
b. 代替再循環運転																																				
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																				
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																	
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																	
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																		
	操作	相機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>																																	
		相機冷却	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計</li> <li>・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計</li> </ul>																																	
	空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b. 「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。																																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																						
<p>監視計器一覧（18/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 454 712 1145"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ A 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B 高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a).i.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・ A 余熱除去流量計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		補機冷却	B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計		B 高圧注入ポンプ冷却水流量計		操作	1.4.2.1(2)b.(a).i.と同様。			<p>監視計器一覧（19/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 491 2000 1161"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量（適用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機冷却</td> <td>A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量		原子炉補機冷却水供給母管流量（適用）		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）		補機冷却	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量		A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量		A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）		操作	1.4.2.1(2)b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																									
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																																									
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																																									
ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																						
		原子炉格納容器内への注水量	・ A 余熱除去流量計																																																																																						
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																						
			原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																						
		補機冷却	B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計																																																																																						
			B 高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																																						
		操作	1.4.2.1(2)b.(a).i.と同様。																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																									
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																																									
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																																									
1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																						
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																						
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																						
			原子炉補機冷却水供給母管流量（適用）																																																																																						
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量																																																																																						
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）																																																																																						
		補機冷却	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量																																																																																						
A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																																																																									
A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）																																																																																									
操作	1.4.2.1(2)b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p>監視計器一覧 (6/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧</td> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水脈の確保</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>水脈の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td>水脈の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (7/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧</td> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水脈の確保</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>低圧心スプレイ系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>水脈の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td>水脈の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量	電源の確保	6-2C 母線電圧	6-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧	水脈の確保	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量	補機監視機能	水脈の確保	圧力制御室水位	水脈の確保	圧力制御室水位	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)	電源の確保	6-2C 母線電圧	6-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧	水脈の確保	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量	低圧心スプレイ系ポンプ出口流量	補機監視機能	水脈の確保	圧力制御室水位	水脈の確保	圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (20/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止 d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準 電源</td> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 前幹線 1L 電圧, 2L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1L 電圧, 2L 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">—</td> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C-1, C-2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準 電源</td> <td rowspan="10">電源</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 燃料取扱用ホット水位</td> </tr> <tr> <td>・ 前幹線 1L 電圧, 2L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1L 電圧, 2L 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準 補機監視機能</td> <td rowspan="10">補機監視機能</td> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C-1, C-2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給管流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (別用)</td> </tr> <tr> <td>・ 1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td>・ 1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td>・ 1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td>・ 1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>— 操作に伴う監視計器がないため記載しない。</p> <p>監視計器一覧 (21/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準 電源</td> <td rowspan="10">電源</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 前幹線 1L 電圧, 2L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1L 電圧, 2L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C-1, C-2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準 補機冷却</td> <td rowspan="10">補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び冷却器補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (別用)</td> </tr> <tr> <td>・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td>・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td>・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td>・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td>・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td>・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止 d. 復旧			判断基準 電源	電源	・ 前幹線 1L 電圧, 2L 電圧	・ 後志幹線 1L 電圧, 2L 電圧	操作	—	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C-1, C-2, D 母線電圧	判断基準 電源	電源	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力 (広域)	・ 加圧器水位	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	・ 燃料取扱用ホット水位	・ 前幹線 1L 電圧, 2L 電圧	・ 後志幹線 1L 電圧, 2L 電圧	判断基準 補機監視機能	補機監視機能	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C-1, C-2, D 母線電圧	・ 原子炉補機冷却水供給管流量	・ 原子炉補機冷却水供給管流量 (AM 用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (別用)	・ 1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	・ 1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	・ 1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	・ 1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧			判断基準 電源	電源	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力 (広域)	・ 加圧器水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位 (広域)	・ 前幹線 1L 電圧, 2L 電圧	・ 後志幹線 1L 電圧, 2L 電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C-1, C-2, D 母線電圧	判断基準 補機冷却	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び冷却器補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ及び冷却器補機冷却水流量 (AM 用)	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (別用)	・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・泊3号炉は、手順着手の判断基準の監視計器を整理している。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映) ・泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映) ・泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																													
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																															
非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																													
	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量																																																																																																																																													
電源の確保	6-2C 母線電圧	6-2C 母線電圧																																																																																																																																													
	4-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧																																																																																																																																													
水脈の確保	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																																																																													
	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																													
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																																													
	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																													
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																													
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量																																																																																																																																													
補機監視機能	水脈の確保	圧力制御室水位																																																																																																																																													
	水脈の確保	圧力制御室水位																																																																																																																																													
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																													
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																															
非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																													
	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)																																																																																																																																													
電源の確保	6-2C 母線電圧	6-2C 母線電圧																																																																																																																																													
	4-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧																																																																																																																																													
水脈の確保	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																																													
	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																																													
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																																													
	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																													
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																													
	原子炉圧力容器への注水量	低圧心スプレイ系ポンプ出口流量																																																																																																																																													
補機監視機能	水脈の確保	圧力制御室水位																																																																																																																																													
	水脈の確保	圧力制御室水位																																																																																																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止 d. 復旧																																																																																																																																															
判断基準 電源	電源	・ 前幹線 1L 電圧, 2L 電圧																																																																																																																																													
		・ 後志幹線 1L 電圧, 2L 電圧																																																																																																																																													
操作	—	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																																																																													
		・ 6-A, B, C-1, C-2, D 母線電圧																																																																																																																																													
判断基準 電源	電源	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																																													
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																													
		・ 炉心出口温度																																																																																																																																													
		・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																													
		・ 加圧器水位																																																																																																																																													
		・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																																													
		・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																													
		・ 燃料取扱用ホット水位																																																																																																																																													
		・ 前幹線 1L 電圧, 2L 電圧																																																																																																																																													
		・ 後志幹線 1L 電圧, 2L 電圧																																																																																																																																													
判断基準 補機監視機能	補機監視機能	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																																																																													
		・ 6-A, B, C-1, C-2, D 母線電圧																																																																																																																																													
		・ 原子炉補機冷却水供給管流量																																																																																																																																													
		・ 原子炉補機冷却水供給管流量 (AM 用)																																																																																																																																													
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量																																																																																																																																													
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (別用)																																																																																																																																													
		・ 1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																																													
		・ 1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																																													
		・ 1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																																													
		・ 1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧																																																																																																																																															
判断基準 電源	電源	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																																													
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																													
		・ 炉心出口温度																																																																																																																																													
		・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																													
		・ 加圧器水位																																																																																																																																													
		・ A-格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																													
		・ 前幹線 1L 電圧, 2L 電圧																																																																																																																																													
		・ 後志幹線 1L 電圧, 2L 電圧																																																																																																																																													
		・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																																																																													
		・ 6-A, B, C-1, C-2, D 母線電圧																																																																																																																																													
判断基準 補機冷却	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び冷却器補機冷却水流量																																																																																																																																													
		・ A-高圧注入ポンプ及び冷却器補機冷却水流量 (AM 用)																																																																																																																																													
		・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																																																																																																																													
		・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (別用)																																																																																																																																													
		・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																																																													
		・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																																																													
		・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																																																													
		・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																																																													
		・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																																																													
		・ 1.4.2.1(2) b. (a) 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																																																													



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																												
<p>監視計器一覧 (19/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器の温度</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度 (SA) 用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">                     格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(D)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(D)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。                      格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。                 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			判断基準	原子炉圧力容器の温度	・炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度 (SA) 用)		・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT)		・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計	格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(D)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(D)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (8/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系 (庫政) (取水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウエル圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウエル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>4-9C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>復水移送ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系 (庫政) (取水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力		原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウエル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)		電源の確保	4-9C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	復水貯蔵タンク水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域)		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量		補機監視機能	復水移送ポンプ出口圧力		水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (22/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉格納容器内に残存する場合の対応手順 a. 原子炉格納容器水振り</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・格納容器水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">                     (a) 格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる残存溶融炉心の冷却                      手順内の格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順については、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(D)a.「格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(D)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備し、格納容器内自然対流冷却の手順については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順については、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。                 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉格納容器内に残存する場合の対応手順 a. 原子炉格納容器水振り			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度		・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度		・格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・格納容器水位	(a) 格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる残存溶融炉心の冷却 手順内の格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順については、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(D)a.「格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(D)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備し、格納容器内自然対流冷却の手順については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順については、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																															
判断基準	原子炉圧力容器の温度	・炉心出口温度計																																																																																																													
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)																																																																																																													
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																													
	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度 (SA) 用)																																																																																																													
		・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT)																																																																																																													
		・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)																																																																																																													
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																																													
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																													
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																													
原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計																																																																																																														
格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(D)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(D)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。																																																																																																															
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																													
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系 (庫政) (取水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却																																																																																																															
非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																													
非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																													
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力																																																																																																													
	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウエル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度																																																																																																													
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)																																																																																																													
	電源の確保	4-9C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																													
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域)																																																																																																													
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																													
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																													
	補機監視機能	復水移送ポンプ出口圧力																																																																																																													
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉格納容器内に残存する場合の対応手順 a. 原子炉格納容器水振り																																																																																																															
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																																																													
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)																																																																																																													
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																													
	最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度																																																																																																													
		・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度																																																																																																													
		・格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度																																																																																																													
	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)																																																																																																													
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																													
	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)																																																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																													
原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・格納容器水位																																																																																																														
(a) 格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる残存溶融炉心の冷却 手順内の格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順については、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(D)a.「格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(D)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備し、格納容器内自然対流冷却の手順については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順については、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。																																																																																																															

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

監視計器一覧(20/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧(20/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			
a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)			
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計(広域)
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材低温側温度計(広域)
		原子炉圧力容器内の注水量	・炉心出口温度計
		水源の確保	・1次冷却材圧力計
		補機監視機能	・余熱除去流量計
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計(広域)
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材低温側温度計(広域)
		長終ヒートシンクの確保	・炉心出口温度計
		電源	・1次冷却材圧力計
		水源の確保	・蒸気発生器水位計(広域)
操作	操作	蒸気発生器水位計(狭域)	・蒸気発生器水位計(狭域)
		蒸気発生器補助給水流量計	・蒸気発生器補助給水流量計
		4-3(4)C1、C2、D1、D2母線電圧計	・4-3(4)C1、C2、D1、D2母線電圧計
		脱気器タンク水位計(CRT)	・脱気器タンク水位計(CRT)

監視計器一覧(9/20)

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ(計器)
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順		
(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順		
a. 低圧代替注水		
b. 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却		
非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA広帯域) 原子炉水位(SA燃料域)
非常時操作手順書(設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力(SA) ドライウェル圧力
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C)
	電源の確保	4-2C母線電圧 125V直流主母線2A電圧 125V直流主母線2B電圧 125V直流主母線2A-1電圧 125V直流主母線2B-1電圧
	水源の確保	圧力抑制室水位
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA広帯域) 原子炉水位(SA燃料域)
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)
	原子炉圧力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量
	補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力
	水源の確保	圧力抑制室水位

監視計器一覧(23/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			
(1) フロントライン系故障時の対応手順			
a. 蒸気発生器2次側からの熱による発電用原子炉の冷却(注水)			
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度(広域-高温側)
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材温度(広域-低温側)
		原子炉圧力容器への注水量	・炉心出口温度
		水源の確保	・1次冷却材圧力(広域)
		補機監視機能	・1次冷却材圧力(広域)
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度(広域-高温側)
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材温度(広域-低温側)
		最終ヒートシンクの確保	・炉心出口温度
		電源	・1次冷却材圧力(広域)
		水源の確保	・蒸気発生器水位(広域)
操作	操作	蒸気発生器水位(狭域)	・蒸気発生器水位(狭域)
		補助給水流量	・補助給水流量
		4-3(4)C1、C2、D母線電圧	・泊幹線1L電圧、2L電圧
		脱気器タンク水位	・脱気器タンク水位

一：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																														
<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">監視計器一覧(20/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%; text-align: center;">(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="4" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計(広域)</li> <li>・1次冷却材低温側温度計(広域)</li> <li>・炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計(広域)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計(狭域)</li> <li>・蒸気発生器主給水流量計(CRT)</li> <li>・蒸気発生器水張り流量計(CRT)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ピット水位計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">                     「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。                 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計(広域)</li> <li>・1次冷却材低温側温度計(広域)</li> <li>・炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計(広域)</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計(狭域)</li> <li>・蒸気発生器主給水流量計(CRT)</li> <li>・蒸気発生器水張り流量計(CRT)</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ピット水位計</li> </ul>		操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p style="text-align: center;">監視計器一覧(10/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">手順書</th> <th style="width: 25%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視パラメータ(計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (e) 低圧代替注水系(可搬型)による残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>                     原子炉水位(狭帯域)                      原子炉水位(広帯域)                      原子炉水位(燃料域)                      原子炉水位(SA 広帯域)                      原子炉水位(SA 燃料域)                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力(SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウエール圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>                     原子炉格納容器下部温度                      ドライウエール温度                      ・原子炉格納容器下部空間気温度                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>                     格納容器内空間気水素濃度                      格納容器内水素濃度(D/W)                      格納容器内水素濃度(S/C)                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>                     4-2c 母線電圧                      4-2b 母線電圧                      125V 直流主母線 2A 電圧                      125V 直流主母線 2B 電圧                      125V 直流主母線 2A-1 電圧                      125V 直流主母線 2B-1 電圧                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>                     淡水貯水槽 (No.1)                      淡水貯水槽 (No.2)                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>                     原子炉水位(狭帯域)                      原子炉水位(燃料域)                      原子炉水位(SA 燃料域)                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力(SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水</td> <td>                     残留熱除去系洗浄ライン流量                      (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)                      残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>                     淡水貯水槽 (No.1)                      淡水貯水槽 (No.2)                 </td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ(計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (e) 低圧代替注水系(可搬型)による残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA 広帯域) 原子炉水位(SA 燃料域)	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)	原子炉格納容器内の圧力	ドライウエール圧力		原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウエール温度 ・原子炉格納容器下部空間気温度		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空間気水素濃度 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C)		電源の確保	4-2c 母線電圧 4-2b 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA 燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)		原子炉圧力容器への注水	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(24/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>                     原子炉圧力容器内の温度                      ・1次冷却材温度(広域-高温側)                      ・1次冷却材温度(広域-低温側)                      ・炉心出口温度                      原子炉圧力容器内の圧力                      ・1次冷却材圧力(広域)                      最終ヒートシンクの確保                      ・蒸気発生器水位(狭域)                      ・蒸気発生器水位(換域)                      ・主給水ライン流量                      ・蒸気発生器水張り流量                      水源の確保                      ・補助給水ピット水位                 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>                     「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>                     原子炉圧力容器内の温度                      ・1次冷却材温度(広域-高温側)                      ・1次冷却材温度(広域-低温側)                      最終ヒートシンクの確保                      ・蒸気発生器水位(狭域)                      ・蒸気発生器水位(換域)                      ・補助給水流量                 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>                     「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>                     原子炉圧力容器内の温度                      ・1次冷却材温度(広域-高温側)                      ・1次冷却材温度(広域-低温側)                      最終ヒートシンクの確保                      ・蒸気発生器水位(狭域)                      ・蒸気発生器水位(換域)                      ・補助給水流量                 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>                     「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>                     原子炉圧力容器内の温度                      ・1次冷却材温度(広域-高温側)                      ・1次冷却材温度(広域-低温側)                      最終ヒートシンクの確保                      ・蒸気発生器水位(狭域)                      ・蒸気発生器水位(換域)                      ・補助給水流量                 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>                     「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。                 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)			(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) ・炉心出口温度 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力(広域) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(換域) ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 水源の確保 ・補助給水ピット水位	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(換域) ・補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(換域) ・補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(換域) ・補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	<p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>
(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計(広域)</li> <li>・1次冷却材低温側温度計(広域)</li> <li>・炉心出口温度計</li> </ul>																																																																												
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計(広域)</li> </ul>																																																																												
				最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計(狭域)</li> <li>・蒸気発生器主給水流量計(CRT)</li> <li>・蒸気発生器水張り流量計(CRT)</li> </ul>																																																																												
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ピット水位計</li> </ul>																																																																															
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																															
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ(計器)																																																																															
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (e) 低圧代替注水系(可搬型)による残存溶融炉心の冷却																																																																																	
非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA 広帯域) 原子炉水位(SA 燃料域)																																																																															
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)																																																																															
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウエール圧力																																																																															
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウエール温度 ・原子炉格納容器下部空間気温度																																																																															
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空間気水素濃度 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C)																																																																															
	電源の確保	4-2c 母線電圧 4-2b 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																															
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																															
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA 燃料域)																																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)																																																																															
	原子炉圧力容器への注水	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																															
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)																																																																																	
(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) ・炉心出口温度 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力(広域) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(換域) ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 水源の確保 ・補助給水ピット水位																																																																															
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																															
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(換域) ・補助給水流量																																																																															
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																															
(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(換域) ・補助給水流量																																																																															
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																															
(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(換域) ・補助給水流量																																																																															
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																															



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																												
<p>監視計器一覧 (21/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td colspan="2">・ 蒸気発生器水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td colspan="2">・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 主蒸気圧力計 ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 ・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT) ・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td colspan="2">・ 復水器真空度計 (広域) ・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>一：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)			(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域)		・ 蒸気発生器水位計 (狭域)		・ 蒸気発生器補助給水流量計		・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT)		・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計		操作	-		(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計 ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 ・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT) ・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	電源	・ 復水器真空度計 (広域) ・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計		操作	-		<p>監視計器一覧 (11/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(4) ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順			a. 低圧代替注水			(4) ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力		原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)		原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力		原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)		電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	ろ過水タンク水位		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量		補機監視機能	ろ過水ポンプ出口圧力		水源の確保	ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧 (25/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td colspan="2">・ 蒸気発生器水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 主給水ライン流量</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 蒸気発生器水張り流量</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td colspan="2">・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 補助給水流量 ・ 復水器真空 (広域)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td colspan="2">・ 泊幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 絶縁幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>一：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)			(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域)		・ 蒸気発生器水位 (狭域)		・ 主給水ライン流量		・ 蒸気発生器水張り流量		・ 補助給水流量		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流		操作	-		(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 補助給水流量 ・ 復水器真空 (広域)	電源	・ 泊幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 絶縁幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D 母線電圧		操作	-		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																													
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																																																																																																															
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																																															
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)																																																																																																																																																															
(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																																																												
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域)																																																																																																																																																													
		・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																																																																																																																													
		・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																																																																																													
		・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT)																																																																																																																																																													
	・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)																																																																																																																																																														
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																																																																													
	操作	-																																																																																																																																																													
(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																												
		最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計 ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 ・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT) ・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)																																																																																																																																																												
	電源	・ 復水器真空度計 (広域) ・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																																																																																																													
	操作	-																																																																																																																																																													
	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																																												
	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																																																														
	(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順																																																																																																																																																														
	a. 低圧代替注水																																																																																																																																																														
	(4) ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却																																																																																																																																																														
非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																													
非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力																																																																																																																																																													
	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																																													
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力																																																																																																																																																													
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度																																																																																																																																																													
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)																																																																																																																																																													
	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																																													
	水源の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																																																													
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																																													
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																																																																													
	補機監視機能	ろ過水ポンプ出口圧力																																																																																																																																																													
	水源の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																													
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																																																																																																															
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																															
b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)																																																																																																																																																															
(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																												
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																																																																												
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域)																																																																																																																																																													
		・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																																																																																																																													
		・ 主給水ライン流量																																																																																																																																																													
		・ 蒸気発生器水張り流量																																																																																																																																																													
	・ 補助給水流量																																																																																																																																																														
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																																																																													
	操作	-																																																																																																																																																													
(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																												
		最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 補助給水流量 ・ 復水器真空 (広域)																																																																																																																																																												
	電源	・ 泊幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 絶縁幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D 母線電圧																																																																																																																																																													
	操作	-																																																																																																																																																													

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p>監視計器一覧（22 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(I) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul>	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧（26/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水量</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> </ul>	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																			
(I) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																			
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul>																																																
	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> </ul>																																																
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>																																																
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																			
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																			
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																																
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>																																																
	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水量</li> </ul>																																																
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> </ul>																																																
		操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																										
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>監視計器一覧(23/48)より抜粋して掲載</b></p> <p>監視計器一覧 (23/48)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	・ 復水ビット水位計	電源	・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2母線電圧計	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。		<p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉</p>	<p style="text-align: center;">監視計器一覧 (27/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">監視計器一覧 (28/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">操作</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	・ 補助給水ビット水位	水源の確保	・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧	・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧	電源	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	操作	1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）	水源の確保	・ 補助給水流量	・ 補助給水ビット水位	電源	・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧	・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧	補機監視機能	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧	操作	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	1.1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。			<p style="text-align: center; color: red;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																											
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																																																													
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																																													
a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																																													
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																																											
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																																											
		・ 1次冷却材圧力計																																																																																																											
原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																												
	・ 復水ビット水位計																																																																																																												
電源	・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2母線電圧計																																																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																																												
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																																												
	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																												
操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。																																																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																											
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																																																													
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																													
a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																																													
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																																											
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																																																											
		・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																											
原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																												
	・ 補助給水ビット水位																																																																																																												
水源の確保	・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧																																																																																																												
	・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧																																																																																																												
電源	・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																												
	・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧																																																																																																												
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																												
	・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																																																												
操作	1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																												
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																										
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																																																													
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																													
a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																																													
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																																											
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																																																											
		・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																											
最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																																																												
	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																												
水源の確保	・ 補助給水流量																																																																																																												
	・ 補助給水ビット水位																																																																																																												
電源	・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧																																																																																																												
	・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧																																																																																																												
補機監視機能	・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																												
	・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧																																																																																																												
操作	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																																																												
1.1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																													



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																						
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(23/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; text-align: center;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>                     「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。                 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>		操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p style="text-align: center;">監視計器一覧（29/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">対応手段</th> <th style="width: 25%;">重大事故等の対応に必要となる監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順                      (2) サポート系故障時の対応手順                      a. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>                     原子炉压力容器内の温度                      ・ 1次冷却材温度（広域-高温側）                      ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）                      最終ヒートシンクの確保                      ・ 蒸気発生器水位（広域）                      ・ 蒸気発生器水位（狭域）                      ・ 補助給水流量                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>                     「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>                     原子炉压力容器内の温度                      ・ 1次冷却材温度（広域-高温側）                      ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）                      最終ヒートシンクの確保                      ・ 蒸気発生器水位（広域）                      ・ 蒸気発生器水位（狭域）                      ・ 補助給水流量                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>                     「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>                     原子炉压力容器内の温度                      ・ 1次冷却材温度（広域-高温側）                      ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）                      最終ヒートシンクの確保                      ・ 蒸気発生器水位（広域）                      ・ 蒸気発生器水位（狭域）                      ・ 補助給水流量                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>                     「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。                 </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要となる監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																				
				原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																				
		最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>																																					
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> </ul>																																						
	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>																																							
補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>																																								
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要となる監視項目	監視計器																																							
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																									
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																							
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																							
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																							
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																							
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																							
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																							

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																										
<p>監視計器一覧 (24/48)</p> <table border="1" data-bbox="100 478 716 1117"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計 (広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</li> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)			(a) 主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計 (広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</li> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (30/61)</p> <table border="1" data-bbox="1388 510 1993 1117"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位 (広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母線兼 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 母線兼 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)			(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> </ul>	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位 (広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母線兼 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 母線兼 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</li> </ul>	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																											
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																													
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																													
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)																																																													
(a) 主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul>																																																										
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計 (広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>																																																										
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計</li> </ul>																																																										
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</li> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>																																																											
	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。																																																											
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																										
	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																												
	(2) サポート系故障時の対応手順																																																												
b. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)																																																													
(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> </ul>																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>																																																										
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位 (広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																										
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母線兼 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 母線兼 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</li> </ul>																																																										
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</li> </ul>																																																											
	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																											

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																														
<p>監視計器一覧 (25/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a、「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域)	電源	・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a、「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (31/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 兼志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量	電源	・ 泊幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 兼志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ出口圧力		・ 余熱除去ポンプ電流		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																	
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																	
c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																														
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																														
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																														
		電源	・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計																																																														
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																														
			・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																														
			・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																														
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a、「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																															
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																														
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																	
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																	
c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																														
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																														
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量																																																														
		電源	・ 泊幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 兼志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧																																																														
	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																														
			・ 余熱除去ポンプ電流																																																														
			・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																														
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																															



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧 (32/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 意図</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">(n) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域～高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域～低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td>・ 前線線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志管線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">操作</td> <td></td> <td>1.4.2.2(1) a. (n) 「電動補助給水ポンプ又はタービン給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 意図			(n) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域～高温側）	・ 1次冷却材温度（広域～低温側）	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	・ 低圧注入流量	電源	・ 前線線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 後志管線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	水源の確保	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)	・ 補助給水ピット水位	操作		1.4.2.2(1) a. (n) 「電動補助給水ポンプ又はタービン給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）          ・泊は、女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																		
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 意図																																				
(n) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域～高温側）																																		
		・ 1次冷却材温度（広域～低温側）																																		
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																		
		・ 加圧器水位																																		
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																		
		・ 低圧注入流量																																		
	電源	・ 前線線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																		
		・ 後志管線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																		
		・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																		
		・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																		
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																			
	・ 余熱除去ポンプ電流																																			
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																			
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)																																			
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																			
水源の確保	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)																																			
	・ 補助給水ピット水位																																			
操作		1.4.2.2(1) a. (n) 「電動補助給水ポンプ又はタービン給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																		

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由		
監視計器一覧 (26/48)			監視計器一覧 (12/20)			監視計器一覧 (33/61)					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水			1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉圧力容器への注水			1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水					
(a) A、B 充てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	「崩壊熱除去機能喪失」等	原子炉水位 (広帯域)	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	
		・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)			原子炉水位 (広帯域)						・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)
		・ 炉心出口温度計			原子炉水位 (燃料域)						・ 1次冷却材圧力計
		・ 燃料取替用水ピット水位計			原子炉水位 (SA 広帯域)						・ 加圧器水位計
		・ 復水ピット水位計			原子炉水位 (SA 燃料域)						・ 1次冷却系統水位計 (CRT)
		・ ほう酸タンク水位計			原子炉水位 (停止域)						・ 加圧器水位計
	水源の確保	・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)	原子炉水位 (定検時水取用)	4-2C 母線電圧	電源の確保	4-2D 母線電圧	原子炉圧力容器への注水量	原子炉圧力容器への注水量	原子炉圧力容器への注水量	・ 燃料取替用水ピット水位	
		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧		・ 1次冷却系統ループ水位					
		・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧		・ ほう酸タンク水位					
		・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	復水貯蔵タンク水位	原子炉水位 (広帯域)		・ 1次系純水タンク水位					
		・ 炉心出口温度計	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)		・ 余熱除去ポンプ出口圧力					
		・ 加圧器水位計	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)		・ 余熱除去ポンプ電流					
操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力	操作	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器への注水量	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度		
	・ 充てん水流量計	・ 出力領域中性子束計	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)		・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)						
	・ 燃料取替用水ピット水位計	・ 中間領域中性子束計	(残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)						
	・ 復水ピット水位計	・ 中性子源領域中性子束計	補機監視機能		・ 炉心出口温度						
	・ ほう酸タンク水位計	・ 中間領域起動率計	復水移送ポンプ出口圧力		・ 加圧器水位						
	・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)	・ 中性子源領域起動率計	復水貯蔵タンク水位		・ 1次冷却系統ループ水位						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																											
<p>監視計器一覧 (27/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系統機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(c) 蓄圧タンクによる炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系統機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん水流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)	(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)	<p>監視計器一覧 (13/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系統故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 低圧代替注水 (可動型) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (フロント停止中) 「前線熱除去機喪失」等</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系統故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			b. 低圧代替注水 (可動型) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (フロント停止中) 「前線熱除去機喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)		原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)		原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)	<p>監視計器一覧 (34/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系統故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 高圧注入ポンプによる原子炉压力容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系統故障時の対応手順			a. 炉心注水			(b) 高圧注入ポンプによる原子炉压力容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力	補機監視機能	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	<p>【大阪】          設備の相違 (相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																												
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																														
(1) フロントライン系統機能喪失時の手順等																																																																																																																														
a. 炉心注水																																																																																																																														
(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																											
	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん水流量計																																																																																																																											
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計																																																																																																																											
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の注水量	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)																																																																																																																											
(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																											
	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																											
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																											
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)																																																																																																																											
		手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																										
		1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																												
(1) フロントライン系統故障時の対応手順																																																																																																																														
a. 低圧代替注水																																																																																																																														
b. 低圧代替注水 (可動型) による原子炉压力容器への注水																																																																																																																														
非常時操作手順書 (フロント停止中) 「前線熱除去機喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)																																																																																																																												
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																												
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																																																																												
	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)																																																																																																																												
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																												
	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																																												
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																												
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																														
(1) フロントライン系統故障時の対応手順																																																																																																																														
a. 炉心注水																																																																																																																														
(b) 高圧注入ポンプによる原子炉压力容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																											
		原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量																																																																																																																											
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力																																																																																																																											
		補機監視機能	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																											
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																											
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																																											
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																											
		補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																											
		<p>大阪 3 / 4号炉との比較対象なし</p>																																																																																																																												



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉		女川原子力発電所 2号炉		泊発電所 3号炉		相違理由
監視計器一覧 (28/48)		監視計器一覧 (14/20)		監視計器一覧 (35/61)		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	手帳書	重大事故等の対応に必要な監視項目	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水		1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水 (c) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水		1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水		
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	判断基準	・1次冷却材高温側温度計 (広域)
		・1次冷却材低温側温度計 (広域)				
		・炉心出口温度計				
		・1次冷却材圧力計				
		・加圧器水位計				
	操作	原子炉压力容器内の水位	・1次冷却系統水位計 (CRT)			
		原子炉压力容器内の注水量	・高圧注入流量計			
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計			
		原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域)			
		・1次冷却材低温側温度計 (広域)				
・炉心出口温度計						
原子炉压力容器内の圧力	・加圧器水位計					
原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計					
水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計					
(b) A 格納容器スプレイポンプ (RHR S-CSS 連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	操作	・1次冷却材高温側温度計 (広域)
		・1次冷却材低温側温度計 (広域)				
		・炉心出口温度計				
		・1次冷却材圧力計				
		・加圧器水位計				
	操作	原子炉压力容器内の水位	・1次冷却系統水位計 (CRT)			
		原子炉压力容器内の注水量	・蓄圧タンク水位計 (CRT)			
		水源の確保	・蓄圧タンク圧力計 (CRT)			
		原子炉压力容器内の温度	・燃料取替用水ピット水位計			
		・1次冷却材低温側温度計 (広域)				
・炉心出口温度計						
原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計 (広域)					
原子炉压力容器への注水量	・加圧器水位					
補機監視機能	・1次冷却系統ループ水位					
水源の確保	・高圧注入流量					
補機監視機能	・燃料取替用水ピット水位					
圧力抑制室水位	・高圧注入ポンプ出口圧力					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																				
<p>監視計器一覧 (29/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(D)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(d) 電動消防ポンプ又はディーゼル消防ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(D)b.(c)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計	操作	1.4.2.1(D)b.(b)と同様。		(d) 電動消防ポンプ又はディーゼル消防ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	操作	1.4.2.1(D)b.(c)と同様。		<p>監視計器一覧 (15/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保 ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td></td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td>捕集機機能</td> <td></td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td></td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	操作	水源の確保 ろ過水タンク水位	原子炉圧力容器内の水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉圧力容器への注水量		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)	捕集機機能		ろ過水ポンプ出口圧力	水源の確保		ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧 (36/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(e) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (4期用)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(D)b.(b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(d) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(D)b.(c) 「電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(e) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (4期用)	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位	操作	1.4.2.1(D)b.(b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(d) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作	1.4.2.1(D)b.(c) 「電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																							
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																					
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計																																																																																																																					
	操作	1.4.2.1(D)b.(b)と同様。																																																																																																																					
(d) 電動消防ポンプ又はディーゼル消防ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																					
	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																					
	操作	1.4.2.1(D)b.(c)と同様。																																																																																																																					
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																					
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																							
a. 低圧代替注水																																																																																																																							
(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水																																																																																																																							
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																																					
		電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																					
非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	操作	水源の確保 ろ過水タンク水位																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																																					
原子炉圧力容器への注水量		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																																																					
捕集機機能		ろ過水ポンプ出口圧力																																																																																																																					
水源の確保		ろ過水タンク水位																																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																							
(e) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (4期用)																																																																																																																					
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位																																																																																																																					
	操作	1.4.2.1(D)b.(b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																					
(d) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																					
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																					
	操作	1.4.2.1(D)b.(c) 「電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																										
<p>監視計器一覧 (30/48)</p> <table border="1" data-bbox="100 367 716 446"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の注水量 ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作 1.4.2.1(1)b.(d)と同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計		(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計			原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)			原子炉圧力容器内の注水量 ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計			操作 1.4.2.1(1)b.(d)と同様。		<p>監視計器一覧 (16/20)</p> <table border="1" data-bbox="739 494 1355 574"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書(設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系系統流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)	非常時操作手順書(設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度		電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		補機監視機能	原子炉補機冷却水系系統流量		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度		補機監視機能	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度	<p>監視計器一覧 (37/61)</p> <table border="1" data-bbox="1377 454 2004 534"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作 1.4.2.1(1)b. (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(f) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作 1.4.2.1(1)b. (f) 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(g) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作 1.4.2.1(1)b. (g) 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度			原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)			原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位			原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量			操作 1.4.2.1(1)b. (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(f) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度			原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位			原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量			操作 1.4.2.1(1)b. (f) 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(g) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度			原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位			原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量			操作 1.4.2.1(1)b. (g) 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																											
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																												
(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計																																																																																												
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																												
	原子炉圧力容器内の注水量 ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																												
	操作 1.4.2.1(1)b.(d)と同様。																																																																																												
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																											
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱																																																																																													
非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)																																																																																											
非常時操作手順書(設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																																																											
	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																											
	補機監視機能	原子炉補機冷却水系系統流量																																																																																											
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)																																																																																											
	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																																																											
	補機監視機能	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度																																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																											
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水																																																																																													
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																												
	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																												
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																												
	原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量																																																																																												
	操作 1.4.2.1(1)b. (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																												
(f) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																												
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																												
	原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量																																																																																												
	操作 1.4.2.1(1)b. (f) 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																												
(g) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																												
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																												
	原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量																																																																																												
	操作 1.4.2.1(1)b. (g) 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																												



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由				
監視計器一覧 (31/48)						監視計器一覧 (38/61)							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器					
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 c. 再循環運転						1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 c. 再循環運転							
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)				
			・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)										
			・ 炉心出口温度計										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計							原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)		
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計							原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位		
		・ 1次冷却系統水位計 (CRT)							・ 1次冷却系統ループ水位				
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計						原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量			
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)						原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)			
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計						補機監視機能	・ 燃料取替用ホット水位			
			・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計							・ 余熱除去ポンプ出口圧力			
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)				操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)				
		・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)							・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)				
		・ 炉心出口温度計							・ 炉心出口温度計				
原子炉圧力容器内の水位		・ 原子炉水位計							・ 加圧器水位				
原子炉圧力容器内の注水量		・ 高圧注入流量計							・ 原子炉容器水位				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)					・ 高圧注入流量					
		補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計					原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)				
								補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力				
監視計器一覧 (32/48)						d. 代替再循環運転							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器											
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転						1.4.2.1(1)d. (a) 「B-格納容器スプレイポンプ (RRS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転」による代替再循環運転							
(a) A格納容器スプレイポンプ (RRRS-CSS連絡ライン使用)による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)			(a) B-格納容器スプレイポンプ (RRRS-CSS連絡ライン使用)による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)				
			・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)										
			・ 炉心出口温度計										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計							原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)		
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計							原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位		
		・ 1次冷却系統水位計 (CRT)							・ 1次冷却系統ループ水位				
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計						原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量			
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)						原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器再循環サンプ水位 (広域)			
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計						補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力			
	操作	1.4.2.1(1)d.(a)と同様。					操作	1.4.2.1(1)d. (a) 「B-格納容器スプレイポンプ (RRRS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転」の操作手順と同様である。					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																				
<p>監視計器一覧（33/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 脱気器タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 復水ピット水位計	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	—	—	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計	水源の確保	・ 脱気器タンク水位計（CRT）	操作	—	—		<p>監視計器一覧（39/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 後志幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 脱気器タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	—	—	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	電源	・ 泊幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 後志幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧	水源の確保	・ 脱気器タンク水位	操作	—	—	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																							
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																							
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																				
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																					
	水源の確保	・ 復水ピット水位計																																																																																					
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																					
操作	—	—																																																																																					
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																				
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																					
	電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																					
	水源の確保	・ 脱気器タンク水位計（CRT）																																																																																					
操作	—	—																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																							
e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																							
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																				
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																					
	水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																																																					
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																					
操作	—	—																																																																																					
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																				
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																																																																					
	電源	・ 泊幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 後志幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧																																																																																					
	水源の確保	・ 脱気器タンク水位																																																																																					
操作	—	—																																																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧(34/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧(34/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器
1.4.2.3 運転停止中の場合		
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等		
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）		
(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度
		原子炉压力容器内の圧力
	最終ヒートシンクの確保	主蒸気圧力計
		蒸気発生器水位計（広域）
		蒸気発生器水位計（狭域）
水源の確保	蒸気発生器主給水流量計（CRT）	
	蒸気発生器水張り流量計（CRT）	
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。	

泊3号炉との比較対象なし

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧(40/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順		
(1) フロントライン系喪失時の対応手順		
e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）		
(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度
		原子炉压力容器内の圧力
	最終ヒートシンクの確保	主蒸気ライン圧力
		蒸気発生器水位（広域）
		蒸気発生器水位（狭域）
水源の確保	主給水ライン流量	
	蒸気発生器水張り流量	
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度
		原子炉压力容器内の圧力
	最終ヒートシンクの確保	主蒸気圧力計
		蒸気発生器水位（広域）
		蒸気発生器水位（狭域）
水源の確保	蒸気発生器主給水流量計（CRT）	
	蒸気発生器水張り流量計（CRT）	
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	
(e) 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度
		原子炉压力容器内の圧力
	最終ヒートシンクの確保	主蒸気圧力計
		蒸気発生器水位（広域）
		蒸気発生器水位（狭域）
水源の確保	蒸気発生器主給水流量計（CRT）	
	蒸気発生器水張り流量計（CRT）	
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d.「代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	
(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度
		原子炉压力容器内の圧力
	最終ヒートシンクの確保	主蒸気圧力計
		蒸気発生器水位（広域）
		蒸気発生器水位（狭域）
水源の確保	蒸気発生器主給水流量計（CRT）	
	蒸気発生器水張り流量計（CRT）	
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	

【大飯】  
設備の相違  
(相違理由④)

【大飯】  
設備の相違  
(相違理由④)

【大飯】  
設備の相違  
(相違理由④)



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																					
<p><b>監視計器一覧(34/48)より抜粋して掲載</b></p> <p>1.4.2.3 運転停止中の場合                  (1) フロントライン系機能喪失時の手順等                  f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p> <p><b>監視計器一覧(35/48)より抜粋して掲載</b></p> <p>監視計器一覧（35/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合                      (1) フロントライン系機能喪失時の手順等                      f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 主蒸気圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 復水器真空度計（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	判断基準	監視項目	監視計器	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計		・ 蒸気発生器水位計（広域）		・ 蒸気発生器水位計（狭域）		・ 蒸気発生器補助給水流量計		・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計		水源の確保	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計		操作	—	—	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計		最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計		・ 蒸気発生器水位計（広域）		・ 蒸気発生器水位計（狭域）		・ 蒸気発生器補助給水流量計		・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）		電源	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）		・ 復水器真空度計（広域）		電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計		操作	—	—	<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>監視計器一覧（41/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順                      (1) フロントライン系故障時の対応手順                      f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 主給水ライン流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水張り流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 主給水ライン流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量</td> <td>・ 復水器真空（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 復水器真空（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 泊停給1モ電圧、2モ電圧</td> <td>・ 機志幹線1モ電圧、2モ電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	・ 炉心出口温度		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）		・ 蒸気発生器水位（狭域）		・ 補助給水流量		・ 主給水ライン流量		・ 蒸気発生器水張り流量		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	操作	—	—	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	・ 炉心出口温度		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）		最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力		・ 蒸気発生器水位（広域）		・ 蒸気発生器水位（狭域）		・ 補助給水流量		・ 主給水ライン流量		電源	・ 蒸気発生器水張り流量	・ 復水器真空（広域）	・ 復水器真空（広域）		電源	・ 泊停給1モ電圧、2モ電圧	・ 機志幹線1モ電圧、2モ電圧	操作	—	—	<p>相違理由</p>
判断基準	監視項目	監視計器																																																																																																																																						
原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																																																						
	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																							
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																							
原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																																							
	・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																																																																																																							
	・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																																																																																							
	・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																																																																							
	・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																																																																																																							
最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																																																																																							
	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																																																							
水源の確保	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																																																							
操作	—	—																																																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																						
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																																																																																								
原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																																																						
	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																							
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																							
最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計																																																																																																																																							
	・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																																																																																																							
	・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																																																																																							
	・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																																																																							
	・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																																																																																																							
電源	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																																																																																							
	・ 復水器真空度計（広域）																																																																																																																																							
電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																																																																							
操作	—	—																																																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																						
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																																																																																								
原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																																																																						
	・ 炉心出口温度																																																																																																																																							
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																																							
原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																																																							
最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																																																																																							
	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																																																							
	・ 補助給水流量																																																																																																																																							
	・ 主給水ライン流量																																																																																																																																							
	・ 蒸気発生器水張り流量																																																																																																																																							
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																																																						
操作	—	—																																																																																																																																						
原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																																																																						
	・ 炉心出口温度																																																																																																																																							
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																																							
最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力																																																																																																																																							
	・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																																																																																							
	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																																																							
	・ 補助給水流量																																																																																																																																							
	・ 主給水ライン流量																																																																																																																																							
電源	・ 蒸気発生器水張り流量	・ 復水器真空（広域）																																																																																																																																						
	・ 復水器真空（広域）																																																																																																																																							
電源	・ 泊停給1モ電圧、2モ電圧	・ 機志幹線1モ電圧、2モ電圧																																																																																																																																						
操作	—	—																																																																																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																				
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(35/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="6" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 75%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </table>	g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul>	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p style="text-align: center;">監視計器一覧（42/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系統同時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3) a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系統同時の対応手順			g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul>	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3) a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																		
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																		
		原子炉圧力容器内の注水量		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul>																																			
		操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> </ul>																																			
			補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>																																			
	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系統同時の対応手順																																							
g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																				
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>																																				
	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																				
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul>																																				
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3) a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧（36/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="98 411 349 485">対応手段</th> <th data-bbox="349 411 479 485">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="479 411 716 485">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="98 485 716 512">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="98 512 716 539">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="98 539 716 566">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td data-bbox="98 566 313 1184" rowspan="14">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td data-bbox="313 566 349 983" rowspan="7">判断基準</td> <td data-bbox="349 566 479 632">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="479 566 716 632">                     ・ 1次冷却材高温側温度計（広域）                      ・ 1次冷却材低温側温度計（広域）                      ・ 炉心出口温度計                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 632 479 681">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="479 632 716 681">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 681 479 734">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="479 681 716 734">                     ・ 加圧器水位計                      ・ 1次冷却系統水位計（CRT）                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 734 479 786">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="479 734 716 786">・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 786 479 839">水源の確保</td> <td data-bbox="479 786 716 839">・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 839 479 892">電源</td> <td data-bbox="479 839 716 892">                     ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 892 479 983">補機監視機能</td> <td data-bbox="479 892 716 983">                     ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）                      ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）                      ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 983 349 1184" rowspan="7">操作</td> <td data-bbox="349 983 479 1056">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="479 983 716 1056">                     ・ 1次冷却材高温側温度計（広域）                      ・ 1次冷却材低温側温度計（広域）                      ・ 炉心出口温度計                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 1056 479 1109">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="479 1056 716 1109">                     ・ 加圧器水位計                      ・ 1次冷却系統水位計（CRT）                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 1109 479 1161">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="479 1109 716 1161">・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 1161 479 1184">水源の確保</td> <td data-bbox="479 1161 716 1184">・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計		<p>監視計器一覧（43/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1384 571 1626 620">対応手段</th> <th data-bbox="1626 571 1769 620">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1769 571 2002 620">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 620 2002 647">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 647 2002 675">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 675 2002 702">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1384 702 1626 1029" rowspan="14">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水</td> <td data-bbox="1626 702 1662 858" rowspan="7">判断基準</td> <td data-bbox="1662 702 1769 734">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="1769 702 2002 734">                     ・ 1次冷却材温度（広域-高温側）                      ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）                      ・ 炉心出口温度                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1662 734 1769 766">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1769 734 2002 766">・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1662 766 1769 798">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="1769 766 2002 798">・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1662 798 1769 829">原子炉圧力容器への注水量</td> <td data-bbox="1769 798 2002 829">・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1662 829 1769 861">水源の確保</td> <td data-bbox="1769 829 2002 861">・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 858 1662 1029" rowspan="7">操作</td> <td data-bbox="1662 861 1769 893">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="1769 861 2002 893">                     ・ 1次冷却材温度（広域-高温側）                      ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）                      ・ 炉心出口温度                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1662 893 1769 925">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="1769 893 2002 925">                     ・ 加圧器水位                      ・ 1次冷却系統ループ水位                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1662 925 1769 957">原子炉圧力容器への注水量</td> <td data-bbox="1769 925 2002 957">・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1662 957 1769 989">水源の確保</td> <td data-bbox="1769 957 2002 989">・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																									
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																									
a. 代替炉心注水																																																																									
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																						
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																						
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																						
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																						
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																						
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																						
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																						
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																						
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
		1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																							
		(2) サポート系故障時の対応手順																																																																							
a. 代替炉心注水																																																																									
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																						
		原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量																																																																						
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																						
		操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																					
			原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量		・ 低圧注入流量																																																																						
	水源の確保		・ 燃料取替用水ピット水位																																																																						



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>監視計器一覧（37/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 494 716 1101"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 494 347 566">対応手段</th> <th data-bbox="347 494 481 566">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 494 716 566">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 566 716 598">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 598 716 622">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 622 716 646">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 646 313 1101" rowspan="7">(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水</td> <td data-bbox="313 646 481 718" rowspan="3">判断基準</td> <td data-bbox="481 646 716 718">原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 718 716 758">原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 758 716 805">原子炉圧力容器内の水位 ・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 805 481 837">水源の確保</td> <td data-bbox="481 805 716 837">・蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 837 481 885">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="481 837 716 885">・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 885 481 933">電源</td> <td data-bbox="481 885 716 933">・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 933 481 1037">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 933 716 1037">・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 1037 481 1101">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="481 1037 716 1101">1.4.2.3(1)a.(c)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位 ・1次冷却系統水位計（CRT）	水源の確保	・蓄圧タンク水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.3(1)a.(c)と同様。			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑦）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																													
1.4.2.3 運転停止中の場合																															
(2) サポート系機能喪失時の手順等																															
a. 代替炉心注水																															
(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																													
		原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力計																													
		原子炉圧力容器内の水位 ・1次冷却系統水位計（CRT）																													
	水源の確保	・蓄圧タンク水位計（CRT）																													
	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																													
	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																													
	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																													
操作	1.4.2.3(1)a.(c)と同様。																														

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																					
<p>監視計器一覧（38/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)(b),(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)(a),(b)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		操作	1.4.2.1(1)(b),(b)と同様。		(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）		原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		操作	1.4.2.1(2)(a),(b)と同様。			<p>監視計器一覧（44/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 泊幹線 1 L電圧、2 L電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1 L電圧、2 L電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（照用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（照用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（照用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水ピット水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(D b、(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位		原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量		電源	・ 泊幹線 1 L電圧、2 L電圧		・ 後志幹線 1 L電圧、2 L電圧		・ 甲母線電圧、乙母線電圧		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（照用）		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（照用）		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（照用）		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位		・ 補助給水ピット水位		操作	1.4.2.1(D b、(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大阪】          設備の相違（相違理由⑥）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																						
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																																																								
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																					
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計																																																																																																					
	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																					
		・ 炉心出口温度計																																																																																																						
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																						
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																						
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																																						
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																																						
		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																																						
	操作	1.4.2.1(1)(b),(b)と同様。																																																																																																						
(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																					
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																						
	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																						
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																						
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																																						
		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																																						
	操作	1.4.2.1(2)(a),(b)と同様。																																																																																																						
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																					
	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																																																							
(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																					
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																						
	原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																						
	電源	・ 泊幹線 1 L電圧、2 L電圧																																																																																																						
		・ 後志幹線 1 L電圧、2 L電圧																																																																																																						
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																						
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																						
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																						
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（照用）																																																																																																						
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（照用）																																																																																																								
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（照用）																																																																																																								
水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																							
	・ 補助給水ピット水位																																																																																																							
操作	1.4.2.1(D b、(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大阪 3 / 4号炉との比較対象なし</div>																																																																																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由				
監視計器一覧 (39/48)													
対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.3 運転停止中の場合													
(2) サポート系機能喪失時の手順等													
a. 代替炉心注水													
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>			判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>					
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul>				原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>					
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A余熱除去流量計</li> <li>・ 恒設代替低圧注水積算流量計</li> </ul>				原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</li> </ul>					
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃料取替用水ピット水位計</li> <li>・ 復水ピット水位計</li> </ul>				水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃料取替用水ピット水位</li> </ul>					
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>				電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>					
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>				補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</li> <li>・ 充てんライン圧力</li> </ul>					
		操作	1.4.2.1(2)a.(c)と同様。										
		監視計器一覧 (40/48)											
		対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
		1.4.2.3 運転停止中の場合											
(2) サポート系機能喪失時の手順等													
a. 代替炉心注水													
(f) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）(RHS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>			判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>					
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul>				原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>					
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充てん水流量計</li> </ul>				原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充てん流量</li> </ul>					
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃料取替用水ピット水位計</li> </ul>				水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃料取替用水ピット水位</li> </ul>					
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>				電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>					
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>				補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</li> <li>・ 充てんライン圧力</li> </ul>					
		操作	1.4.2.1(2)a.(d)と同様。										

監視計器一覧 (45/61)

対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順						
(2) サポート系故障時の対応手順						
a. 代替炉心注水						
(e) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>			
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>			
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>			
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</li> </ul>			
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃料取替用水ピット水位</li> </ul>			
		操作	1.4.2.1(2)a. (b)「B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。			
		(d) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）(RHS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	
				原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>	
				原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充てん流量</li> </ul>	
電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>					
補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</li> <li>・ 充てんライン圧力</li> </ul>					
水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃料取替用水ピット水位</li> </ul>					
操作	1.4.2.1(2)a. (c)「B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）(RHS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。					



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																		
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; color: blue; font-weight: bold;">監視計器一覧(41/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧 (41/48)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="vertical-align: top;">(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A余熱除去流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(g)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</li> </ul>	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A余熱除去流量計</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</li> </ul>	操作	1.4.2.1(1)b.(g)と同様。			<p>監視計器一覧 (46/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ B-格納容器スプレイ流量</li> <li>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消幹線 1 L電圧、2 L電圧</li> <li>・ 後志幹線 1 L電圧、2 L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ろ過水タンク水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> </ul>	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>	原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B-格納容器スプレイ流量</li> <li>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消幹線 1 L電圧、2 L電圧</li> <li>・ 後志幹線 1 L電圧、2 L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ろ過水タンク水位</li> </ul>	操作	1.4.2.1(1)b.(e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																					
(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																		
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</li> </ul>																																																		
	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A余熱除去流量計</li> </ul>																																																			
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul>																																																			
	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>																																																			
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</li> </ul>																																																			
操作	1.4.2.1(1)b.(g)と同様。																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																			
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																					
(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> </ul>																																																		
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>																																																		
		原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B-格納容器スプレイ流量</li> <li>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</li> </ul>																																																		
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消幹線 1 L電圧、2 L電圧</li> <li>・ 後志幹線 1 L電圧、2 L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>																																																		
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</li> </ul>																																																			
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ろ過水タンク水位</li> </ul>																																																			
	操作	1.4.2.1(1)b.(e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

監視計器一覧(41/48)より抜粋して掲載

(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul>
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A余熱除去流量計</li> </ul>
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>
補機監視機能	操作	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>
		1.4.2.1(d)と同様。	

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧 (47/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水				
(f) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域～低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>	
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B-格納容器スプレイ流量</li> <li>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM明）</li> </ul>	
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 機志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>	
	操作	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM明）</li> </ul>
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM明）</li> </ul>
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM明）</li> </ul>
			1.4.2.1(d) b. (d) 「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	
			1.4.2.1(d) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	
(g) 代替給水ピットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域～低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>	
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B-格納容器スプレイ流量</li> <li>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM明）</li> <li>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</li> </ul>	
		1.4.2.1(d) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
		1.4.2.1(d) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		

【大飯】  
 設備の相違  
 (相違理由③)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（48/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(b) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">機作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(b) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器への注水量	機作	1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																							
(2) サポート系故障時の対応手順																							
a. 代替炉心注水																							
(b) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																					
		原子炉圧力容器内の水位																					
		原子炉圧力容器への注水量																					
	機作	1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																					



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																		
<p>監視計器一覧（42/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 512 719 1086"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計</li> <li>・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	電源	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計</li> <li>・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</li> </ul>	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。			<p>監視計器一覧（49/61）</p> <table border="1" data-bbox="1382 504 2000 1126"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 炉幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 液志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用）</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>	電源	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 炉幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 液志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用）</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）</li> </ul>	操作	1.4.2.1(2)b.(a)1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																					
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																					
b. 代替再循環運転																																																																					
(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																																					
i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																		
	電源	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																		
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																		
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計</li> <li>・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</li> </ul>																																																																		
操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																					
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																					
b. 代替再循環運転																																																																					
(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																																					
1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>																																																																		
	電源	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																		
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 炉幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 液志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>																																																																		
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用）</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）</li> </ul>																																																																		
	操作	1.4.2.1(2)b.(a)1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																	
<p>監視計器一覧（43/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 491 714 1104"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 491 347 564">対応手段</th> <th data-bbox="347 491 481 564">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 491 714 564">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 564 714 592">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 592 714 619">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 619 714 646">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 646 714 673">(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 673 315 1104" rowspan="6">i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="315 673 347 1104" rowspan="6">判断基準</td> <td data-bbox="347 673 481 735">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="481 673 714 735"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 735 481 782">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 735 714 782"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 782 481 828">原子炉压力容器内の水位</td> <td data-bbox="481 782 714 828"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 828 481 922">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="481 828 714 922"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 922 481 984">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 922 714 984"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 984 481 1104">補機冷却</td> <td data-bbox="481 984 714 1104"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計</li> <li>・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 1104 347 1104">操作</td> <td data-bbox="347 1104 481 1104">1.4.2.1(2)b.(b)lと同様。</td> <td data-bbox="481 1104 714 1104"></td> <td data-bbox="714 1104 730 1104"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul>	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計</li> <li>・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計</li> </ul>	操作	1.4.2.1(2)b.(b)lと同様。				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>大飯 3 / 4号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】                  設備の相違                  （相違理由⑥）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																		
1.4.2.3 運転停止中の場合																																				
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																				
b. 代替再循環運転																																				
(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																				
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																	
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																	
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul>																																	
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</li> </ul>																																	
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>																																	
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計</li> <li>・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計</li> </ul>																																	
操作	1.4.2.1(2)b.(b)lと同様。																																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																				
<p>監視計器一覧（44/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 454 347 526">対応手段</th> <th data-bbox="347 454 481 526">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 454 716 526">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 526 716 566">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 566 716 598">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 598 716 622">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 622 716 646">(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 646 324 1141" rowspan="10">ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="324 646 481 694" rowspan="3">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="481 646 716 670">・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 670 716 694">・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 694 716 710">・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 710 481 742">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 710 716 742">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 742 481 774">原子炉压力容器内の水位</td> <td data-bbox="481 742 716 774">・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 774 481 805">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="481 774 716 805">・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 805 481 837">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="481 805 716 837">・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 837 481 885">原子炉压力容器内の注水量</td> <td data-bbox="481 837 716 885">・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 885 481 933">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 885 716 933">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 933 481 981">補機冷却</td> <td data-bbox="481 933 716 981">・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 981 481 1029">操作</td> <td data-bbox="481 981 716 1029">1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	補機冷却	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。		<p>監視計器一覧（50/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1388 494 1635 534">対応手段</th> <th data-bbox="1635 494 1769 534">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1769 494 1993 534">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1388 534 1993 558">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1388 558 1993 582">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1388 582 1993 606">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1388 606 1993 630">(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1388 630 1624 1141" rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="1624 630 1668 678" rowspan="3">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="1668 630 1993 654">・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1668 654 1993 678">・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1668 678 1993 694">・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1624 694 1668 726">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1668 694 1993 726">・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1624 726 1668 758">原子炉压力容器内の水位</td> <td data-bbox="1668 726 1993 758">・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1624 758 1668 790">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="1668 758 1993 790">・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1624 790 1668 837">補機監視機能</td> <td data-bbox="1668 790 1993 837">・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1624 837 1668 885">補機冷却</td> <td data-bbox="1668 837 1993 885">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1624 885 1668 933">操作</td> <td data-bbox="1668 885 1993 933">1.4.2.1(2)b.(a)1.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位	補機監視機能	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機冷却	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	操作	1.4.2.1(2)b.(a)1.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																							
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																							
b. 代替再循環運転																																																																							
(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																																							
ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																					
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																					
		・ 炉心出口温度計																																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																					
	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																					
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																					
	補機冷却	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																					
操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																							
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																							
b. 代替再循環運転																																																																							
(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																																							
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																					
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																					
		・ 炉心出口温度																																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																					
	補機監視機能	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																					
	補機冷却	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																					
	操作	1.4.2.1(2)b.(a)1.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																					



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																														
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(45/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧 (45/48)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計(広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域)	・ 1次冷却材低温側温度計(広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 復水ビット水位計	電源	補機監視機能	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)			・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)	操作		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計			1.4.2.2(1)a.(a)と同様。	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉</p>	<p style="text-align: center;">監視計器一覧 (51/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度(広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度(広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 消幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AH用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AH用)</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td></td> <td>1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">監視計器一覧 (52/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度(広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度(広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 消幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AH用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AH用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td></td> <td>1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側)	・ 1次冷却材温度(広域-低温側)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	・ 原子炉圧力容器への注水量	水源の確保	・ 補助給水ビット水位	電源	・ 消幹線1L電圧、2L電圧	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AH用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AH用)	・ 余熱除去ポンプ出口圧力			・ 余熱除去ポンプ電流	操作		1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)			(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側)	・ 1次冷却材温度(広域-低温側)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位(狭域)	・ 蒸気発生器水位(広域)	水源の確保	・ 補助給水流量	・ 補助給水ビット水位	電源	・ 消幹線1L電圧、2L電圧	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AH用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AH用)	操作		1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	<p style="color: red; text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)																																																																																																	
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域)																																																																																															
		・ 1次冷却材低温側温度計(広域)																																																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																															
		・ 1次冷却材圧力計																																																																																															
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																															
水源の確保	・ 復水ビット水位計																																																																																																
電源	補機監視機能	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																															
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)																																																																																															
		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)																																																																																															
操作		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																															
		1.4.2.2(1)a.(a)と同様。																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)																																																																																																	
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側)																																																																																															
		・ 1次冷却材温度(広域-低温側)																																																																																															
		・ 炉心出口温度																																																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																															
		・ 原子炉圧力容器への注水量																																																																																															
	水源の確保	・ 補助給水ビット水位																																																																																															
		電源	・ 消幹線1L電圧、2L電圧																																																																																														
	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																
	・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																
	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AH用)																																																																																																
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量																																																																																																
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AH用)																																																																																																
	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																
		・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																															
操作		1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)																																																																																																	
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側)																																																																																															
		・ 1次冷却材温度(広域-低温側)																																																																																															
		・ 炉心出口温度																																																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																															
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位(狭域)																																																																																														
	・ 蒸気発生器水位(広域)																																																																																																
	水源の確保	・ 補助給水流量																																																																																															
		・ 補助給水ビット水位																																																																																															
	電源	・ 消幹線1L電圧、2L電圧																																																																																															
		・ 後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																															
・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																	
・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																	
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AH用)																																																																																																
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AH用)																																																																																																
操作		1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																															

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																				
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(45/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" data-bbox="100 351 705 821"> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・加心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ビット水位計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・加心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ビット水位計</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。					<p style="text-align: center;">監視計器一覧（53/61）</p> <table border="1" data-bbox="1377 502 2004 1141"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順                      (2) サポート系故障時の対応手順                      e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・加心出口温度計</li> </ul>																																																		
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																		
		最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>																																																			
		操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ビット水位計</li> </ul>																																																			
			電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>																																																			
	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>																																																				
「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																							
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>																																																				
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>																																																				
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																					
(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>																																																				
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>																																																				
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																					
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>																																																				
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>																																																				
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																														
<p>監視計器一覧（46/48）</p> <table border="1" data-bbox="96 475 716 1120"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">機能監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	機能監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。				<p>監視計器一覧（54/61）</p> <table border="1" data-bbox="1382 523 2000 1120"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 前母線1L電圧、2L電圧 ・ 後母線1L電圧、2L電圧 ・ 中母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">機能監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量	電源	・ 前母線1L電圧、2L電圧 ・ 後母線1L電圧、2L電圧 ・ 中母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	機能監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																	
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																	
d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																	
(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																														
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																														
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																														
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																														
	機能監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																														
		操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。																																																														
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																														
	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																	
d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																	
(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																														
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																														
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量																																																														
		電源	・ 前母線1L電圧、2L電圧 ・ 後母線1L電圧、2L電圧 ・ 中母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																														
	機能監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																														
		操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																														



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																				
<p>監視計器一覧（47/48）</p> <table border="1" data-bbox="98 502 716 1093"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。		<p>監視計器一覧（55/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 534 2002 1117"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系放熱時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 汽幹線1L電圧、2L電圧 ・ 機走幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系放熱時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水量	電源	・ 汽幹線1L電圧、2L電圧 ・ 機走幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																							
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																							
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																				
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																				
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																				
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																				
		操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																				
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																				
	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																						
	(2) サポート系放熱時の対応手順																																																						
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																				
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																				
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水量																																																				
		電源	・ 汽幹線1L電圧、2L電圧 ・ 機走幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																				
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																				
		操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																														
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (17/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(9) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 復旧</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等  非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉水位 (定検時水取用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">電源の確保</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量</td> </tr> <tr> <td>6-2G 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>6-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2G 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (定検時水取用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(9) サポート系故障時の対応手順			a. 復旧			(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等  非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (停止域)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (定検時水取用)	原子炉圧力	補機監視機能	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器温度	電源の確保	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	6-2G 母線電圧	6-2D 母線電圧	4-2G 母線電圧	原子炉圧力容器内の水位	4-2D 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	補機監視機能	原子炉水位 (停止域)	原子炉水位 (定検時水取用)	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器温度	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度	<p>監視計器一覧 (56/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器内循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 消静線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 機志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (A用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (A用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.4.2.1位」a, (b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			1. 復旧			(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器内循環サンプ水位 (広域)	・ 燃料取替用水ピット水位	電源	・ 消静線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 機志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (A用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (A用)	操作	「1.4.2.1位」a, (b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映)          ・ 泊は女川と同様に「復旧」を設ける。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																															
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																	
(9) サポート系故障時の対応手順																																																																																																	
a. 復旧																																																																																																	
(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱																																																																																																	
非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等  非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																															
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料域)																																																																																															
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																															
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																															
		原子炉水位 (停止域)																																																																																															
	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (定検時水取用)																																																																																															
		原子炉圧力																																																																																															
	補機監視機能	原子炉圧力 (SA)																																																																																															
		原子炉圧力容器温度																																																																																															
電源の確保	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																
	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量																																																																																																
	6-2G 母線電圧																																																																																																
	6-2D 母線電圧																																																																																																
	4-2G 母線電圧																																																																																																
原子炉圧力容器内の水位	4-2D 母線電圧																																																																																																
	125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																
	125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																																
	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																
	125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																
	原子炉水位 (広帯域)																																																																																																
	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																
	原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																
	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																
補機監視機能	原子炉水位 (停止域)																																																																																																
	原子炉水位 (定検時水取用)																																																																																																
	原子炉圧力																																																																																																
	原子炉圧力 (SA)																																																																																																
	原子炉圧力容器温度																																																																																																
最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)																																																																																																
	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																	
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																	
1. 復旧																																																																																																	
(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																															
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																																															
		・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																															
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																															
		・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量																																																																																															
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器内循環サンプ水位 (広域)																																																																																															
		・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																															
	電源	・ 消静線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																															
		・ 機志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																															
・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																																	
・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																																																	
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (A用)																																																																																																
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (A用)																																																																																																
操作	「1.4.2.1位」a, (b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																
	<p>監視計器一覧 (57/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ A-格納容器内循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 消静線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 機志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (A用)</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2) b, (a) 1, 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			1. 復旧			(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	・ A-格納容器内循環サンプ水位 (広域)	電源	・ 消静線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 機志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (A用)	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	操作	1.4.2.1(2) b, (a) 1, 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																	
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																	
1. 復旧																																																																																																	
(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																															
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																																															
		・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																															
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																															
		・ A-格納容器内循環サンプ水位 (広域)																																																																																															
	電源	・ 消静線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																															
		・ 機志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																															
		・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																															
		・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																																															
補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量																																																																																																
	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (A用)																																																																																																
	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																																																																																
操作	1.4.2.1(2) b, (a) 1, 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧 (58/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 上、復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: top;">(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判 断 基 準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</li> <li>・ 初心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注水流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">電 源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高圧線 1 L電圧, 2 L電圧</li> <li>・ 後志幹線 1 L電圧, 2 L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6-A, B, C 1, C 2, D母線電圧</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水ピット水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操 作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 上、復旧			(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</li> <li>・ 初心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> </ul>	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul>	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注水流量</li> </ul>	電 源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高圧線 1 L電圧, 2 L電圧</li> <li>・ 後志幹線 1 L電圧, 2 L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6-A, B, C 1, C 2, D母線電圧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水ピット水位</li> </ul>	操 作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</li> </ul>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																												
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 上、復旧																														
(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</li> <li>・ 初心出口温度</li> </ul>																											
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> </ul>																											
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul>																											
	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注水流量</li> </ul>																												
	電 源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高圧線 1 L電圧, 2 L電圧</li> <li>・ 後志幹線 1 L電圧, 2 L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</li> </ul>																												
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6-A, B, C 1, C 2, D母線電圧</li> </ul>																												
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> </ul>																												
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul>																												
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</li> </ul>																												
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水ピット水位</li> </ul>																												
	操 作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																												



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由				
監視計器一覧 (48/48)						監視計器一覧 (59/61)							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器					
1.4.2.3 運転停止中の場合 (3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等						1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順							
—	判断基準	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束計 ・中性子源領域起動率計 ・原子炉補給水補給流量積算制御器積算カウンタ			—	判断基準	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束 ・中性子源領域起動率 ・1次系純水補給ライン流量制御 ・1次系純水補給ライン流量積算制御				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次系冷却材圧力計					原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)				
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計 (CRT)					原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位				
		原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計					原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量				
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計					原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度				
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計					原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力 (AM用) ・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・格納容器ガスモニタ				
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器じんあいモニタ ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ					原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器じんあいモニタ ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ				
		信号	・停止時SR中性子束高退避警報作動警報					信号	・SR停止時中性子束高 (S31) 警報 ・SR停止時中性子束高 (S32) 警報				
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)					補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)				
		電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計					電源	・消灯線 1 L電圧、2 L電圧 ・復志巻線 1 L電圧、2 L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧				
		LOCAの監視	・格納容器サンブ水位計 ・格納容器サンブ水位増加率計					LOCAの監視	・格納容器サンブ水位 ・格納容器サンブ水位上昇率				
		操作	—	—				操作	—	—			
		—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。						—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																		
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (18/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狹帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源の確保</td> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系系統流量</td> </tr> <tr> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>6-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td rowspan="4">原子炉压力容器内の水位</td> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (狹帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉压力容器内の圧力</td> <td rowspan="4">原子炉压力容器への注水量</td> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狹帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	電源の確保	補機監視機能	原子炉補機冷却水系系統流量	6-2C 母線電圧	6-2D 母線電圧	4-2C 母線電圧	水源の確保	補機監視機能	4-2D 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	操作	原子炉压力容器内の水位	125V 直流主母線 2B-1 電圧	原子炉水位 (狹帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉压力容器内の圧力	原子炉压力容器への注水量	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	補機監視機能	水源の確保	残留熱除去系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口圧力	補機監視機能	水源の確保	圧力抑制室水位	<p>監視計器一覧 (60/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">操作</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">操作</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td>判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1) e. (a) 「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順			(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号	原子炉压力容器内の水位	操作	原子炉压力容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	原子炉压力容器内の温度	原子炉压力容器内の水位	原子炉压力容器への注水量	水源の確保	補機監視機能	圧力抑制室水位	(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号	原子炉压力容器内の水位	操作	原子炉压力容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	原子炉压力容器内の温度	原子炉压力容器内の水位	原子炉压力容器への注水量	水源の確保	補機監視機能	圧力抑制室水位	(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	信号	操作	1.4.2.1(1) e. (a) 「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。	<p>【大飯】          記載方針の相違 (女川審査実績の反映)          ・泊は、重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																		
1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉压力容器への注水																																																																																					
非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狹帯域)																																																																																			
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																			
非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)																																																																																			
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																			
電源の確保	補機監視機能	原子炉補機冷却水系系統流量																																																																																			
		6-2C 母線電圧																																																																																			
		6-2D 母線電圧																																																																																			
		4-2C 母線電圧																																																																																			
水源の確保	補機監視機能	4-2D 母線電圧																																																																																			
		125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																			
		125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																			
		125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																			
操作	原子炉压力容器内の水位	125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																			
		原子炉水位 (狹帯域)																																																																																			
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																			
		原子炉水位 (燃料域)																																																																																			
原子炉压力容器内の圧力	原子炉压力容器への注水量	原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																			
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																			
		原子炉圧力																																																																																			
		原子炉圧力 (SA)																																																																																			
補機監視機能	水源の確保	残留熱除去系ポンプ出口流量																																																																																			
		残留熱除去系ポンプ出口圧力																																																																																			
補機監視機能	水源の確保	圧力抑制室水位																																																																																			
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																	
1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																																																					
(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号																																																																																			
		原子炉压力容器内の水位																																																																																			
	操作	原子炉压力容器内の圧力																																																																																			
		原子炉格納容器内の圧力																																																																																			
		原子炉压力容器内の温度																																																																																			
		原子炉压力容器内の水位																																																																																			
		原子炉压力容器への注水量																																																																																			
		水源の確保																																																																																			
		補機監視機能																																																																																			
		圧力抑制室水位																																																																																			
(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号																																																																																			
		原子炉压力容器内の水位																																																																																			
	操作	原子炉压力容器内の圧力																																																																																			
		原子炉格納容器内の圧力																																																																																			
		原子炉压力容器内の温度																																																																																			
		原子炉压力容器内の水位																																																																																			
		原子炉压力容器への注水量																																																																																			
		水源の確保																																																																																			
		補機監視機能																																																																																			
		圧力抑制室水位																																																																																			
(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	信号																																																																																			
	操作	1.4.2.1(1) e. (a) 「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																			
1.4-278																																																																																					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p>監視計器一覧 (20/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (数値ベース) 「減圧冷却」等  非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>6-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書 (数値ベース) 「減圧冷却」等  非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (狭帯域)	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	残留熱除去系熱交換器入口温度	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	電源の確保	6-2C 母線電圧	6-2D 母線電圧	4-2C 母線電圧	4-2D 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (狭帯域)	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)	補機監視機能	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度	残留熱除去系熱交換器入口温度	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器出口温度	残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)	<p>監視計器一覧 (61/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">操作</td> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順			(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	判断基準	水源の確保	原子炉圧力容器内の温度	操作	水源の確保	補機監視機能	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の温度	操作	原子炉圧力容器内の水位	補機監視機能	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																												
1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱																																																														
非常時操作手順書 (数値ベース) 「減圧冷却」等  非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																												
		原子炉水位 (広帯域)																																																												
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (狭帯域)																																																													
	原子炉圧力 (SA)																																																													
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																													
	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																													
補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量																																																													
	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量																																																													
電源の確保	6-2C 母線電圧																																																													
	6-2D 母線電圧																																																													
	4-2C 母線電圧																																																													
	4-2D 母線電圧																																																													
	125V 直流主母線 2A 電圧																																																													
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																													
	原子炉水位 (広帯域)																																																													
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (狭帯域)																																																													
	原子炉圧力 (SA)																																																													
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																													
	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)																																																													
補機監視機能	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																																													
	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																													
最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器出口温度																																																													
	残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																												
1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																														
(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	判断基準	水源の確保																																																												
		原子炉圧力容器内の温度																																																												
	操作	水源の確保																																																												
		補機監視機能																																																												
		判断基準	原子炉圧力容器内の圧力																																																											
			原子炉圧力容器内の温度																																																											
		操作	原子炉圧力容器内の水位																																																											
			補機監視機能																																																											



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第1.4.8表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	給電元
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	A格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B格納容器スプレイポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置
	A格納容器スプレイポンプ再循環サンパ側入口格納容器隔離弁	A1原子炉コントロールセンタ
	A充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B充てんポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B高圧注入ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B電動補助給水ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤
	B主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤
	C主蒸気逃がし弁	B1ソレノイド分電盤
	D主蒸気逃がし弁	B1ソレノイド分電盤

第1.4-3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	供給元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	復水移送ポンプ 補給水系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系 非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2G系 緊急用低圧母線 MCC 2G系
		可機型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 緊急用低圧母線 MCC 2G系
	燃料プール補給水系 弁	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1 125V 直流主母線 2B-1 所内常設蓄電式直流電源設備
		可機型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1 250V 直流主母線
	直流駆動低圧注水系ポンプ	常設代替交流電源設備	250V 直流主母線
		可機型代替交流電源設備	250V 直流主母線
	直流駆動低圧注水系 弁	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1 125V 直流主母線 2A-1 所内常設蓄電式直流電源設備
		可機型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1 125V 直流主母線 2A-1
	残留熱除去系ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系 非常用高圧母線 2D系
		可機型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系 非常用低圧母線 MCC 2C系
	残留熱除去系 弁	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系 非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系
		可機型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系
	代替循環冷却ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系
		可機型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系
低圧炉心スプレイ系ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系	
	可機型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系	
低圧炉心スプレイ系 弁	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系	
	可機型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系	
原子炉再循環系 弁	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系	
	可機型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系	
計測用電源*	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系	
	可機型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系	
	所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2A 125V 直流主母線 2B	

※：供給負荷は監視計器

第1.4.3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備 (1/2)

対象条文	供給対象設備	給電元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	化学体積制御設備ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
	原子炉格納容器スプレイ設備ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A非常用高圧母線 A2-原子炉コントロールセンタ B2-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A2-原子炉コントロールセンタ B2-原子炉コントロールセンタ
	残留熱除去設備ポンプ・弁	非常用交流電源設備	4-A1非常用高圧母線 4-B1非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ B2-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	4-A1非常用高圧母線 4-B1非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ B2-原子炉コントロールセンタ
	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	4-A1非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	4-A1非常用高圧母線 4-B1非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ A-直流母線 B-直流母線

【大阪】  
記載方針の相違  
(女川審査実績の反映)

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																										
		<p>第 1.4.3 表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備 (2/2)</p> <table border="1" data-bbox="1377 207 2004 726"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象条文</th> <th rowspan="2">供給対象設備</th> <th colspan="2">給電元</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>母線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">1.4.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</td> <td rowspan="6">2 冷却源設備（補助給水設備）ポンプ、昇</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>母-A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>母-B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>母-A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>母-B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>管内常設蓄電式交流電源設備</td> <td>母-A 交流母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>母-B 交流母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3 冷却源設備（主蒸気設備）昇</td> <td rowspan="2">管内常設蓄電式交流電源設備</td> <td>母-A 交流母線</td> <td></td> </tr> <tr> <td>母-B 交流母線</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">代替格納容器スプレイポンプ</td> <td rowspan="4">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器製</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">非常用電源*</td> <td rowspan="10">非常用交流電源設備 管内常設蓄電式交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td>母-A 非常用交流分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>母-B 非常用交流分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>母-A 非常用交流分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>母-B 非常用交流分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>母-A 非常用交流分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>母-B 非常用交流分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>母-A 非常用交流分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>母-B 非常用交流分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>母-A 非常用交流分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>母-B 非常用交流分電盤</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※：供給負荷は別添付表</p>	対象条文	供給対象設備	給電元		設備	母線	1.4.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2 冷却源設備（補助給水設備）ポンプ、昇	非常用交流電源設備	母-A 非常用高圧母線		母-B 非常用高圧母線	常設代替交流電源設備	母-A 非常用高圧母線		母-B 非常用高圧母線	管内常設蓄電式交流電源設備	母-A 交流母線		母-B 交流母線	3 冷却源設備（主蒸気設備）昇	管内常設蓄電式交流電源設備	母-A 交流母線		母-B 交流母線		代替格納容器スプレイポンプ	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器製		代替格納容器スプレイポンプ変圧器製		代替格納容器スプレイポンプ変圧器製		代替格納容器スプレイポンプ変圧器製		非常用電源*	非常用交流電源設備 管内常設蓄電式交流電源設備 常設代替交流電源設備	母-A 非常用交流分電盤		母-B 非常用交流分電盤		母-A 非常用交流分電盤		母-B 非常用交流分電盤		母-A 非常用交流分電盤		母-B 非常用交流分電盤		母-A 非常用交流分電盤		母-B 非常用交流分電盤		母-A 非常用交流分電盤		母-B 非常用交流分電盤		
対象条文	供給対象設備	給電元																																																											
		設備	母線																																																										
1.4.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2 冷却源設備（補助給水設備）ポンプ、昇	非常用交流電源設備	母-A 非常用高圧母線																																																										
			母-B 非常用高圧母線																																																										
		常設代替交流電源設備	母-A 非常用高圧母線																																																										
			母-B 非常用高圧母線																																																										
		管内常設蓄電式交流電源設備	母-A 交流母線																																																										
			母-B 交流母線																																																										
	3 冷却源設備（主蒸気設備）昇	管内常設蓄電式交流電源設備	母-A 交流母線																																																										
			母-B 交流母線																																																										
	代替格納容器スプレイポンプ	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器製																																																										
			代替格納容器スプレイポンプ変圧器製																																																										
			代替格納容器スプレイポンプ変圧器製																																																										
			代替格納容器スプレイポンプ変圧器製																																																										
	非常用電源*	非常用交流電源設備 管内常設蓄電式交流電源設備 常設代替交流電源設備	母-A 非常用交流分電盤																																																										
			母-B 非常用交流分電盤																																																										
母-A 非常用交流分電盤																																																													
母-B 非常用交流分電盤																																																													
母-A 非常用交流分電盤																																																													
母-B 非常用交流分電盤																																																													
母-A 非常用交流分電盤																																																													
母-B 非常用交流分電盤																																																													
母-A 非常用交流分電盤																																																													
母-B 非常用交流分電盤																																																													

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第14.1回 機能喪失原因対策分析 (炉心注水：フロントライン系機能喪失)</p> <p>【比較のため、順序入れ替え】</p> <p>第14.2回 機能喪失原因対策分析 (炉心注水：サポート系機能喪失)</p>	<p>第14.1回 機能喪失原因対策分析 (炉心注水：フロントライン系機能喪失)</p>	<p>第1.4-1図 機能喪失原因対策分析</p>	<p>【大阪】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロントライン系の故障等を赤点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。</li> <li>・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。</li> <li>・故障想定箇所を×印で記載。</li> <li>・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。</li> </ul>



1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため、順序入れ替え】</p> <p>図1.4.42 機能喪失原因分析（余熱除去運転：フロントライン系機能喪失）</p> <p>図1.4.43 機能喪失原因分析（余熱除去運転：サポート系機能喪失）</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>図1.4.1 機能喪失原因対策分析（2/2）</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロントライン系の故障等を赤点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。</li> <li>・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。</li> <li>・故障想定箇所を×印で記載。</li> <li>・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。</li> </ul>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="745 316 1357 943" style="border: 1px solid black; height: 393px; width: 273px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="757 967 1341 991">第1.4-2図 非常時操作手順書（巻戻ベース）「水位確保」における対応フロー</p> <div data-bbox="943 1238 1357 1265" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1469 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2024 667 2085 687">【女川】</p> <p data-bbox="2024 695 2145 716">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="2024 724 2168 890" style="list-style-type: none"> <li>・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</li> </ul>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="743 316 1357 925" style="border: 1px solid black; height: 382px; width: 274px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="757 954 1344 976">第1.4-3図 非常時操作手順書（撤換ベース）「減圧冷却」における対応フロー</p> <div data-bbox="943 1241 1357 1267" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 185px;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1469 743 1912 785" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 198px; margin: 0 auto;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2024 667 2085 689">【女川】</p> <p data-bbox="2024 699 2145 721">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="2024 727 2168 890" style="list-style-type: none"> <li>・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</li> </ul>



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="741 323 1350 1062" style="border: 1px solid black; height: 463px; width: 272px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="757 1091 1335 1114">第 1.4-4 図 非常時操作手順書（徴候ベース）「水位回復」における対応フロー</p> <div data-bbox="938 1238 1350 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">                     枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。                 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         女川 2号炉との比較対象なし                     </div>	<p data-bbox="2024 667 2168 890">【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 (大飯と同様)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="741 320 1357 1118" style="border: 1px solid black; height: 500px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="779 1145 1317 1187" style="text-align: center;">                     第1.4-5図 非常時操作手順書（プラント停止中）「崩壊熱除去機能喪失」における対応フロー                 </div> <div data-bbox="943 1246 1357 1270" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 2px;">                     枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。                 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         女川2号炉との比較対象なし                     </div>	<p>【女川】                      記載方針の相違                      ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。                      （大飯と同様）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="748 376 1357 1139" style="border: 1px solid black; height: 478px; width: 272px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="786 1166 1308 1214" style="text-align: center; margin-top: 10px;">                     第 1.4-6 図 非常時操作手順書（プラント停止中）「原子炉冷却材喪失」における対応フロー                 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         女川 2号炉との比較対象なし                     </div>	<div data-bbox="2024 667 2172 890" style="color: blue; font-size: small;">                         【女川】                          記載方針の相違                          ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。                          （大飯と同様）                     </div>



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="757 325 1361 868" style="border: 1px solid black; height: 340px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="779 896 1330 943" style="text-align: center;">                     第 1.4-7 図 非常時操作手順書（シビアアクシデント）「注水ストラテジー4」における対応フロー                 </div> <div data-bbox="954 1238 1361 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 20px; text-align: center;">                     枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。                 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         女川 2号炉との比較対象なし                     </div>	<div data-bbox="2024 667 2168 890" style="color: blue; font-size: small;">                         【女川】                          記載方針の相違                          ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。                          （大飯と同様）                     </div>



1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> <p>図 1.4-9 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な滞在時間              ※2：機器の動作時間及び動作時間後に余裕を見込んだ時間</p>	<div style="text-align: center;"> <p>第 1.4.3 図 充てんポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div> <p>※1：機器の動作時間及び動作時間後に余裕を見込んだ時間</p>	<p>【女川】                  設備の相違(BWR 固有の対応手段)</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・泊は中央制御室のみで操作する手順においてもタイムチャートを整備している。</p>

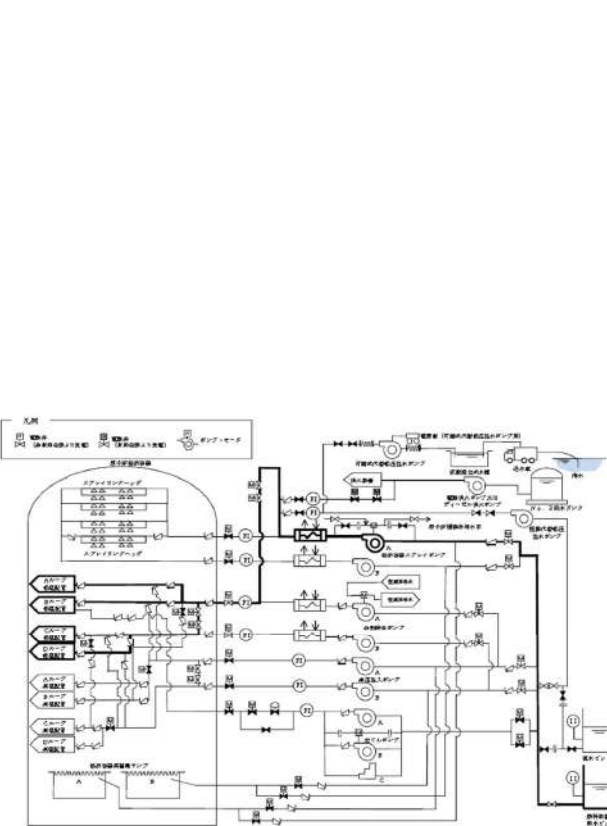
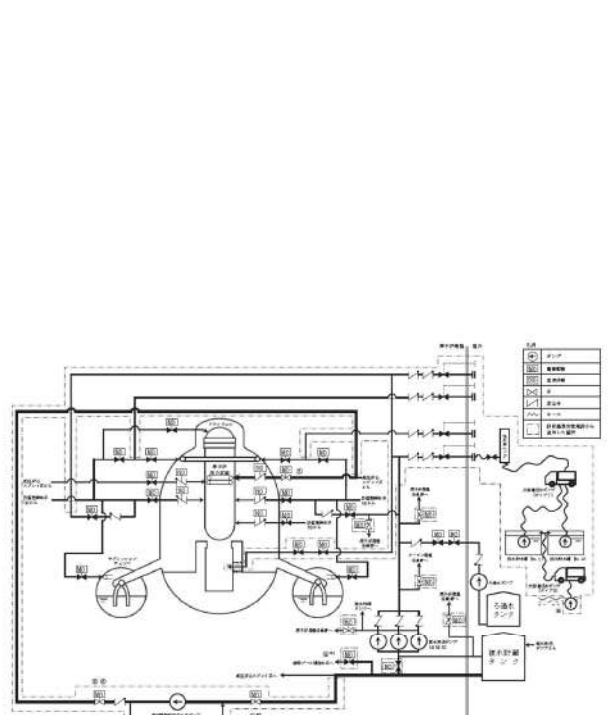
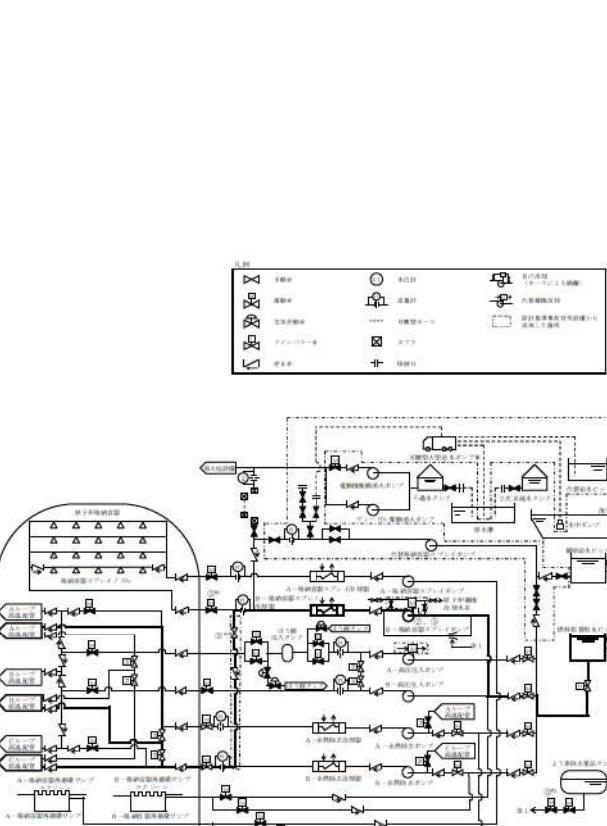


1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
 <p>第1.4.6図 A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉压力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="862 957 1243 1053"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>呼び名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>RPCS注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>②*</td> <td>RPCSポンプ停止弁</td> </tr> <tr> <td>③*</td> <td>DCIポンプ後込弁</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>DCI注入流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する旨があることを示す。</p> <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉压力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	呼び名	①	RPCS注入隔離弁	②*	RPCSポンプ停止弁	③*	DCIポンプ後込弁	④	DCI注入流量調整弁	 <p>第1.4.4図 B格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉压力容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 1021 1937 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②</td> <td>B格納容器スプレイポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>③*</td> <td>B格納容器スプレイポンプ後込出口CV弁制御弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④*</td> <td>上ろ漏除去集込タンク注入ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤*</td> <td>B格納容器後込出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（3号炉）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>B格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	②	B格納容器スプレイポンプ	起動→停止	③*	B格納容器スプレイポンプ後込出口CV弁制御弁	全閉→全開	④*	上ろ漏除去集込タンク注入ライン止め弁	全開→全閉	⑤*	B格納容器後込出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（3号炉）	全開→全閉	⑥	B格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）              ・凡例の記載内容充実              ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】              設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	呼び名																														
①	RPCS注入隔離弁																														
②*	RPCSポンプ停止弁																														
③*	DCIポンプ後込弁																														
④	DCI注入流量調整弁																														
操作手順	操作対象機器	状態の変化																													
②	B格納容器スプレイポンプ	起動→停止																													
③*	B格納容器スプレイポンプ後込出口CV弁制御弁	全閉→全開																													
④*	上ろ漏除去集込タンク注入ライン止め弁	全開→全閉																													
⑤*	B格納容器後込出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（3号炉）	全開→全閉																													
⑥	B格納容器スプレイポンプ	停止→起動																													







灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第1.4-13図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4-13図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>フロントライン系故障時</p> <p>サポート系故障時</p>	<p>【大阪】                  設備の相違                  (相違理由②)</p>
<p>第1.4-14図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4-14図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4.7図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 タイムチャート</p>	<p>【大阪】                  設備の相違                  (相違理由②)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

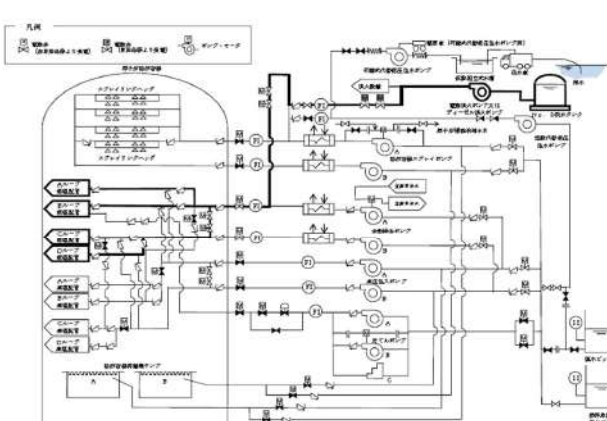
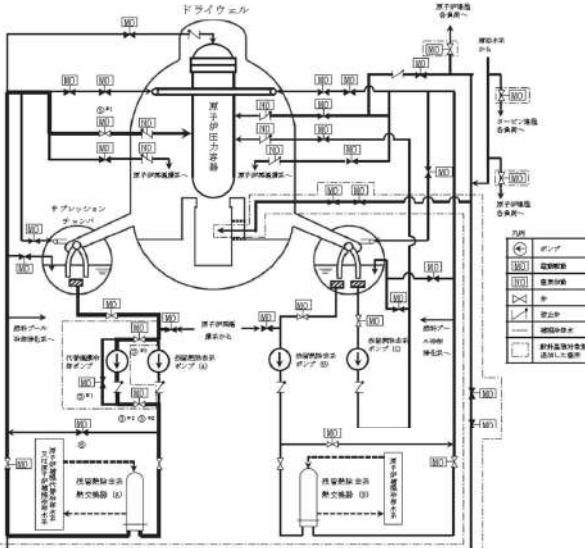
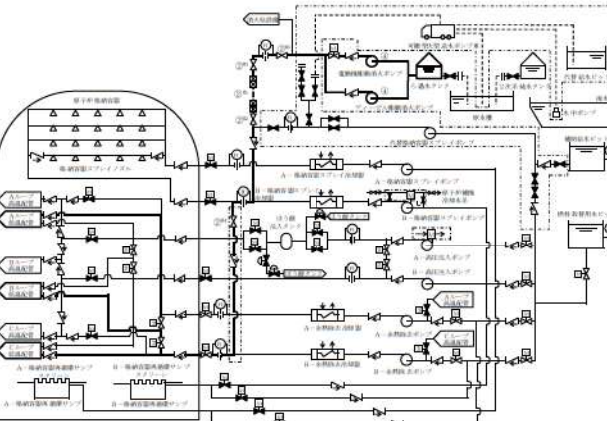
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<div data-bbox="203 772 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1458 330 1727 1264" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順の項目</th> <th style="width: 10%;">要員（数）</th> <th style="width: 40%;">経過時間（分）</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水（原子炉格納容器注水からの代替注水への切替え）</td> <td>運転員（中央制御室）A</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="2">代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水切替え完了 25分 △</td> </tr> <tr> <td>運転員（預備）B</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">30</td> <td rowspan="2">系統構成※1 移動、系統構成※2</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">10</td> <td>操作手順</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※1：機器の操作時間及び動作時間（余裕を見込んだ時間）                  ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間（余裕を見込んだ時間）</p> </div> <div data-bbox="1787 368 1944 1224" style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p><b>第 1.4.8 図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水</b>                  （原子炉格納容器注水から原子炉格納容器への注水切替え）                  タイムチャート</p> </div>	手順の項目	要員（数）	経過時間（分）	備考	代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水（原子炉格納容器注水からの代替注水への切替え）	運転員（中央制御室）A	1	代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水切替え完了 25分 △	運転員（預備）B	1			30	系統構成※1 移動、系統構成※2			20			10	操作手順	<div data-bbox="2018 756 2130 836" style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block; color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由①)</div>
手順の項目	要員（数）	経過時間（分）	備考																					
代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水（原子炉格納容器注水からの代替注水への切替え）	運転員（中央制御室）A	1	代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水切替え完了 25分 △																					
	運転員（預備）B	1																						
		30	系統構成※1 移動、系統構成※2																					
		20																						
		10	操作手順																					

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
 <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 電動機駆動消火ポンプ</li> <li>② ディーゼル駆動消火ポンプ</li> <li>③ 代替循環冷却ポンプ</li> <li>④ 代替循環冷却ポンプ</li> <li>⑤ 代替循環冷却ポンプ</li> <li>⑥ RHR A系 LPCI 注入隔離弁</li> <li>⑦ RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</li> </ul> <p>図 1.4.10 図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替伊心注水 概略系統</p>	 <p>第 1.4-16 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="772 981 1332 1157"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ #1</td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>③ #1 ⑤ #2</td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>③ #3</td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～；同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-16 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③ #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁	③ #1 ⑤ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	③ #3	代替循環冷却ポンプ吸込弁	⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁	 <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 電動機駆動消火ポンプ</li> <li>② ディーゼル駆動消火ポンプ</li> <li>③ 代替循環冷却ポンプ</li> <li>④ 代替循環冷却ポンプ</li> <li>⑤ 代替循環冷却ポンプ</li> <li>⑥ RHR A系 LPCI 注入隔離弁</li> <li>⑦ RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</li> </ul> <p>第 1.4.9 図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 997 1937 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>電動機駆動消火ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> <td>閉鎖→開放</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</td> <td>閉鎖→開放</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～；同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。          ※ 1とどちらか1弁を起動する。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	電動機駆動消火ポンプ	停止→起動	②	ディーゼル駆動消火ポンプ	停止→起動	③	代替循環冷却ポンプ	停止→起動	④	代替循環冷却ポンプ	停止→起動	⑤	代替循環冷却ポンプ	停止→起動	⑥	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	閉鎖→開放	⑦	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁	閉鎖→開放	<p>【大阪】          記載方針の相違          (女川審査実績の反映)          ・凡例の記載内容充実          ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】          設備の相違(BWR固有の対応手段)</p>
操作手順	弁名称																																						
③ #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																						
③ #1 ⑤ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																						
③ #3	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																						
⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																						
⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁																																						
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																					
①	電動機駆動消火ポンプ	停止→起動																																					
②	ディーゼル駆動消火ポンプ	停止→起動																																					
③	代替循環冷却ポンプ	停止→起動																																					
④	代替循環冷却ポンプ	停止→起動																																					
⑤	代替循環冷却ポンプ	停止→起動																																					
⑥	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	閉鎖→開放																																					
⑦	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁	閉鎖→開放																																					



1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉	
<p>経過時間(分)</p>	<p>備考</p>	<p>経過時間(分)</p>	<p>備考</p>
<p>手続の項目</p> <p>運転員等 (中央制御室)</p> <p>電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水</p>	<p>要員(数)</p> <p>1</p>	<p>手続の項目</p> <p>運転員(中央制御室) A</p> <p>1</p>	<p>操作手順</p> <p>②</p> <p>③~⑤</p>
<p>※：両機移動時間には既設保護員専用時間を含む。</p>		<p>※1：中央制御室での状況確認に必要な滞在時間                  ※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間</p>	

第1.4.11図 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 タイムチャート

第 1.4-17 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

泊発電所3号炉		相違理由	
<p>経過時間(分)</p>	<p>備考</p>	<p>経過時間(分)</p>	<p>備考</p>
<p>手続の項目</p> <p>運転員 (中央制御室) A</p> <p>運転員 (現場) B</p> <p>運転員 (現場) C</p>	<p>要員(数)</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p>	<p>手続の項目</p> <p>電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水</p>	<p>操作手順</p> <p>②</p> <p>④</p> <p>②</p> <p>②</p>
<p>※1：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間                  ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間                  ※3：機器の操作時間に見込んだ時間</p>		<p>【大阪】                  記載方針の相違                  (女川審査実績の反映)                  ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ                  ・補足の充実                  ・備考欄の追加</p>	

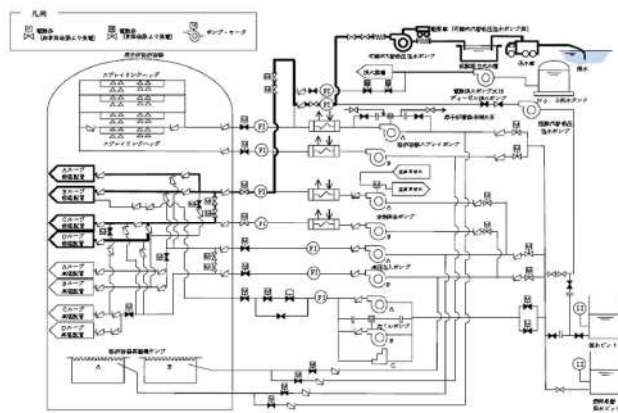
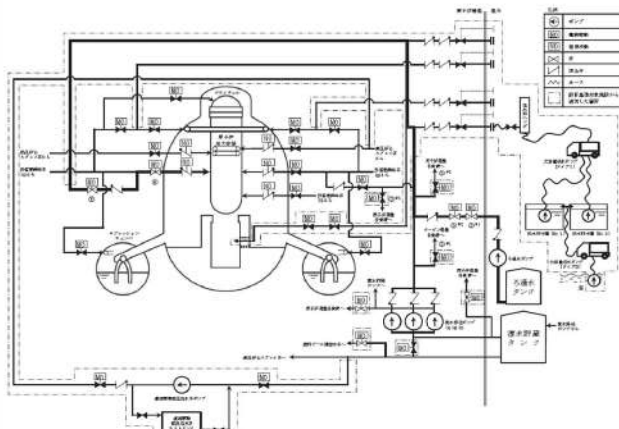
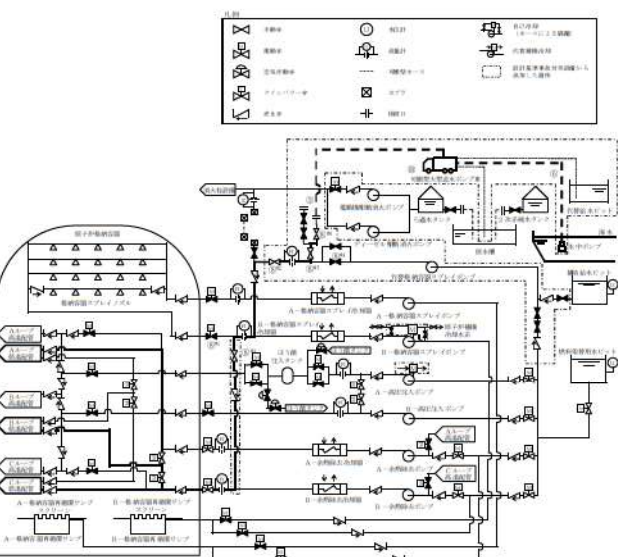
第 1.4.10 図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
 <p>図 1.4.12 図 可搬式代替圧注水ポンプによる代替圧注水 概略系統</p>	 <p>第 1.4-18 図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="772 877 1344 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ #1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③ #2</td> <td>R/B B1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③ #3</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>FW 系連絡第一弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #2</td> <td>FW 系連絡第二弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-18 図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③ #1	T/B 緊急時隔離弁	③ #2	R/B B1F 緊急時隔離弁	③ #3	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤ #1	FW 系連絡第一弁	⑤ #2	FW 系連絡第二弁	⑥	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑧	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第 1.4.11 図 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 997 1926 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>変量の变化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ稼働</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ稼働</td> </tr> <tr> <td>③ #1</td> <td>第一系熱源蒸気発生器出口蒸気管線スプレッドバックライン止め弁 (5A対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③ #2</td> <td>第一系熱源蒸気発生器出口蒸気管線スプレッドバックライン止め弁 (5B対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④ #1</td> <td>可搬型ポンプスプレッドバックライン止め弁 (5A対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④ #2</td> <td>可搬型ポンプスプレッドバックライン止め弁 (5B対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	変量の变化	①	可搬型ポンプ	ポンプ稼働	②	可搬型ポンプ	ポンプ稼働	③ #1	第一系熱源蒸気発生器出口蒸気管線スプレッドバックライン止め弁 (5A対策)	全閉→全開	③ #2	第一系熱源蒸気発生器出口蒸気管線スプレッドバックライン止め弁 (5B対策)	全閉→全開	④ #1	可搬型ポンプスプレッドバックライン止め弁 (5A対策)	全閉→全開	④ #2	可搬型ポンプスプレッドバックライン止め弁 (5B対策)	全閉→全開	⑤	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】              記載方針の相違              (女川審査実績の反映)              ・凡例の記載内容充実              ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																										
③ #1	T/B 緊急時隔離弁																																										
③ #2	R/B B1F 緊急時隔離弁																																										
③ #3	R/B 1F 緊急時隔離弁																																										
⑤ #1	FW 系連絡第一弁																																										
⑤ #2	FW 系連絡第二弁																																										
⑥	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																										
⑧	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																										
操作手順	操作対象機器	変量の变化																																									
①	可搬型ポンプ	ポンプ稼働																																									
②	可搬型ポンプ	ポンプ稼働																																									
③ #1	第一系熱源蒸気発生器出口蒸気管線スプレッドバックライン止め弁 (5A対策)	全閉→全開																																									
③ #2	第一系熱源蒸気発生器出口蒸気管線スプレッドバックライン止め弁 (5B対策)	全閉→全開																																									
④ #1	可搬型ポンプスプレッドバックライン止め弁 (5A対策)	全閉→全開																																									
④ #2	可搬型ポンプスプレッドバックライン止め弁 (5B対策)	全閉→全開																																									
⑤	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																																									

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉

備考

※ 実施手順等詳細には図表等に基づき、本表を参照してください。

第1.4.18図 可搬式代用低圧注水ポンプによる代用低圧注水 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉

備考

※1：中央制御室での公共電源に異常が検出された場合  
 ※2：機器の動作時間及び動作順序に余裕を見込んで時間

第1.4-19図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

泊発電所3号炉

相違理由

【大阪】  
 記載方針の相違  
 （女川審査実績の反映）  
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ  
 ・補足の充実  
 ・備考欄の追加

第1.4.12図 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート

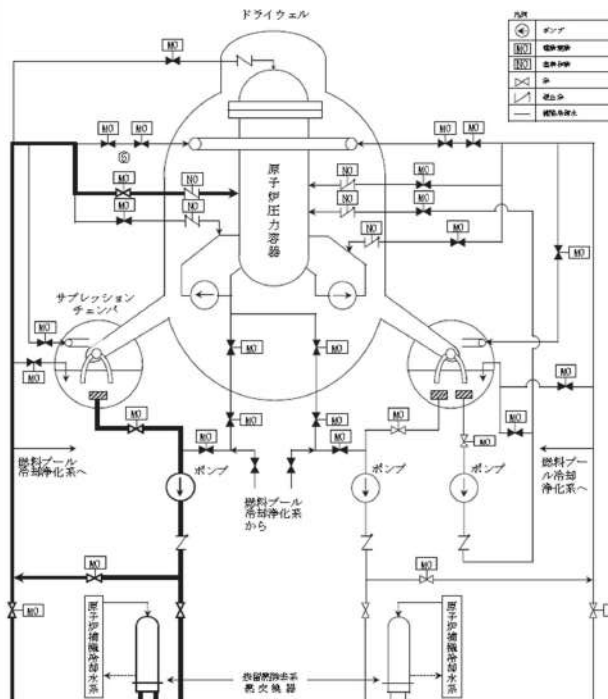
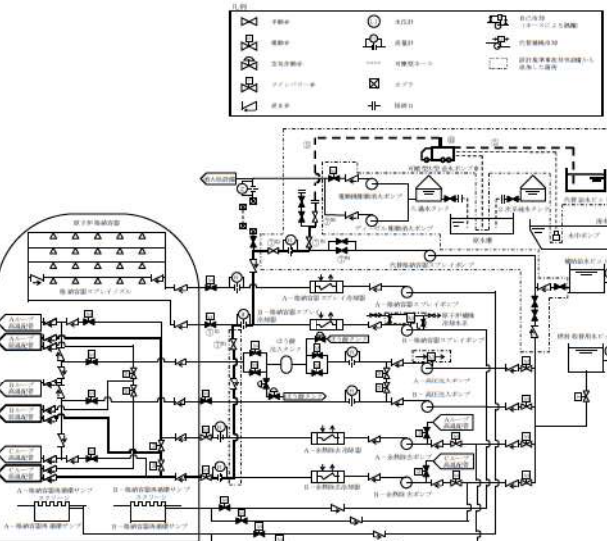


1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>操作手順</th><th>弁名称</th></tr> <tr><td>⑤</td><td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td></tr> </table> </p> <p style="text-align: center;">第 1.4-20 図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	操作手順	弁名称	⑤	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	 <p style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>可動型ポンプ</td><td>ポンプ稼働</td></tr> <tr><td>②</td><td>可動型ポンプ</td><td>ポンプ停止</td></tr> <tr><td>③</td><td>可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>④</td><td>可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>⑨</td><td>可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑩</td><td>可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置</td><td>全閉→全開</td></tr> </tbody> </table> </p> <p style="text-align: center;">第 1.4.13 図 代替給水ピットを水源とした可動型大型送水ポンプ車による原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可動型ポンプ	ポンプ稼働	②	可動型ポンプ	ポンプ停止	③	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全閉→全開	④	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全開→全閉	⑤	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全開→全閉	⑥	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全閉→全開	⑦	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全閉→全開	⑧	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全開→全閉	⑨	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全閉→全開	⑩	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全閉→全開	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
操作手順	弁名称																																							
⑤	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																							
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																						
①	可動型ポンプ	ポンプ稼働																																						
②	可動型ポンプ	ポンプ停止																																						
③	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全閉→全開																																						
④	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全開→全閉																																						
⑤	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全開→全閉																																						
⑥	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全閉→全開																																						
⑦	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全閉→全開																																						
⑧	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全開→全閉																																						
⑨	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全閉→全開																																						
⑩	可動型ポンプスレイブポンプ出口閉鎖装置	全閉→全開																																						

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>	<div data-bbox="916 272 1072 1318" style="text-align: center;"> <p>第1.4-21図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div> <p>※1：中央制御室での仕切操作に必要な最低時間              ※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間</p>	<div data-bbox="1397 491 1792 1102" style="text-align: center;"> <p>第1.4-14図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート</p> </div>	<p>【大飯】                  設備の相違                  (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																													
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>	<div data-bbox="741 539 1350 895"> </div> <div data-bbox="853 927 1261 979"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>非名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤</td> <td>LPCS注入隔離弁</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="757 1034 1357 1054"> <p>第1.4-22図 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p> </div>	操作手順	非名称	⑤	LPCS注入隔離弁	<div data-bbox="1379 363 2004 911"> </div> <div data-bbox="1429 927 1928 1091"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑫</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑬</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑭</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑮</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑯</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑰</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑱</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑲</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑳</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉑</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉒</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉓</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉔</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉕</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉖</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉗</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉘</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉙</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉚</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉛</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉜</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉝</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉞</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉟</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊱</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊲</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊳</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊴</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊵</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊶</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊷</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊸</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊹</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊺</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊻</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊼</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊽</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊾</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊿</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1451 1166 1928 1219"> <p>第1.4.15図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p> </div>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ボース	ボース接続	②	可搬型ボース	ボース接続	③	可搬型ボース	ボース接続	④	可搬型ボース	ボース接続	⑤	可搬型ボース	ボース接続	⑥	可搬型ボース	ボース接続	⑦	可搬型ボース	ボース接続	⑧	可搬型ボース	ボース接続	⑨	可搬型ボース	ボース接続	⑩	可搬型ボース	ボース接続	⑪	可搬型ボース	ボース接続	⑫	可搬型ボース	ボース接続	⑬	可搬型ボース	ボース接続	⑭	可搬型ボース	ボース接続	⑮	可搬型ボース	ボース接続	⑯	可搬型ボース	ボース接続	⑰	可搬型ボース	ボース接続	⑱	可搬型ボース	ボース接続	⑲	可搬型ボース	ボース接続	⑳	可搬型ボース	ボース接続	㉑	可搬型ボース	ボース接続	㉒	可搬型ボース	ボース接続	㉓	可搬型ボース	ボース接続	㉔	可搬型ボース	ボース接続	㉕	可搬型ボース	ボース接続	㉖	可搬型ボース	ボース接続	㉗	可搬型ボース	ボース接続	㉘	可搬型ボース	ボース接続	㉙	可搬型ボース	ボース接続	㉚	可搬型ボース	ボース接続	㉛	可搬型ボース	ボース接続	㉜	可搬型ボース	ボース接続	㉝	可搬型ボース	ボース接続	㉞	可搬型ボース	ボース接続	㉟	可搬型ボース	ボース接続	㊱	可搬型ボース	ボース接続	㊲	可搬型ボース	ボース接続	㊳	可搬型ボース	ボース接続	㊴	可搬型ボース	ボース接続	㊵	可搬型ボース	ボース接続	㊶	可搬型ボース	ボース接続	㊷	可搬型ボース	ボース接続	㊸	可搬型ボース	ボース接続	㊹	可搬型ボース	ボース接続	㊺	可搬型ボース	ボース接続	㊻	可搬型ボース	ボース接続	㊼	可搬型ボース	ボース接続	㊽	可搬型ボース	ボース接続	㊾	可搬型ボース	ボース接続	㊿	可搬型ボース	ボース接続	<div data-bbox="2029 783 2136 863" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</p> </div>
操作手順	非名称																																																																																																																																																															
⑤	LPCS注入隔離弁																																																																																																																																																															
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																																																																																														
①	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
②	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
③	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
④	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑤	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑥	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑦	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑧	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑨	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑩	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑪	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑫	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑬	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑭	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑮	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑯	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑰	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑱	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑲	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑳	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉑	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉒	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉓	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉔	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉕	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉖	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉗	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉘	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉙	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉚	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉛	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉜	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉝	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉞	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉟	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊱	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊲	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊳	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊴	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊵	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊶	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊷	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊸	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊹	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊺	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊻	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊼	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊽	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊾	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊿	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														



1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

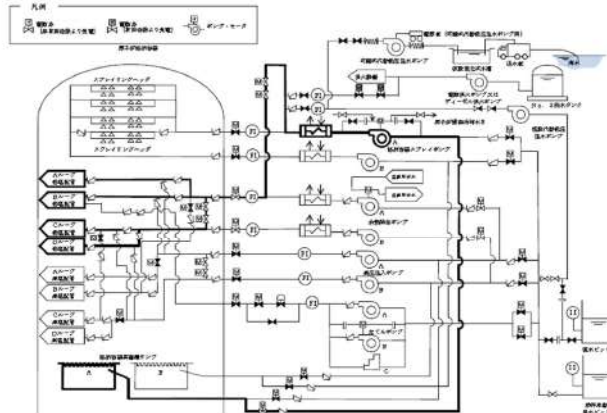
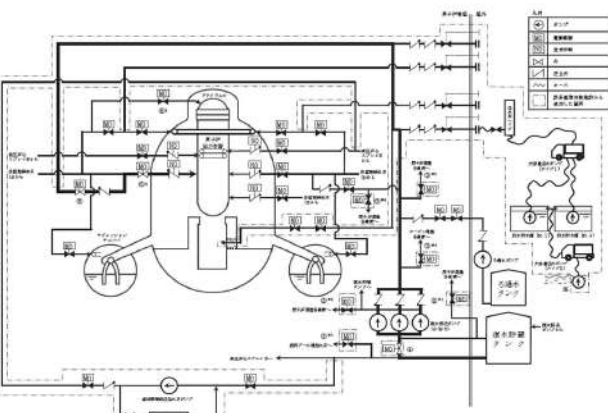
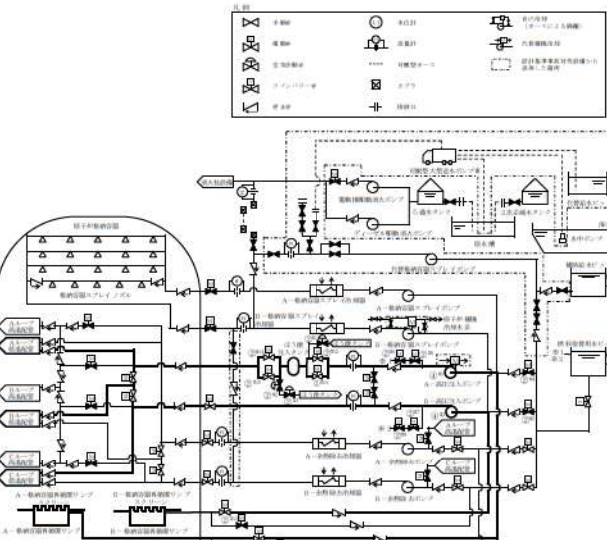
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> <p>第1.4-23 図 低圧炉心スプレー系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div> <p>※1：手動解除までの状況確認に必要な追加時間          ※2：機器の動作時間及び動作中に必要となる時間</p>	<div style="text-align: center;"> <p>第1.4.16 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート</p> </div>	<p>【大飯】              設備の相違              (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																					
 <p>第1.4.15図 A格納容器スプレイポンプ（RHR3-C33連絡ライン使用）による代替再循環運転 概略系統</p>	 <p>第1.4-24図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="840 869 1265 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>井名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>1)</sup></td> <td>CRD 復水入口弁</td> </tr> <tr> <td>②<sup>2)</sup></td> <td>補脚C サンプリング取出し止め弁</td> </tr> <tr> <td>③<sup>2)</sup></td> <td>FTRR/B ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>④<sup>2)</sup></td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>2)</sup></td> <td>R/B BIF 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>2)</sup></td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>復水の凝縮タンク専用、非常用給水管連絡ライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑧<sup>1)</sup></td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑨<sup>1)</sup></td> <td>RHR ヘッドスプレイライン投入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-24図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	井名称	① <sup>1)</sup>	CRD 復水入口弁	② <sup>2)</sup>	補脚C サンプリング取出し止め弁	③ <sup>2)</sup>	FTRR/B ポンプ吸込弁	④ <sup>2)</sup>	T/B 緊急時隔離弁	⑤ <sup>2)</sup>	R/B BIF 緊急時隔離弁	⑥ <sup>2)</sup>	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑦	復水の凝縮タンク専用、非常用給水管連絡ライン止め弁	⑧ <sup>1)</sup>	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑨ <sup>1)</sup>	RHR ヘッドスプレイライン投入隔離弁	⑩	RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第1.4.17図 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1456 901 1926 1197"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口A</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口B</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口C</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口D</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口E</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口F</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口G</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑧<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口H</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑨<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口I</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑩<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口J</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑪<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口K</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑫<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口L</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑬<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口M</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑭<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口N</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑮<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口O</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑯<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口P</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑰<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口Q</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑱<sup>1)</sup></td> <td>ほう入注入タンク燃料取り出し口R</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑲</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑳</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口A	全開→全閉	② <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口B	全開→全閉	③ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口C	全開→全閉	④ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口D	全開→全閉	⑤ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口E	全開→全閉	⑥ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口F	全開→全閉	⑦ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口G	全開→全閉	⑧ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口H	全開→全閉	⑨ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口I	全開→全閉	⑩ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口J	全開→全閉	⑪ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口K	全開→全閉	⑫ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口L	全開→全閉	⑬ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口M	全開→全閉	⑭ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口N	全開→全閉	⑮ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口O	全開→全閉	⑯ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口P	全開→全閉	⑰ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口Q	全開→全閉	⑱ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口R	全開→全閉	⑲	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	⑳	B-高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	井名称																																																																																							
① <sup>1)</sup>	CRD 復水入口弁																																																																																							
② <sup>2)</sup>	補脚C サンプリング取出し止め弁																																																																																							
③ <sup>2)</sup>	FTRR/B ポンプ吸込弁																																																																																							
④ <sup>2)</sup>	T/B 緊急時隔離弁																																																																																							
⑤ <sup>2)</sup>	R/B BIF 緊急時隔離弁																																																																																							
⑥ <sup>2)</sup>	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																																																							
⑦	復水の凝縮タンク専用、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																																																							
⑧ <sup>1)</sup>	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																																																																							
⑨ <sup>1)</sup>	RHR ヘッドスプレイライン投入隔離弁																																																																																							
⑩	RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																																							
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																						
① <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口A	全開→全閉																																																																																						
② <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口B	全開→全閉																																																																																						
③ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口C	全開→全閉																																																																																						
④ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口D	全開→全閉																																																																																						
⑤ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口E	全開→全閉																																																																																						
⑥ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口F	全開→全閉																																																																																						
⑦ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口G	全開→全閉																																																																																						
⑧ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口H	全開→全閉																																																																																						
⑨ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口I	全開→全閉																																																																																						
⑩ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口J	全開→全閉																																																																																						
⑪ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口K	全開→全閉																																																																																						
⑫ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口L	全開→全閉																																																																																						
⑬ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口M	全開→全閉																																																																																						
⑭ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口N	全開→全閉																																																																																						
⑮ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口O	全開→全閉																																																																																						
⑯ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口P	全開→全閉																																																																																						
⑰ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口Q	全開→全閉																																																																																						
⑱ <sup>1)</sup>	ほう入注入タンク燃料取り出し口R	全開→全閉																																																																																						
⑲	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																																						
⑳	B-高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																																						

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

泊3号炉との比較対象なし

残留熱除去系(A)又は(B)注入配管使用の場合



※1：中央制御室での状況確認に必要な所要時間  
 ※2：機器の稼働時間及び動作(作動)時間に見込んだ時間

残留熱除去系へドスブレイ配管使用の場合



※1：中央制御室での状況確認に必要な所要時間  
 ※2：機器の稼働時間及び動作(作動)時間に見込んだ時間

第1.4-25図 低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)による残存溶解炉心の冷却 タイムチャート



※1：機器の稼働時間及び動作時間に見込んだ時間  
 ※2：機器の稼働時間に見込んだ時間

第1.4.18図 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 タイムチャート

【大飯】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は中央制御室のみで操作する手順においてもタイムチャートを整備している。

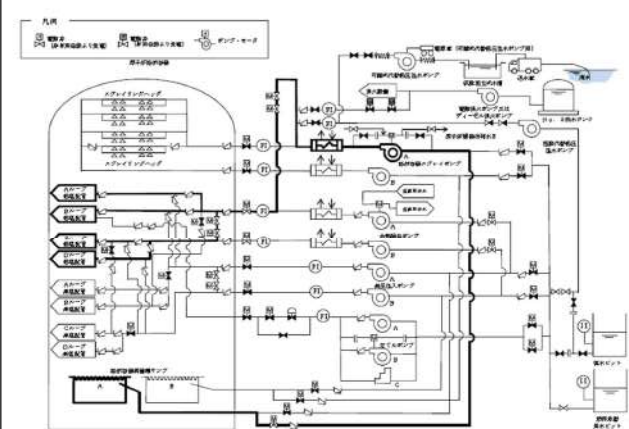
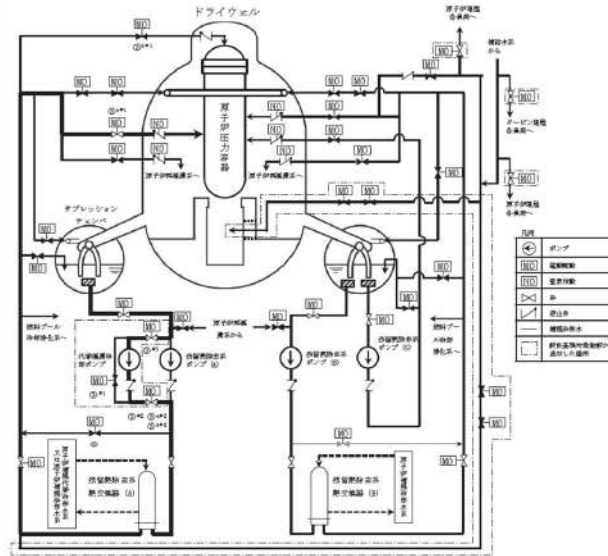
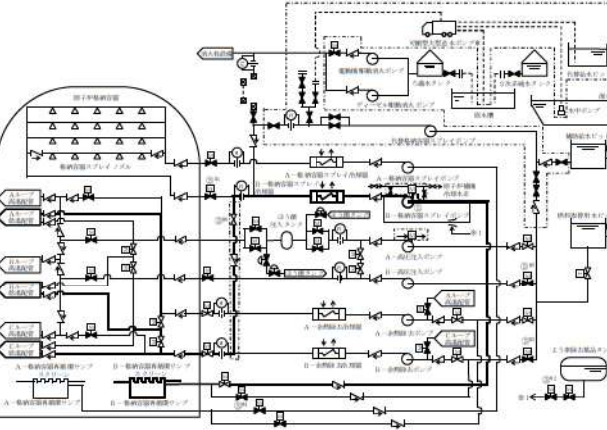


1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
 <p>図 14.15 図 A格納容器スプレイポンプ（RHR A-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 概略系統</p>	 <p>第 1.4-26 図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="761 957 1344 1181"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>② #1</td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>③ #1 ⑤ #2 ⑥ #2</td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>③ #2</td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-26 図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	② #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁	③ #1 ⑤ #2 ⑥ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	③ #2	代替循環冷却ポンプ吸込弁	⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ #1	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁	 <p>第 1.4.19 図 B-格納容器スプレイポンプ（RHR A-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1433 957 1948 1101"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① #</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ出口にY弁開閉弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>② #</td> <td>上り蒸留去集気タンク注入ラインよの弁後弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③ #</td> <td>B-格納容器ポンプRHR注入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④ #</td> <td>B-格納容器ポンプ内循環ポンプ注入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤ #</td> <td>B-高圧注入ポンプ燃料取替用水ベットの注入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥ #</td> <td>B-格納容器冷却器出口格納容器スプレイ系注入ラインよの弁 (SS対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦ #</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① #	B-格納容器スプレイポンプ出口にY弁開閉弁	全開→全閉	② #	上り蒸留去集気タンク注入ラインよの弁後弁	全開→全閉	③ #	B-格納容器ポンプRHR注入口弁	全閉→全開	④ #	B-格納容器ポンプ内循環ポンプ注入口弁	全閉→全開	⑤ #	B-高圧注入ポンプ燃料取替用水ベットの注入口弁	全閉→全開	⑥ #	B-格納容器冷却器出口格納容器スプレイ系注入ラインよの弁 (SS対策)	全閉→全開	⑦ #	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】              記載方針の相違              （女川審査実績の反映）              ・凡例の記載内容              充実              ・概要図と操作内              容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																								
② #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																								
③ #1 ⑤ #2 ⑥ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																								
③ #2	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																								
⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																								
⑤ #1	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁																																								
⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁																																								
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																							
① #	B-格納容器スプレイポンプ出口にY弁開閉弁	全開→全閉																																							
② #	上り蒸留去集気タンク注入ラインよの弁後弁	全開→全閉																																							
③ #	B-格納容器ポンプRHR注入口弁	全閉→全開																																							
④ #	B-格納容器ポンプ内循環ポンプ注入口弁	全閉→全開																																							
⑤ #	B-高圧注入ポンプ燃料取替用水ベットの注入口弁	全閉→全開																																							
⑥ #	B-格納容器冷却器出口格納容器スプレイ系注入ラインよの弁 (SS対策)	全閉→全開																																							
⑦ #	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																							

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

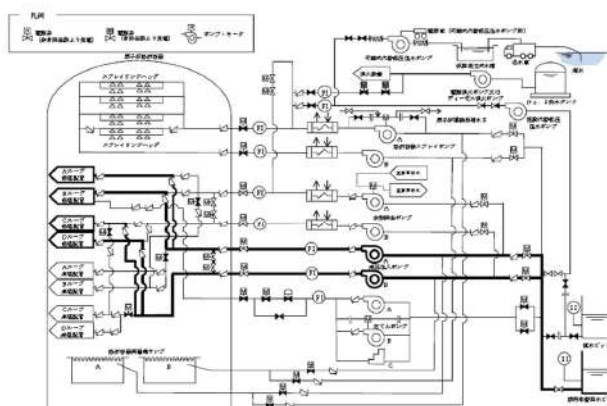
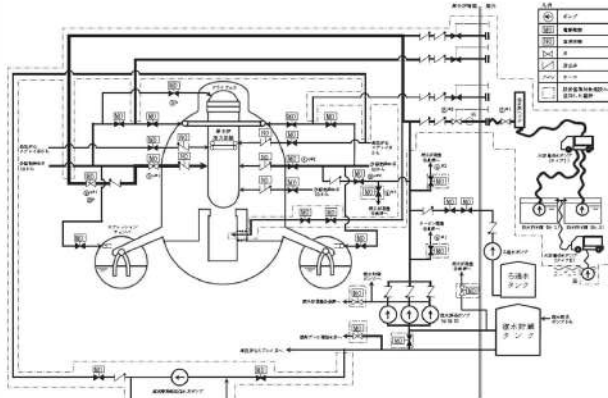
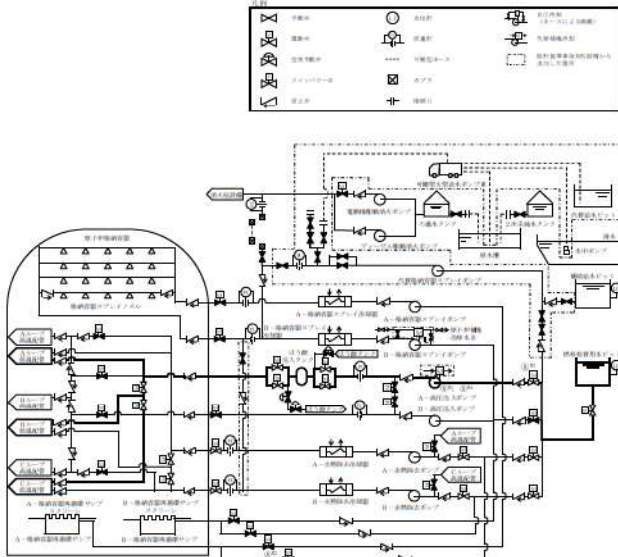
大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
<p>手順の項目</p> <p>要員(数)</p> <p>運転員等(中央制御室) 1</p> <p>運転員等(現場) 1</p> <p>※：現番移動時間には防除器具準備時間を含む。</p>	<p>経過時間(分)</p> <p>0 5 10 15 20 25 30 35 40 45</p> <p>7分15分 A格納容器スプレイポンプ(RHRSS-CSS連絡ライン使用)による代替再循環運転開始</p> <p>系統構成</p> <p>ポンプ起動</p> <p>原子炉への注水確認</p> <p>移動</p> <p>RHRSS-CSS連絡ライン弁電源投入</p>	<p>手順の項目</p> <p>要員(数)</p> <p>運転員(中央制御室) A 1</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間                  ※2：機器の動作時間及び動作時間に見込んだ時間</p>	<p>経過時間(分)</p> <p>0 10 20 30 40 50 60 70</p> <p>15分 残存溶解炉心の冷却</p> <p>電源確認</p> <p>系統構成、ポンプ起動</p>	<p>手順の項目</p> <p>要員(数)</p> <p>運転員(中央制御室) A 1</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間                  ※2：機器の動作時間及び動作時間に見込んだ時間</p>	<p>経過時間(分)</p> <p>0 10 20 30 40 50</p> <p>B-格納容器スプレイポンプ(RHRSS-CSS連絡ライン使用)による代替再循環運転開始15分</p> <p>系統構成</p> <p>B-格納容器スプレイポンプ起動</p> <p>移動、系統構成、RHRSS-CSS連絡ライン弁開操作</p>	<p>備考</p> <p>操作手順</p> <p>②</p> <p>③～⑤、⑥</p>	<p>備考</p> <p>操作手順</p> <p>②③</p> <p>⑤</p> <p>③</p>
<p>残留熱除去系(A)注入配管使用の場合</p>		<p>残留熱除去系へヘッドスプレイ配管使用の場合</p>		<p>第1.4-27図 代替再循環冷却系による残存溶解炉心の冷却 タイムチャート</p>		<p>【大飯】                  記載方針の相違                  (女川審査実績の反映)                  ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ                  ・補足の充実                  ・備考欄の追加</p>	
<p>第1.4.10図 A格納容器スプレイポンプ(RHRSS-CSS連絡ライン使用)による代替再循環運転 タイムチャート</p>		<p>第1.4.20図 B-格納容器スプレイポンプ(RHRSS-CSS連絡ライン使用)による代替再循環運転 タイムチャート</p>		<p>第1.4-27図 代替再循環冷却系による残存溶解炉心の冷却 タイムチャート</p>			

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
 <p>図 1.4.17 図 高圧注入ポンプによる炉心注水 概略系統</p>	 <p>第 1.4-28 図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="795 853 1310 1149"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④ #1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④ #2</td> <td>R/B B1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④ #3</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #2</td> <td>R/R B系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #</td> <td>R/R ヘッドスプレー注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥ #1</td> <td>原子炉・格納容器下部注水弁</td> </tr> <tr> <td>⑥ #2</td> <td>緊急時原子炉東側外周注水入口弁</td> </tr> <tr> <td>⑥ #1 ⑥ #3</td> <td>R/R ヘッドスプレーライン洗浄流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑥ #2</td> <td>R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-28 図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	④ #1	T/B 緊急時隔離弁	④ #2	R/B B1F 緊急時隔離弁	④ #3	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤ #1	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ #2	R/R B系 LPCI 注入隔離弁	⑤ #	R/R ヘッドスプレー注入隔離弁	⑥ #1	原子炉・格納容器下部注水弁	⑥ #2	緊急時原子炉東側外周注水入口弁	⑥ #1 ⑥ #3	R/R ヘッドスプレーライン洗浄流量調整弁	⑥ #2	R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁	 <p>第 1.4.21 図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水） 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 965 1937 1061"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑤ #2</td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サンプ出入口/外側隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤ #3</td> <td>A-高圧注入ポンプ参照取替用水セット出入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤ #4</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	⑤ #1	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	⑤ #2	A-安全注入ポンプ再循環サンプ出入口/外側隔離弁	全開→全閉	⑤ #3	A-高圧注入ポンプ参照取替用水セット出入口弁	全開→全閉	⑤ #4	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  （女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を組づけ</p>
操作手順	弁名称																																							
④ #1	T/B 緊急時隔離弁																																							
④ #2	R/B B1F 緊急時隔離弁																																							
④ #3	R/B 1F 緊急時隔離弁																																							
⑤ #1	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																							
⑤ #2	R/R B系 LPCI 注入隔離弁																																							
⑤ #	R/R ヘッドスプレー注入隔離弁																																							
⑥ #1	原子炉・格納容器下部注水弁																																							
⑥ #2	緊急時原子炉東側外周注水入口弁																																							
⑥ #1 ⑥ #3	R/R ヘッドスプレーライン洗浄流量調整弁																																							
⑥ #2	R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁																																							
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																						
⑤ #1	A-高圧注入ポンプ	起動→停止																																						
⑤ #2	A-安全注入ポンプ再循環サンプ出入口/外側隔離弁	全開→全閉																																						
⑤ #3	A-高圧注入ポンプ参照取替用水セット出入口弁	全開→全閉																																						
⑤ #4	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																																						

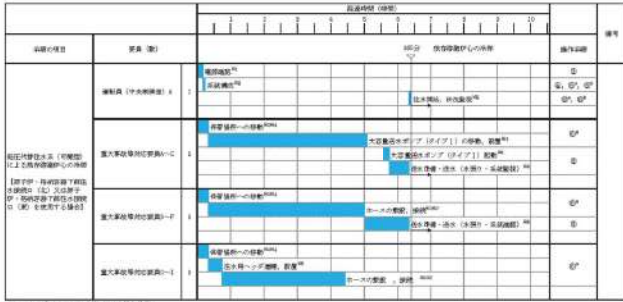



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

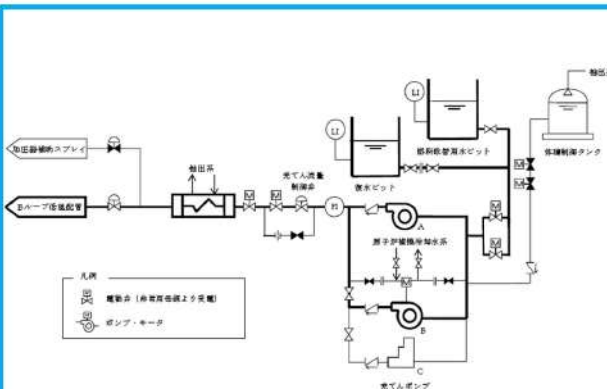
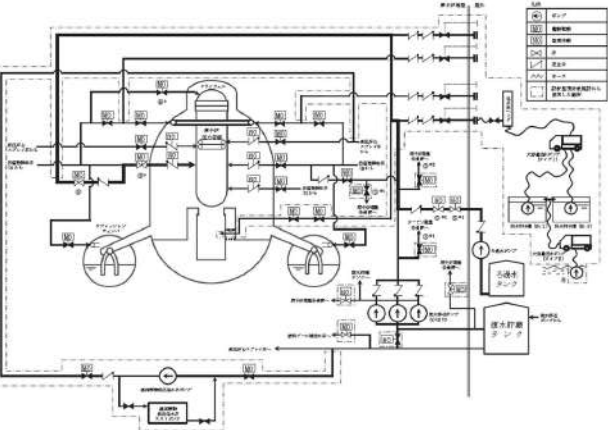
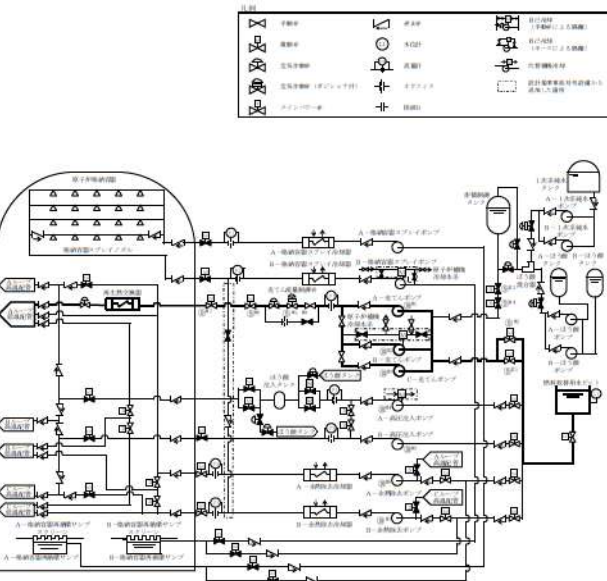
大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	 <p>第 1.4-29 図 低圧代替注水系（可搬型）による既存貯蔵炉心の冷却 タイムチャート</p>		
	 <p>第 1.4-30 図 低圧代替注水系（可搬型）による既存貯蔵炉心の冷却 タイムチャート</p>		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																		
<p>【比較のため、第1.4.5図を再掲】</p>  <p>第1.4.5図 充てんポンプによる炉心注水 概略系図</p>	 <p>第1.4-31図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="750 869 1355 1149"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③#1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#2</td> <td>R/B B1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#3</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#1</td> <td>FW 系連絡第一弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#2</td> <td>FW 系連絡第二弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#</td> <td>RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-31図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③#1	T/B 緊急時隔離弁	③#2	R/B B1F 緊急時隔離弁	③#3	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤#1	FW 系連絡第一弁	⑤#2	FW 系連絡第二弁	⑥#	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑥#	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑧	RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第1.4.22図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順          (燃料取替用水ピットを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水) 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1422 973 1926 1252"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②#1</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁A</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁B</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>②#3</td> <td>体積調整タンク出口第1止め弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>②#4</td> <td>体積調整タンク出口第2止め弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>②#5</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>調整値→全開</td> </tr> <tr> <td>②#6</td> <td>充てんラインのV外側閉塞弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>②#7</td> <td>充てんラインのV内側閉塞弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>②#8</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>全開→調整値</td> </tr> <tr> <td>②#9</td> <td>A-充てんポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>②#10</td> <td>B-充てんポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>②#11</td> <td>C-充てんポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>②#12</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>②#13</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>②#14</td> <td>A-余熱除去ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>②#15</td> <td>B-余熱除去ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.4.22図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順          (燃料取替用水ピットを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水) 概要図 (2/2)</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	②#1	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁A	全開確認	②#2	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁B	全開確認	②#3	体積調整タンク出口第1止め弁	全開確認	②#4	体積調整タンク出口第2止め弁	全開確認	②#5	充てん流量制御弁	調整値→全開	②#6	充てんラインのV外側閉塞弁	全開→全開	②#7	充てんラインのV内側閉塞弁	全開→全開	②#8	充てん流量制御弁	全開→調整値	②#9	A-充てんポンプ	起動→停止	②#10	B-充てんポンプ	起動→停止	②#11	C-充てんポンプ	起動→停止	②#12	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	②#13	B-高圧注入ポンプ	起動→停止	②#14	A-余熱除去ポンプ	起動→停止	②#15	B-余熱除去ポンプ	起動→停止	<p>【大飯】          記載方針の相違          (女川審査実績の反映)          ・凡例の記載内容充実          ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																																				
③#1	T/B 緊急時隔離弁																																																																				
③#2	R/B B1F 緊急時隔離弁																																																																				
③#3	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																																				
⑤#1	FW 系連絡第一弁																																																																				
⑤#2	FW 系連絡第二弁																																																																				
⑥#	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																																																				
⑥#	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁																																																																				
⑧	RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																				
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																			
②#1	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁A	全開確認																																																																			
②#2	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁B	全開確認																																																																			
②#3	体積調整タンク出口第1止め弁	全開確認																																																																			
②#4	体積調整タンク出口第2止め弁	全開確認																																																																			
②#5	充てん流量制御弁	調整値→全開																																																																			
②#6	充てんラインのV外側閉塞弁	全開→全開																																																																			
②#7	充てんラインのV内側閉塞弁	全開→全開																																																																			
②#8	充てん流量制御弁	全開→調整値																																																																			
②#9	A-充てんポンプ	起動→停止																																																																			
②#10	B-充てんポンプ	起動→停止																																																																			
②#11	C-充てんポンプ	起動→停止																																																																			
②#12	A-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																			
②#13	B-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																			
②#14	A-余熱除去ポンプ	起動→停止																																																																			
②#15	B-余熱除去ポンプ	起動→停止																																																																			

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="text-align: center;"> <p>第 1.4-32 図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p> </div> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な滞在時間              ※2：機器の動作時間及び動作時間之余裕を見込んだ時間</p>		